

手藏田10・11遺跡 発掘調査報告書

1988

山形県
山形県教育委員会

て ぐら だ
手藏田10・11遺跡
発掘調査報告書

昭和63年3月

山形県
山形県教育委員会



青磁碗 (S D559—R P234)



磁器 | S D559—R P193 • S K143 • S K405—R P103
S K30 • S K262 • S D559
S K241—R P55



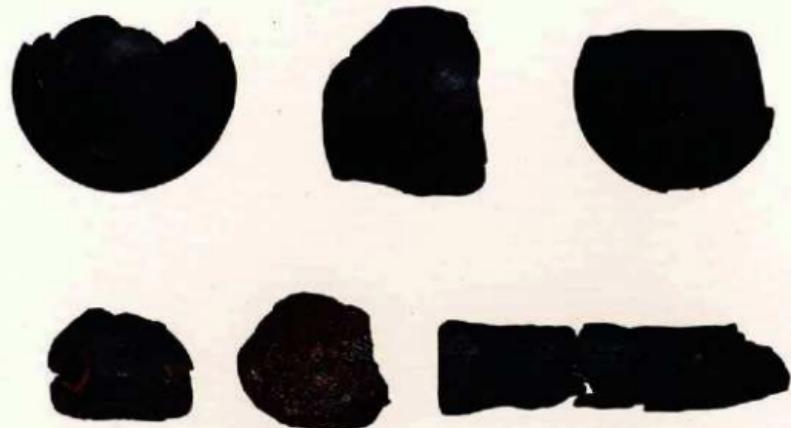
陶紐器

S K 72	• S K 159—R P 143 • S K 30
S K 269	• S K 30
S D 559	• 5—11 G • S K 30 • S D 559



陶紐器

S D 559—R P 191 • S D 559	• S D 25
S K 224	• S K 644 • S D 17



漆器 | SK 290—RW138 • SK 30—RW74 • SD 559—RW232
SD 559—RW187 • SK 30 • SK 72—RW17 |



曲物 (SK 222—RW96 • SK 43—RW92 • SK 225—RW111)



下社 (S D559—RW192)



帽 (SK76—RW115)



箇杖木製品 (SK 30—RW 15)

弓 (SK 401—RW 210)

角型 (171—RW 125)

序

本報告書は、山形県教育委員会が昭和62年度に実施した、酒田市「手蔵田10・11遺跡」の緊急発掘調査の結果をまとめたものです。

近年の開発事業の進展に伴い、地下に埋もれた埋蔵文化財との関わりも増加する傾向にあります。県経済と県民福祉の向上を目的とする諸開発事業と、県民ひいては国民の文化遺産である埋蔵文化財とについては、状況に応じた適切な対処が望まれているところです。

山形県教育委員会では「心広くたくましい県民の育成」と地域文化の環境づくりという立場から、これらの間の調整をはかり今後も埋蔵文化財の保護と活用のため努力を続けていく所存です。

終わりに、本調査に御協力を賜わりました関係各位、並びに地元の方々に感謝申し上げるとともに、本書が埋蔵文化財に対するおおかたの理解の一助となれば幸いです。

昭和63年3月

山形県教育委員会

教育長 小野 孝

例　　言

- 1 本報告書は、山形県教育委員会が山形県農林水産部の委託を受け、昭和62年度に実施した「昭和62年度県営ほ場整備事業・中平田東地区」に係る「手藏田10・11遺跡」の緊急発掘調査報告書である。
- 2 遺跡の所在地は、山形県酒田市大字手藏田字村上58・97他である。
- 3 調査期間は、昭和62年4月20日～同年9月18日の延89日間である。
- 4 調査体制は、下記の通りである。

調査主体 山形県教育委員会

調査担当 山形県埋蔵文化財緊急調査団

調査担当者 主任調査員 佐々木洋治 (山形県教育庁文化課埋蔵文化財主査)

同 佐藤庄一 (同 係長)

同 野尻侃 (同 主任技師)

現場主任 名和達朗 (同 技師)

調査員 斎藤克典

同 須賀井新人

事務局事務局長 後藤茂彌 (山形県教育庁文化課 課長)

事務局長補佐 土門紹穂 (同 課長補佐)

事務局員 菅原徳嘉 (同 芸術文化主査)

佐藤大治 (同 文化財主査)

長谷部恵子 (同 主事)

氏家修一 (同 主事)

高橋春雄

- 5 調査については、酒田市教育委員会・中平田公民館・最上川右岸土地改良事務所・大町溝土地改良区の関係機関、並びに地元手藏田地区の方々の御協力を得た。ここに記して感謝申し上げる。

- 6 採図縮尺は、遺構については、1/40・1/60・1/160、遺物については、1/2・1/3を基本としそれぞれにスケールを示した。図版の遺物は、約1/3・1/7.5・1/10・1/15で表わした。

文中・表中及び採図中の記号は、G—グリッド、SD—溝跡、SE—井戸跡、SK—土塙、SX—性格不明遺構、EP—柱穴、RP—土器、RM—金属製品、RW・W—木製品・木片、F—遺構覆土、Y—床面、S—石を示す。

採図中の方位は、磁北に合わせた。遺構断面図のレベルは、図中に明示する以外は標高5.57mを表わす。

- 7 本報告書の作成については、名和達朗・太田 優・斎藤克典が担当し、採図・表・図版の作成については、渡辺清子・木村博子・前田和子・西村純子・武田一子・鈴木良子・松本時子・徳正宣子・徳永裕子がこれを補助した。

- 8 本書の図集は、阿部明彦・名和達朗が担当し、全体は、佐々木洋治が総括した。

- 9 土器・陶磁器鑑定については吉岡康暢氏(国立歴史民俗博物館)、墨書き解説については平川 南氏(同)の御教授を得た。

目 次

I 調査の経緯	
1 調査にいたるまでの経過	1
2 調査の経過	1
II 遺跡の概観	
1 遺跡の立地と環境	2
2 遺跡の層序	2
3 遺構と遺物の分布	2
III 遺構	
1 柱穴	7
2 土壙	7
3 井戸跡	9
4 溝跡	11
IV 遺物	
1 土器	47
2 陶磁器	47
3 土製品・石製品	52
4 木製品	52
5 金属製品・古銭	54
6 自然遺物	54
V まとめ	64

挿図目次

第1図 手藏田10・11遺跡と周辺の遺跡	12
第2図 遺跡全体図	3
第3図 遺跡配置図	5
第4図 遺構実測図(1)	8
第5図 遺構実測図(2)	10
第6図 遺構実測図(3)	12
第7図 遺構実測図(4)	13
第8図 遺構実測図(5)	14
第9図 遺構実測図(6)	15
第10図 遺構実測図(7)	16

第11図	遺構実測図 (8)	17	第30図	遺構実測図 (27)	36
第12図	遺構実測図 (9)	18	第31図	遺構実測図 (28)	37
第13図	遺構実測図 (10)	19	第32図	遺構実測図 (29)	38
第14図	遺構実測図 (11)	20	第33図	遺構実測図 (30)	39
第15図	遺構実測図 (12)	21	第34図	遺構実測図 (31)	40
第16図	遺構実測図 (13)	22	第35図	遺構実測図 (32)	41
第17図	遺構実測図 (14)	23	第36図	遺構実測図 (33)	42
第18図	遺構実測図 (15)	24	第37図	出土遺物 (1) 実測図	48
第19図	遺構実測図 (16)	25	第38図	出土遺物 (2) 実測図	49
第20図	遺構実測図 (17)	26	第39図	出土遺物 (3) 拓影図	50
第21図	遺構実測図 (18)	27	第40図	出土遺物 (4) 拓影図	51
第22図	遺構実測図 (19)	28	第41図	出土遺物 (5) 実測図	53
第23図	遺構実測図 (20)	29	第42図	出土遺物 (6) 実測図	55
第24図	遺構実測図 (21)	30	第43図	出土遺物 (7) 実測図	56
第25図	遺構実測図 (22)	31	第44図	出土遺物 (8) 実測図	57
第26図	遺構実測図 (23)	32	第45図	出土遺物 (9) 実測図	58
第27図	遺構実測図 (24)	33	第46図	出土遺物 (10) 実測図	59
第28図	遺構実測図 (25)	34	第47図	出土遺物 (11) 実測図	
第29図	遺構実測図 (26)	35		・拓影図	60

図版目次

卷頭図版 1	青磁碗	卷頭図版 5	筒状木製品
	磁器		弓
卷頭図版 2	陶磁器		舟型
	陶磁器	図版 1	遺跡遠景
卷頭図版 3	漆器	図版 2	A区全体図
	曲物	図版 3	A区
卷頭図版 4	下駄	図版 4	B区
	箱	図版 5	B区・C区

図版 6	SK30	図版32	出土遺物 (4)
図版 7	SK43	図版33	出土遺物 (5)
図版 8	SK76	図版34	出土遺物 (6)
図版 9	SK115	図版35	出土遺物 (7)
図版10	SK175	図版36	出土遺物 (8)
図版11	SK195	図版37	出土遺物 (9)
図版12	SK206	図版38	出土遺物 (10)
図版13	SK222	図版39	出土遺物 (11)
図版14	SK241	図版40	出土遺物 (12)
図版15	SK236	図版41	出土遺物 (13)
図版16	SK371	図版42	出土遺物 (14)
図版17	SK642	図版43	出土遺物 (15)
図版18	SD46	図版44	出土遺物 (16)
図版19	SD25	図版45	出土遺物 (17)
図版20	SD559	図版46	出土遺物 (18)
図版21	EP17	図版47	出土遺物 (19)
図版22	SE584	図版48	出土遺物 (20)
図版23	SE638	図版49	出土遺物 (21)
図版24	SK167土器出土状況	図版50	出土遺物 (22)
図版25	SD559土器出土状況	図版51	出土遺物 (23)
図版26	SD46石製品出土状況	図版52	出土遺物 (24)
図版27	SK206木製品出土状況	図版53	出土遺物 (25)
図版28	SD559木製品出土状況	図版54	出土遺物 (26)
図版29	出土遺物 (1)	図版55	出土遺物 (27)
図版30	出土遺物 (2)	図版56	出土遺物 (28)
図版31	出土遺物 (3)	図版57	出土遺物 (29)
附表-1	遺構計測表		43
附表-2	土器計測表		61
附表-3	土製品・石製品計測表		61
附表-4	木製品計測表		62
附表-5	古錢観察表		63



- | | | | | | |
|--------------|------------|----------|-----------|-----------|-----------|
| 1 手藏田10・11遺跡 | 2 手藏田6・7遺跡 | 3 西田遺跡 | 4 桜井興野遺跡 | 5 早船田遺跡 | 6 桜林遺跡 |
| 7 楠野田遺跡 | 8 生石2遺跡 | 9 生石4遺跡 | 10 安藤成輪相跡 | 11 下小松遺跡群 | 12 新田目遺跡 |
| 13 新田目城跡 | 14 豊原遺跡 | 15 豊原B遺跡 | 16 麻田遺跡 | 17 安田遺跡 | 18 茅針谷地遺跡 |
| 19 史跡堂の前遺跡 | 20 後田遺跡 | 21 沼田遺跡 | 22 俵田遺跡 | 23 上曾根遺跡 | 24 上ノ田遺跡 |
| 25 境興野遺跡 | 26 北田遺跡 | 27 間B遺跡 | 28 新青渡遺跡 | 29 南興野遺跡 | 30 手藏田2遺跡 |
| 31 手藏田12遺跡 | 32 高阿弥田遺跡 | 33 千河原遺跡 | 34 甘六木遺跡 | 35 八森遺跡 | 36 北境遺跡 |

第1図 手藏田10・11遺跡と周辺の遺跡

I 調査の経緯

1 調査に至るまでの経過

山形県の北西部庄内平野は、国指定史跡「城輪柵跡」をはじめ数多くの埋蔵文化財包蔵地（遺跡）が確認され、これまで調査が進められてきているところである。最近では、弥生土器が出土した「生石2遺跡」や、丸木舟が検出された「生石4遺跡」のように新資料が発見されている。

ここに昨年度からの継続として昭和62年度県営は場整備事業・中平田東地区が計画され、山形県教育委員会では、遺跡保存の観点から開発事業との調整を行うため、昭和61年9月10日、山形県農林水産部農地建設課と上記計画についてのヒアリングを行い、次に同年10月7日、分布調査による試掘調査を行った。その結果、計画区域が「手藏田10・11遺跡」の範囲内に入ることが確認なった。

この調査内容を基に、最上川右岸土地改良事務所・大町溝土地改良区・酒田市教育委員会の関係機関と協議を行った結果、県教育委員会が主体となり本遺跡についての緊急発掘調査を実施することで、遺跡の記録保存を図ることになったものである。調査期間は、昭和62年4月20日～同9月18日の延89日間である。調査対象区域は、計画農道（幅9m・延長255m）、計画排水路（幅4m・延長250m）及び工区北側の面工事区域（面積およそ11,900m²）である。

2 調査の経過

調査は、グリッド設定から入る。基準線は、計画農道センターから北へ2m平行移動した位置に合わせ座標X軸とした。Y軸は、工区西端の畦畔上でX軸に直交する位置に設定した。磁北との方向は、N-4°30-Eを測る。座標の原点は、北西隅に置いた。グリッドの単位は5×5mで、各マス目の番号は北西隅の座標番号数字で表わした（第2図）。

発掘に際しては、当初から重機を利用する計画のため、まず2×10mを基本とする手掘りによるトレンチを入れ、遺構・遺物の範囲・深さについて調べた。次に、重機を用いて計画農道・排水路（1回目5月）及び面拡張区域（2回目6月）についての粗掘りに入り、便宜上、各調査区についてはA～D地区と区分を行った。その後は、各地区毎に順次手掘りによる面精査に移り、掘り下げ・面削りを重ね遺構・遺物確認面及びその範囲の把握を行った。また、それと併行して、遺構・遺物の記録作業も隨時実施した。

調査後半からは、記録中心の作業に入り、全体写真撮影・平面実測・レベリング等を行い、9月12日の現地説明会を経て調査全日程を終了した。

II 遺跡の概観

1 遺跡の立地と環境（第1図）

手藏田10・11遺跡は、酒田市街から東へ約6.5km、山形県酒田市大字手藏田字村上58・97他に所在する。遺跡は手藏田地区東端の水田に位置し、標高は約6mを測る。調査では平田川付近のA・B地区で、比較的浅いところから遺構プランが検出され、南側のD地区にかけて深くなりC地区でまた浅くなることから、遺跡は平田川左岸に広がる河間低地内を東西方向にのびる幾筋かの微高地上に立地するものと考えられる。

現在の平田川は、改修後の流路であり以前はA・B地区南側の現況農道沿いだったということである。調査においても、30-20G、33-20Gでその痕跡がみとめられた。

周辺の遺跡では、すぐ南側に「手藏田6・7遺跡」、その南側には平田町「西田遺跡」・「早稻田遺跡」・「桜林興野遺跡」及び「桜林遺跡」が位置し、約1km²の中に隣接する地域である。

2 遺跡の層序（第32・34図）

層序については、各地区毎に内容に違いがみとめられるが、基本的には、I～III層に分けられる。なお、C地区は図示していないが、I層：耕作土(10cm前後)、II層：黒色粘土(10cm前後)、III層：青灰色砂質粘土・灰褐色及び青灰色粘土(地山)である。

遺物は、II層が包含層である。遺構は、III層上面が確認面である。前記したようにIII層上面は、起伏のある状況で浅い面を呈するA・B・C地区(40-60G付近)から主として遺構・遺物が確認された。

3 遺構と遺物の分布（第3図）

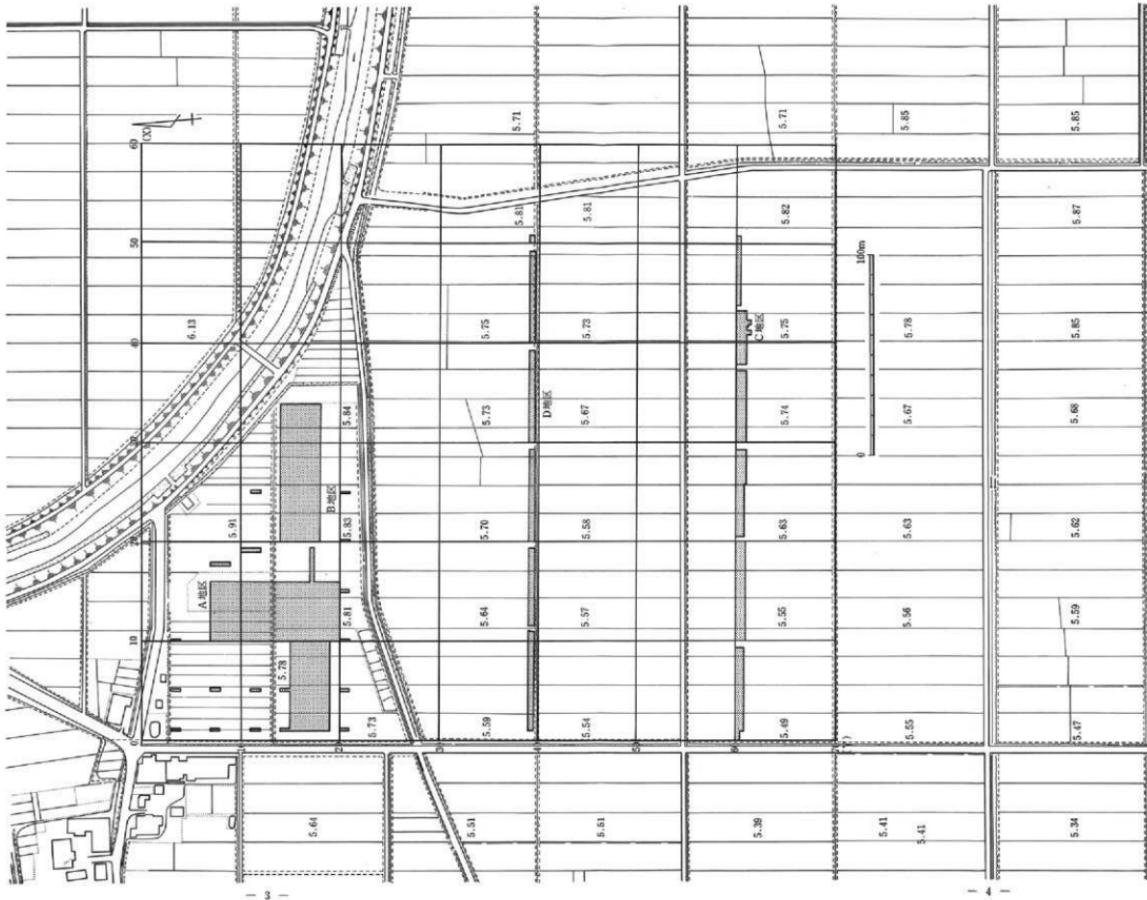
A・B・C地区からまとまった遺構の分布がみとめられ、遺物もその広がりに比例した出土量をもつ。中でもA・B地区は、面的に広げた区域のため最も多く確認できた。

A地区は、Y軸10列付近東側に遺構が広がり、SD559を境に2分する分布のまとまりがある。柱穴・土壙・井戸跡・溝跡が確認できた。柱穴については、建物跡を構成するものは確認できなかったが、礎板と考えられる板材を伴うものが認められた。

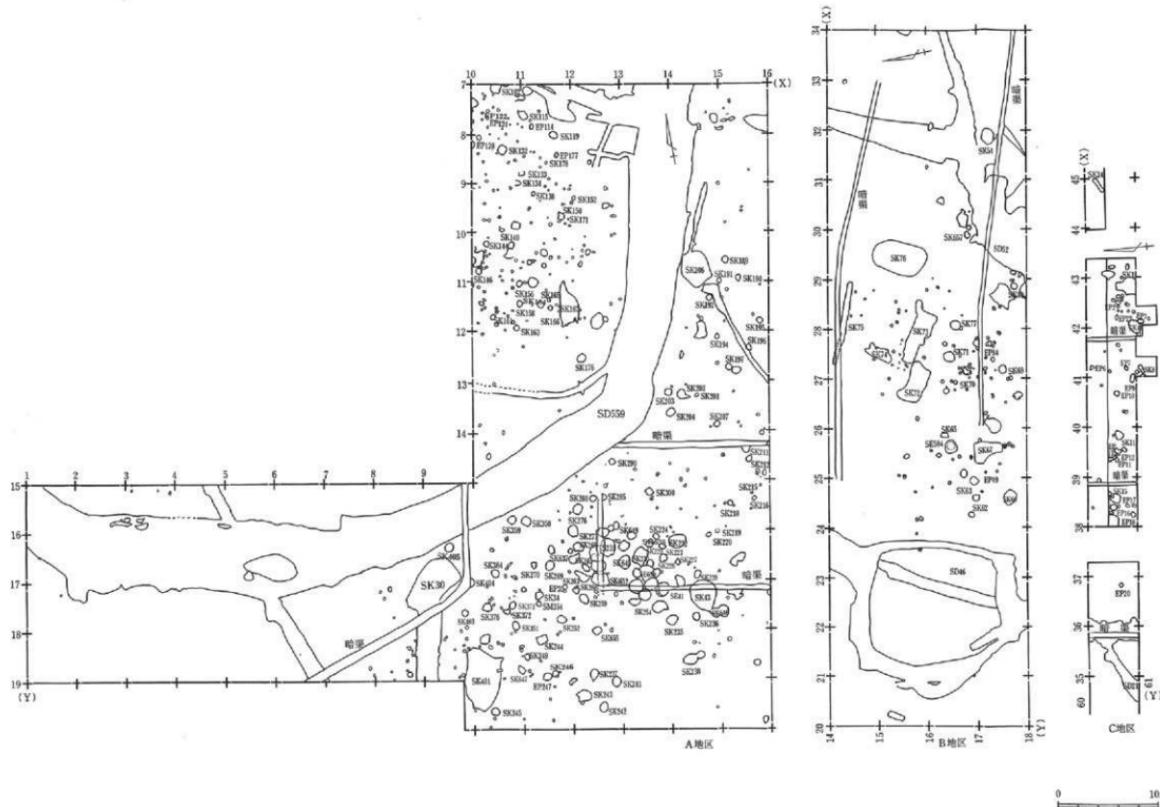
B地区は、中央付近に遺構がまとまり、東西にSD48・52が位置する。柱穴・土壙・井戸跡・溝跡で、SD48は略方形に囲み塚状の遺構が推定される。

C地区は、南側に位置するトレンチで、柱穴・土壙が確認できた。前2地区とは約200mの距離に位置する。

D地区は、32-37-41G III層上面でSD25を検出したのみで、遺物も少ない。



第2図 遺跡全体図



第3図 遺構配置図 (A・B・C地区)

III 遺構

本遺跡検出遺構数は、柱穴445・井戸跡3・土壙183・溝跡22である。各遺構で調査記録できたものについては、表一に項目毎にまとめ、ここではその内容や特徴の概観について述べる。

1 柱 穴 (第4・10・12図 図版21)

土壙とは、径50cm前後を境に区分を行った。検出数は多かったが、建物跡を確定する柱並びは確認できなかった。但し、SD559が西向きに曲がるところの東側付近には、掘り方等は明らかでないが、礎板を残す一群がみとめられたこと、また柱根やアタリを残すもの(A地区EP177・B地区EP14)も確認されたことから建物跡の存在を推定することができる。

時期は、他の遺構との分布位置関係や出土土器(EP49—第38図17 図版30—19)により平安時代・中世に分けられる。

2 土 壙 (第5~27図 図版6~17)

A・B地区からまとまって確認できた。大きさは大小みとめられるが、計測値では径50~150cm・深さ20~100cm前後の大きさのものが多い比率をもつようである。平面形は、円形・橢円形・長方形・不整形のタイプに大きく分けられ、中でも円形を主とするものが多い。その大きさや断面形態を基に次のように分類する。

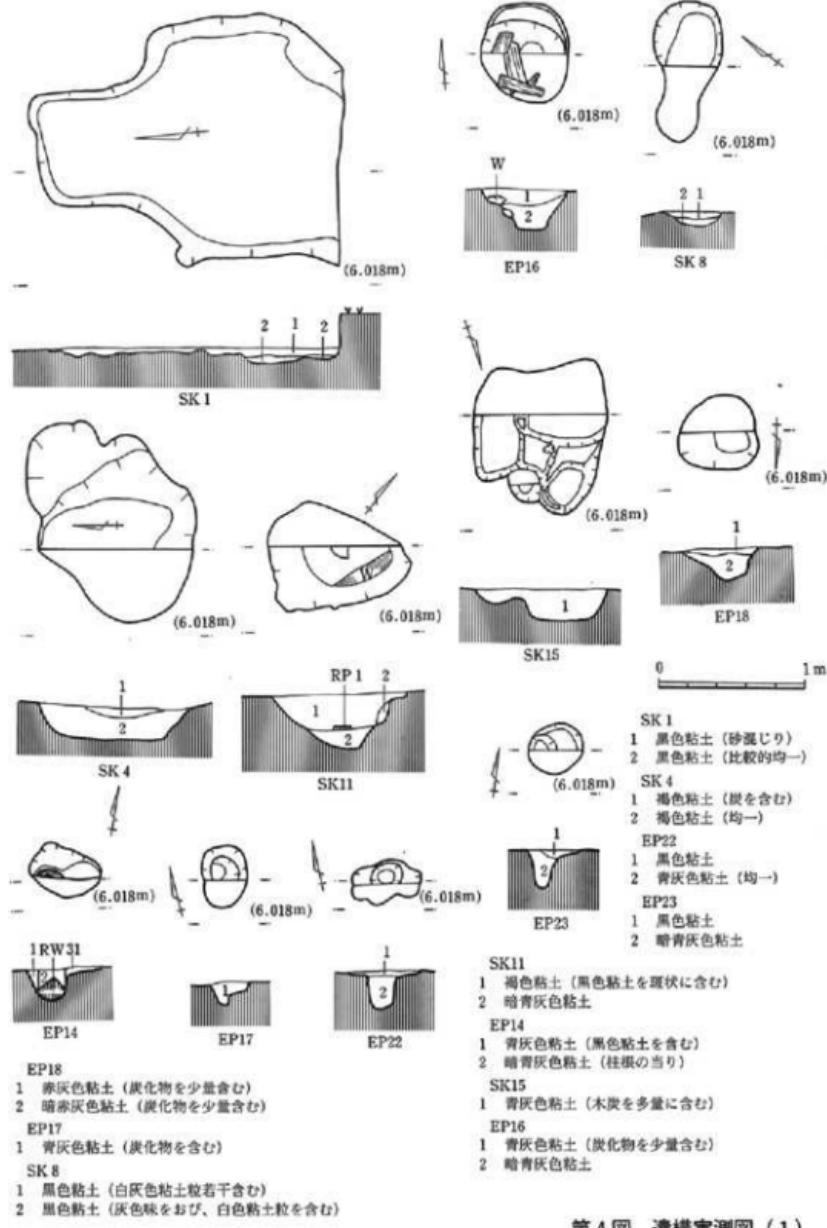
A類：深さ約10~30cmと浅く、断面形態は、壁面が比較的丸味を呈して立上り、断面形態が皿状ないし台形状を呈するもの。

B類：最も多いタイプである。深さ25~136cmと様々であるが、壁面がほぼ垂直ないし急傾斜で立上り、断面形態が円筒状やそれに近い形態を呈するもの。全体の確認はできなかつたが、SK222は底部に井桁状の木枠(実見できず)やSK652は板材(縦板?)が一部みとめられ、井戸跡を想定できるものも含む。

C類：数は少ない。B類に近いタイプである。断面形態が、袋状を呈するものである。

D類：径300~650cm大を測る大形の土壙である。壁面は、比較的緩やかに立上り、断面形態が皿状ないし台形状を呈するもの。特に覆土からは、木製品をはじめ多数の遺物が出士した(SK30・72・76・401)。

覆土では、B~D類の中に炭化物層(図中網掛け部分)を縞状に堆積する特徴をもつもの(SK43・62・72・163・202・206・219・234・247・252・262・269・276・359・405・638・650)がみとめられた。



第4図 遺構実測図(1)

出土遺物は、土器・陶磁器・木製品・鉄製品・石製品・古錢・骨・種子等で、特に木製品が顕著である。また、石製品では、SK290・657から五輪塔片が出土、また、SK236は自然石が覆土上面に重なってみとめられ、SK161・189・218・280では覆土内から出土した。覆土及び遺物の内容から、土壤群の機能的な違いを示すものといえる。時期は、平安時代と中・近世に分けられるが、大半は中世の所産と考えられる。

3 井戸跡（第27～31図 図版22～23）

SE41井戸跡（第27・29図 図版23）

A地区SD559溝跡南側に位置する。当初重複する土壤群として把握したが、覆土精査を進めるうちに井戸眼と考えられる曲物（図版48～61）が出土し、井戸跡に類別したものである。土壤群は1ヶ所に集中するように重複を示し、その前後関係はプランの重なりによりSE41→SK233→SK644→SK642、SK40→SK642と考えられる。SE41・SK642・644については、東西に暗渠の溝掘りがあり縱走する擾乱を受けている。曲物は、暗渠排管のすぐ下から確認された。

掘り方は、擾乱と土崩れにより推定線であるが、ほぼ垂直に立上がる。井桁・縦板はみとめられなかった。覆土は、セクション壁の崩れたブロックからの復元線で、曲物確認上部までである。層は3つに分けられ、2層から土器片が数点出土した。

出土遺物は、須恵器・赤焼土器であり、時期は平安時代の所産と考えられる。

SE584井戸跡（第30・31図 図版22）

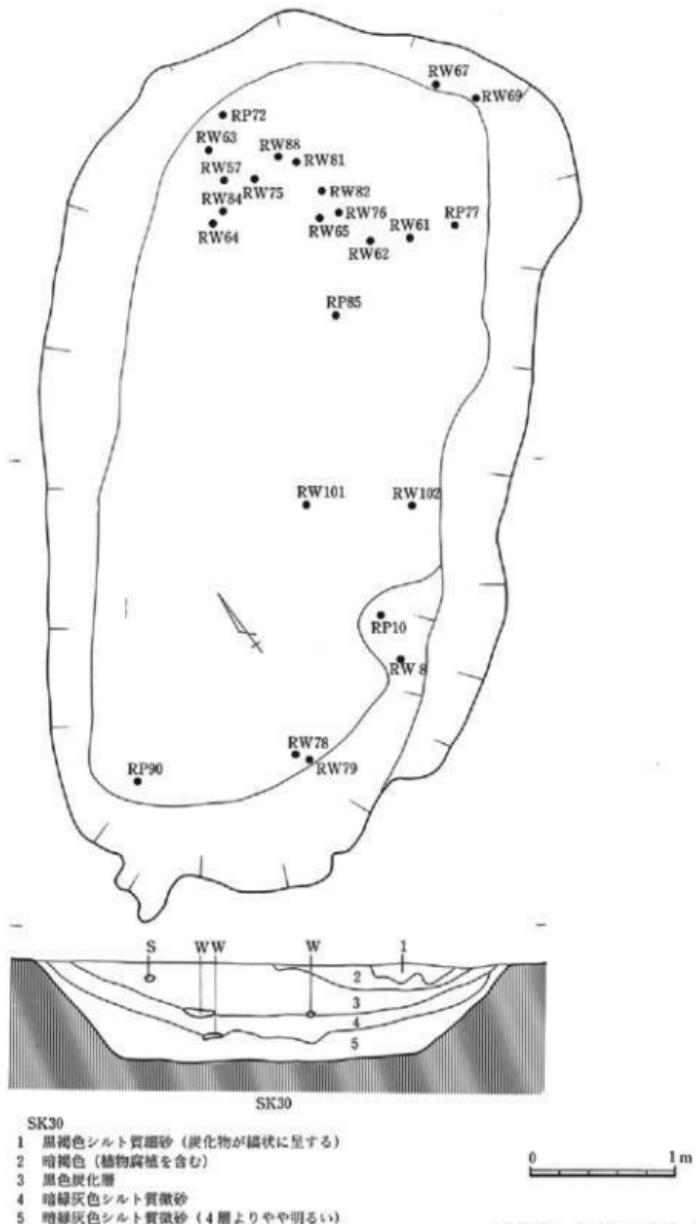
B地区中央付近南西に位置する。プラン検出段階で、井戸枠と考えられる円形の囲みが掘り方内側に確認された。その大きさは、径80cmを測る。

掘り方は、少し起伏をもつてほぼ垂直に立上り、覆土は4層に分けられる。遺物はほとんど未検出である。各層は斜めの堆積を示し、確認面で1層がプラン内側にみとめられた。

井戸枠内の覆土についても半截して掘り進め、掘り始めの段階から焼土・炭化物に混じって土器・石・板材が出土した。その下からは、土器が主体になった。土層断面は、覆土半截面が途中でブロックで崩れてしまい、その層位については記録できなかった。

井戸枠は、丸木を割竹状に割り貰ったものを縦に両側から合わせ、内面に四角い凹みをつけ横棟を支える構造である。丸木の合わせ目は、離れていて間を別の縦板で埋めている。この縦板も少し内側にわん曲をもつ。丸木の内面には、1ヶ所水抜きと考えられる四角い穴に栓がしてあり、また側面上端及び外面にも四角い凹みがつけてあり、形状からも縦板も含め丸木船を井戸枠に転用したことが考えられる（図版54～56）。

出土土器は、土師器・赤焼土器（第37図1～12 図版29～1～12）で、時期は平安時代（10C頃）の所産と考えられる。



第5図 透構実測図（2）

SE639井戸跡（第27～29図 図版22・23）

SE41北側に位置する。同様に土壌群と重複し、その前後関係は、SE639→SK233→SK644→SK642、SE639→SK640・641である。

井戸枠は、方形に縦板・杭（図版50～54）を配し、内側に納でつないだ横桟（図版49～65～68）をめぐらす構造である。底部には曲物（図版49～69）を設置し、井戸眼としている。井戸枠の一辺は、56×45cmを測る。縦板は、土圧のためか内側に傾斜している。また、SE584の井戸材と同じく板は内面にわん曲をもち、その一部は側面も少し内側に反りを示す（図版50～71・72）。さらにその一部は、側縁に四角い穴をもつ。本遺構の井戸材もSE584と同一材か不明であるが、同じく丸木船の転用材であることが考えられる。

掘り方は、途中段を呈するが、傾斜して掘り込まれている。覆土は9つに分けられ、井戸の水利面を考慮したことによるものか、全体に砂質で構成する。

出土土器は、土師器・須恵器・赤焼土器（第37図13・14 図版29-13・15）で、時期は平安時代（10C頃）の所産と考えられる。

4 溝 跡（第32～36図 図版17～20）

A～D各地区で確認できたが、調査・記録を行ったのは、SD25・46・52・75・559についてである。その内時期は、出土遺物の内容からSD25以外中世の所産と考えられる。

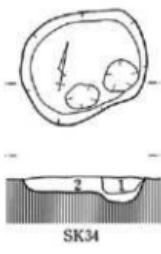
SD25は、緩かな蛇行を呈し、東側から西側に徐々に幅が狭くなる。壁の立上りは緩かで自然地形によるものかもしれない。近世以降と思われる染付磁器（秉燭）を出土した。

SD46は、略方形にめぐり塙跡を想定するもので、東西・南北約16・17mを測る。北東及び南辺に、水の流入・排水口と考えられる溝が付く。覆土に五輪塔の破片や骨片を含み、塙を呈する墓地であったことが考えられる。

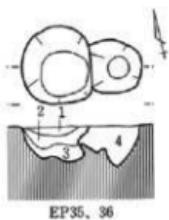
SD52は、B地区東側に一部かかるのみである。詳細な調査はできなかったが、底面起伏のある溝である。覆土から土器・陶磁器の他に刀子や鉄片等が、出土した。北辺でSK657が重複し、SD52→SK657の前後関係（推定）を示す。

SD75は、長さ8.37mを測る棒状に細長くのびる溝である。壁面の立上りも垂直を呈し断面U字形を呈する。覆土から中世陶器（擂鉢）が出土した。

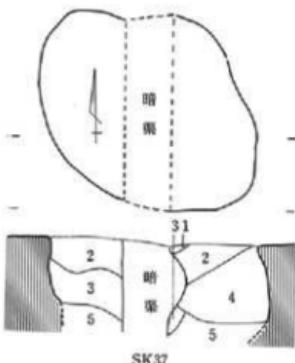
SD559は、SD52と同じく幅広い大きな溝である。A地区の北側から西側に、大きく半円状にのびる。北西側の延長は未調査であるが、溝の南北に遺構群がまとまり何らかの区画を呈するようである。北西側で行ったトレンチ調査では、柱穴や大小の土壙がみとめられた。覆土からは、陶磁器（第38図25・28・34・37 卷頭図版1 図版37-109、同38-125・126）、木製品（第43図1・15、第46図25・26 図版40-1・2・6、同42-25・30、同44-35、同50-49）等多くの遺物が出土した。



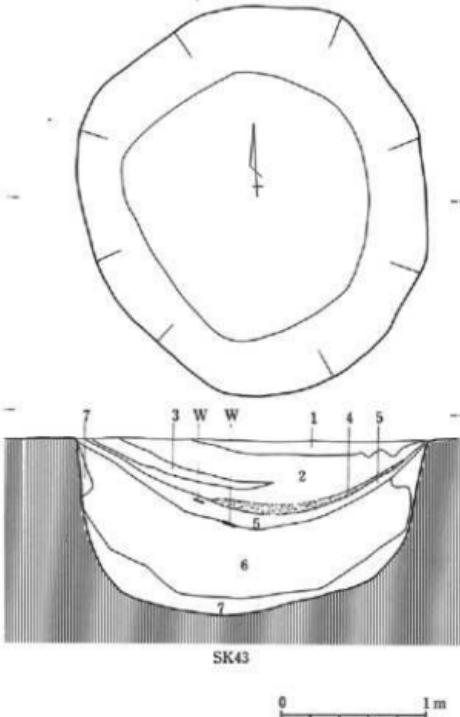
SK34



EP35, 36



SK37

**SK34**

- 1 暗灰黄色シルト質細砂
- 2 暗黄褐色シルト質細砂（所々に黒色シルト質細砂が混じる）
- EP35, 36
- 1 暗黄色シルト質細砂と黒色シルト質細砂のまだら状に呈する。
- 2 暗灰黄色シルト質細砂（黒色土が細かく斑点状に入れる）
- 3 黄褐色シルト質細砂（2よりも粒子が大きくて明るい）
- 4 暗黄色シルト質細砂と黄褐色シルト質細砂のまだら状に呈する。（S側によりに黒色シルト質細砂が多く混じる）

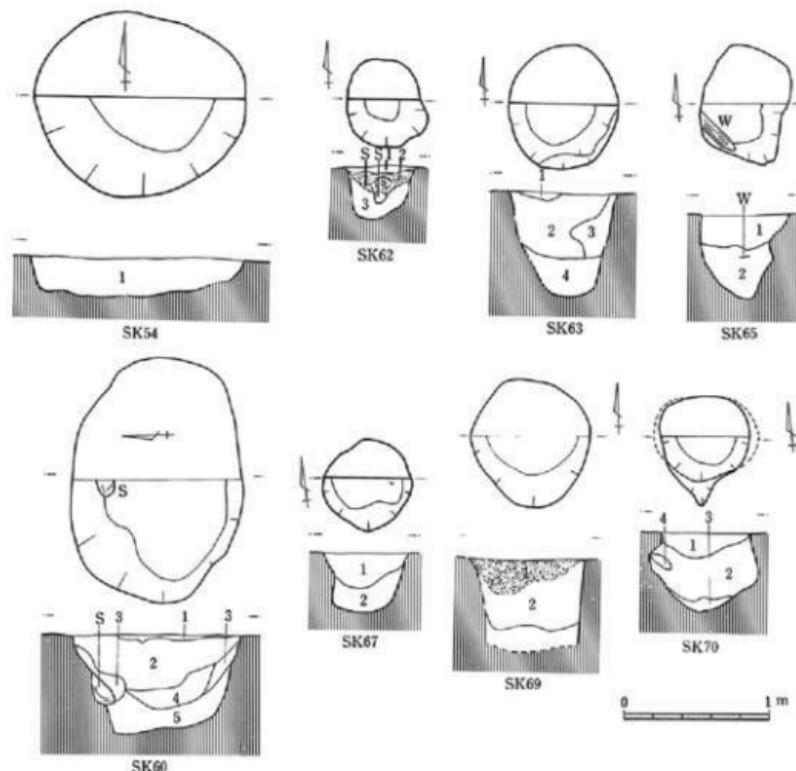
SK37

- 1 黑褐色シルト質細砂
- 2 黑色シルト質細砂
- 3 植物の腐植層
- 4 黄褐色と緑灰色のシルト質粗砂
- 5 緑黒色シルト質細砂（腐植を多量に含む）

SK43

- 1 黑褐色シルト質細砂
- 2 黑褐色シルト質細砂（黑色炭化物が縞状に入る）
- 3 もみの腐植層
- 4 黑色炭化層
- 5 植物の腐植層
- 6 緑黒色シルト質粗砂
- 7 緑灰色シルト質細砂（緑灰色シルト質粗砂をまだら状に呈する）

第6図 造構実測図（3）



SK54

1 黄灰色シルト質細砂（純黄褐色シルト質細砂が大きく
まだら状に入る）

SK62

1 黒褐色シルト質細砂
2 黒色炭化層（炭化した焼木を含む）
3 黒色シルト質細砂

SK60

1 黄灰色シルト質細砂
2 黑色シルト質細砂
3 黑褐色シルト質細砂
4 黑色シルト質微砂
5 緑黒色シルト質微砂

SK63

1 黑色シルト質細砂
2 黄灰色シルト質細砂
3 黄灰色シルト質細砂（純黄褐色が混じる）
4 喀綠灰色シルト質細砂（喀綠灰色シルト質細砂が混じ
る）

SK65

1 暗灰黃色シルト質細砂と黑色シルト質細砂の交互の層
2 黑色シルト質細砂

SK67

1 黑色シルト質細砂（2層の境目腐植の層を含む）
2 黑色シルト質細砂（純い黄褐色シルト質細砂）

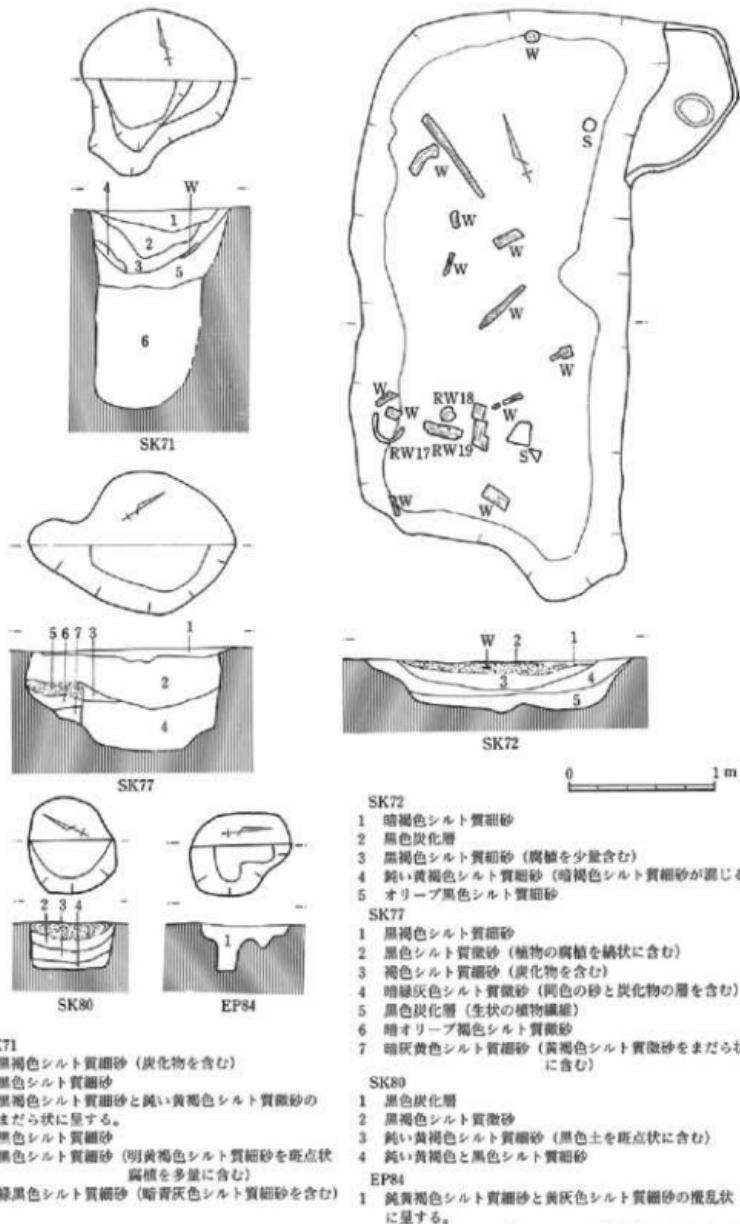
SK69

1 黑色炭化層
2 黑色シルト質微砂

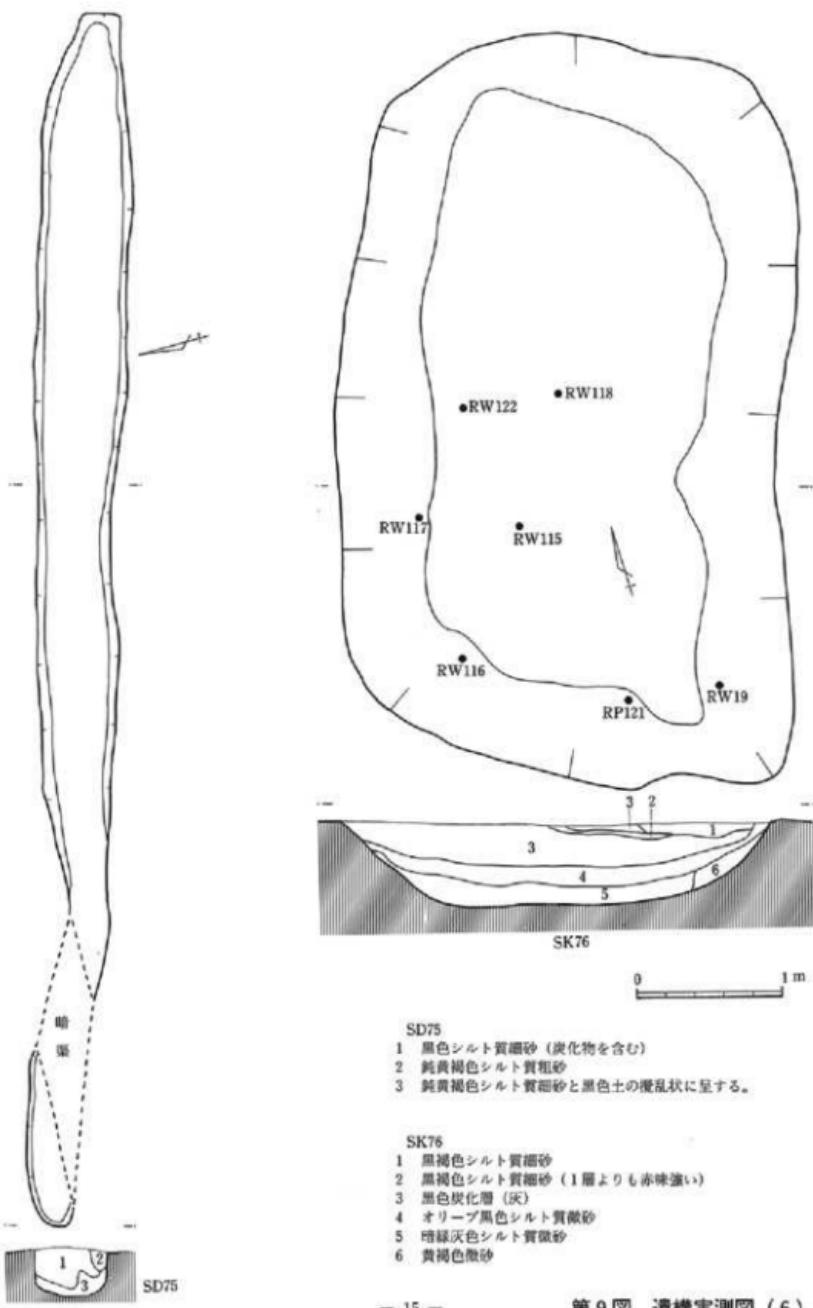
SK70

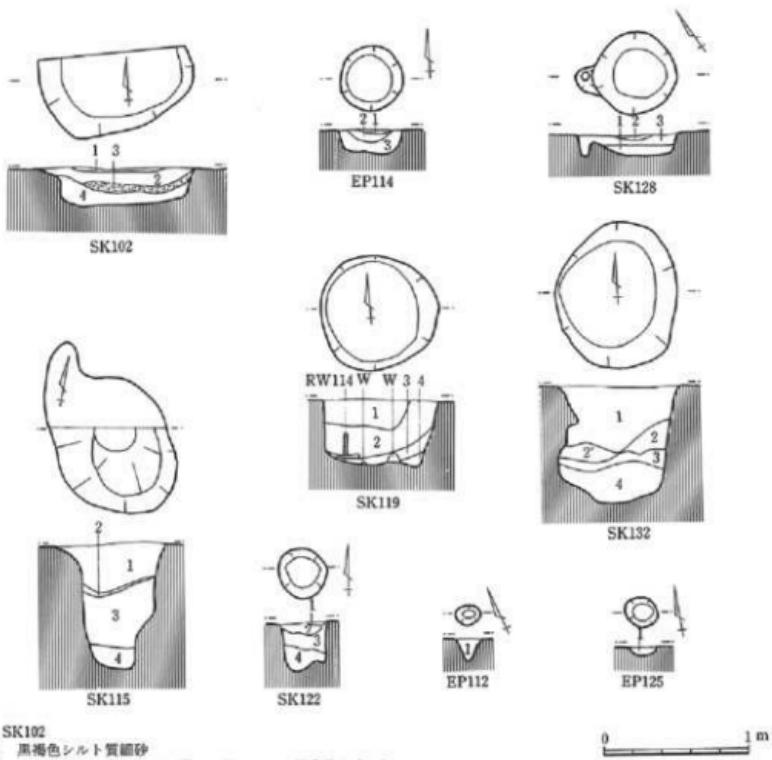
1 黑褐色シルト質細砂（炭化物を少量含む）
2 黑褐色シルト質細砂（純赤褐色を含み1層よりも赤味
強）
3 緑黑色シルト質細砂（腐植を少し含む）
4 純い黄褐色シルト質細砂（地山入り込む）

第7図 遺構実測図(4)



第8図 遺構実測図(5)





SK102

- 1 黒褐色シルト質細砂
- 2 黒褐色シルト質細砂（1層より黒っぽい・炭化物を含む）
- 3 黒色炭化層
- 4 黑色シルト質細砂（炭化物を含む）

EP112

- 1 黑褐色シルト質細砂

EP114

- 1 灰層
- 2 黄褐色シルト質細砂
- 3 黑褐色シルト質細砂

SK115

- 1 黑色シルト質細砂（炭化物を少量含む）
- 2 植物の腐植
- 3 黑色シルト質細砂
- 4 黑色シルト質細砂（植物腐植を含む）

SK119

- 1 黑色シルト質細砂（炭化物を少量含む）
- 2 黄褐色シルト質細砂
- 3 黑色シルト質細砂（下層に炭化物と腐植層を含む）
- 4 黄褐色シルト質粗砂と黑色シルト質細砂のまだら状に呈する。

EP122

- 1 黄灰色シルト質細砂
- 2 黑褐色シルト質細砂（純黄褐色がまだら状）
- 3 黑色シルト質細砂
- 4 黄灰色シルト質細砂

EP125

- 1 黑褐色シルト質細砂

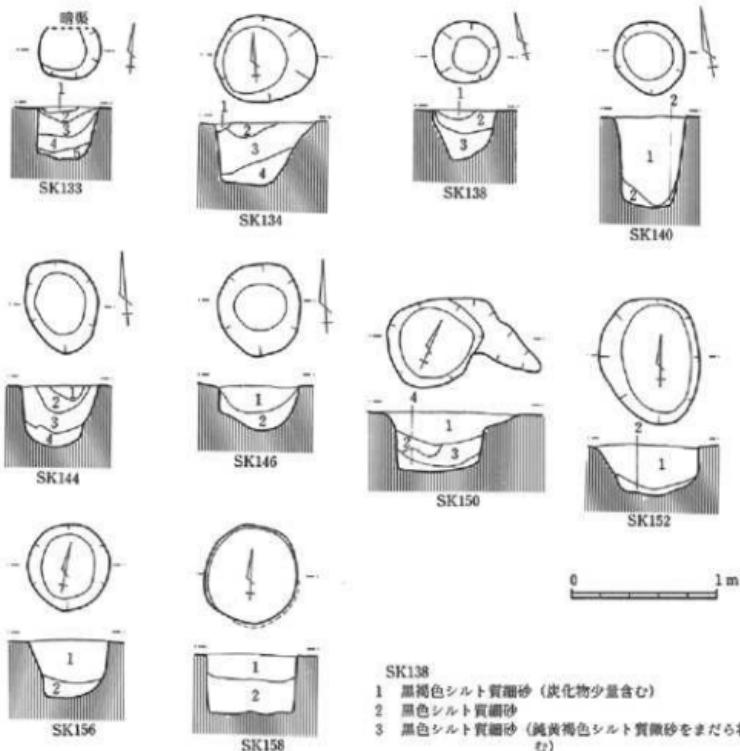
EP128

- 1 灰層
- 2 黑褐色シルト質細砂（他の黒褐色よりも幾分白っぽい）
- 3 灰色シルト質細砂

SK132

- 1 黑色シルト質細砂（炭化物を含む、2層近くに腐植層を含む）
- 2 黄褐色シルト質細砂
- 2' 2層と1層の擾乱状に呈する。
- 3 喀綠灰色シルト質細砂
- 4 黑色シルト質細砂（植物の腐植を含む）

第10図 遺構実測図（7）



SK133

- 1 黒褐色シルト質細砂
 - 2 黒色シルト質細砂 (炭化物を少量含む)
 - 3 黒色シルト質細砂 (2層より粒子が細い)
 - 4 黒褐色シルト質細砂 (黒色シルト質細砂を斑点状に含む)
 - 5 黒色シルト質細砂
- SK134
- 1 黒褐色シルト質細砂
 - 2 黑色シルト質細砂 (炭化物を少量含む)
 - 3 黑色シルト質細砂 (2層より粒子が細い)
 - 4 黑色シルト質細砂 (2層より粒子が細い)
- SK140
- 1 黑色シルト質細砂
 - 2 黑色シルト質細砂
- SK144
- 1 黑色シルト質細砂
 - 2 黑色シルト質細砂
 - 3 黑色シルト質細砂
 - 4 黑色シルト質細砂
- SK146
- 1 黑色シルト質細砂
 - 2 黑色シルト質細砂
- SK150
- 1 黑色シルト質細砂
 - 2 黑色シルト質細砂
 - 3 黑色シルト質細砂
 - 4 黑色シルト質細砂
- SK152
- 1 黑色シルト質細砂
 - 2 黑色シルト質細砂
- SK156
- 1 黑色シルト質細砂
 - 2 黑色シルト質細砂
- SK158
- 1 黑色シルト質細砂
 - 2 黑色シルト質細砂

SK138

- 1 黒褐色シルト質細砂 (炭化物少量含む)
- 2 黑色シルト質細砂
- 3 黑色シルト質細砂 (純黄褐色シルト質細砂をまだら状に含む)

SK146

- 1 純黄褐色シルト質細砂
- 2 黑色シルト質細砂 (炭化物を含む)

SK150

- 1 黑色シルト質細砂と純黄褐色シルト質細砂構状 (炭化物少し含む)
- 2 纯黄褐色シルト質細砂
- 3 纯黄褐色シルト質細砂 (纯黄褐色をまだら状に含む)
- 4 黑色シルト質細砂

SK152

- 1 黑色シルト質細砂 (純黄褐色のまだら状の層を含む)
- 2 黑褐色と純黄褐色とのまだら状細砂 (炭化物を含む)

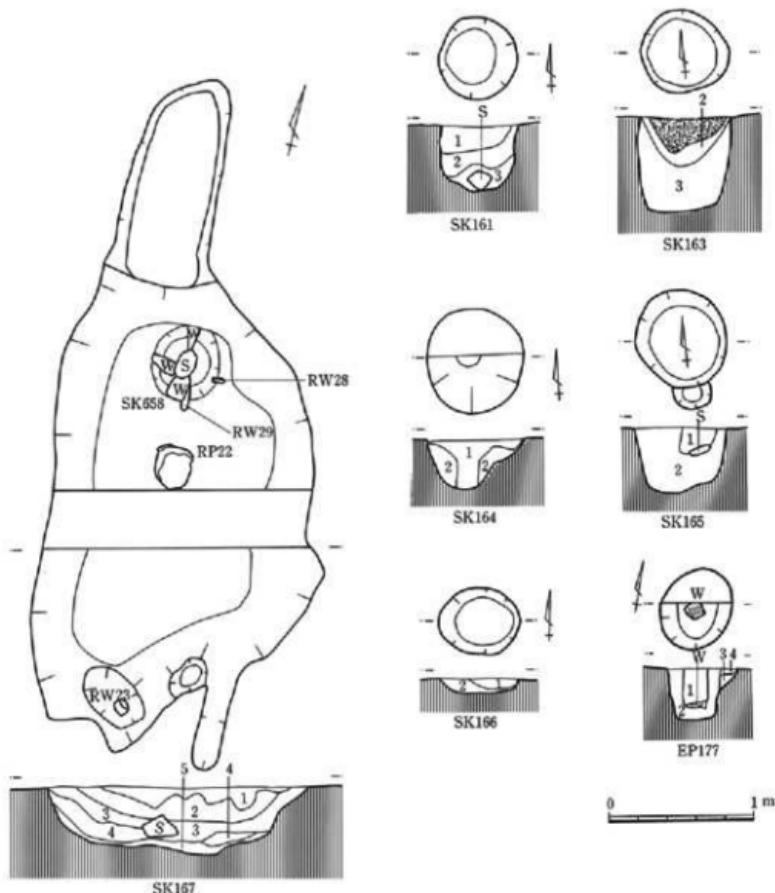
SK156

- 1 黑褐色シルト質細砂 (炭化物を含む)
- 2 黑褐色シルト質細砂 (純黄褐色をまだら状に含む)

SK158

- 1 黑褐色シルト質細砂 (純黄褐色がまだら状に入る)
- 2 黑色シルト質細砂 (1層よりも粒子が細かい純黄褐色がところどころに混じる)

第11図 遺構実測図 (8)



EP177

- 1 黒褐色シルト質細砂を中心とする黑色炭化物が埋む
- 2 1層の擾乱状態
- 3 黒褐色シルト質細砂
- 4 黒褐色シルト質細砂と純黄褐色細砂

SK167

- 1 黒褐色シルト質細砂
- 2 黒色炭化層
- 3 暗褐色シルト質細砂（炭化物を含む）
- 4 純黄褐色シルト質細砂
- 5 灰オリーブ色シルト質細砂

SK161

- 1 黒褐色（下層に純黄褐色がまだら状にのびる）
- 2 黒褐色1層よりも黒っぽい（下層に炭化物と腐植の層がある）
- 3 黑褐色と純黄褐色の擾乱状態

SK163

- 1 黒色炭化層
- 2 黒褐色シルト質細砂
- 3 2層に純黄褐色をまだら状に含む

EP164

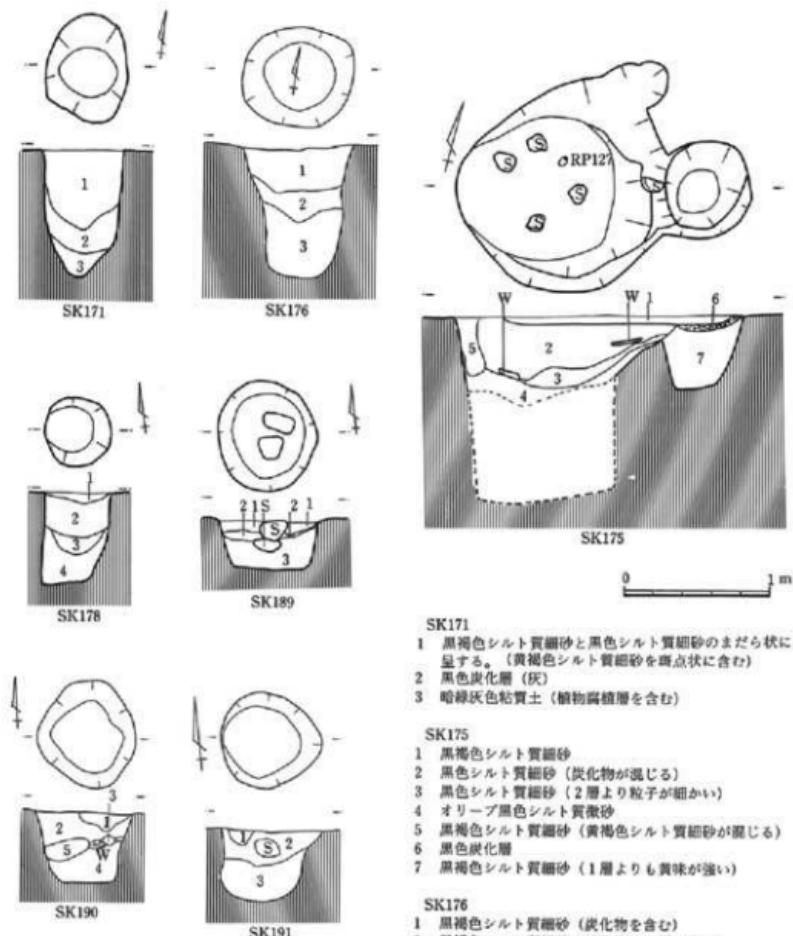
- 1 黒褐色と純黄褐色シルト質細砂の擾乱状に呈する。
- 2 純黄褐色シルト質細砂

SK165

- 1 黒褐色シルト質細砂
- 2 純黄褐色の擾乱状土（炭化物を含む）

SK166

- 1 黒色シルト質細砂
- 2 純黄褐色シルト質細砂



SK191

- 1 黒褐色シルト質細砂
- 2 黒色シルト質細砂
- 3 黑色シルト質微砂

SK190

- 1 黒褐色シルト質細砂
- 2 黑色シルト質細砂（炭化物を含む）
- 3 黑色炭化層
- 4 黑褐色シルト質細砂

SK171

- 1 黒褐色シルト質細砂と黒色シルト質細砂のまだら状に呈する。（黄褐色シルト質細砂を斑点状に含む）
- 2 黑色炭化層（灰）
- 3 喀綠灰色粘質土（植物腐植層を含む）

SK175

- 1 黑褐色シルト質細砂
- 2 黑色シルト質細砂（炭化物が混じる）
- 3 黑色シルト質細砂（2層より粒子が細かい）
- 4 オリーブ黑色シルト質微砂
- 5 黄褐色シルト質細砂（黄褐色シルト質細砂が混じる）
- 6 黑色炭化層
- 7 黑褐色シルト質細砂（1層よりも黄味が強い）

SK176

- 1 黑褐色シルト質細砂（炭化物を含む）
- 2 黑褐色シルト質細砂（植物腐植の層を含む）
- 3 綠黑色と喀綠灰色のまだら状（下層に植物の灰の層がある）

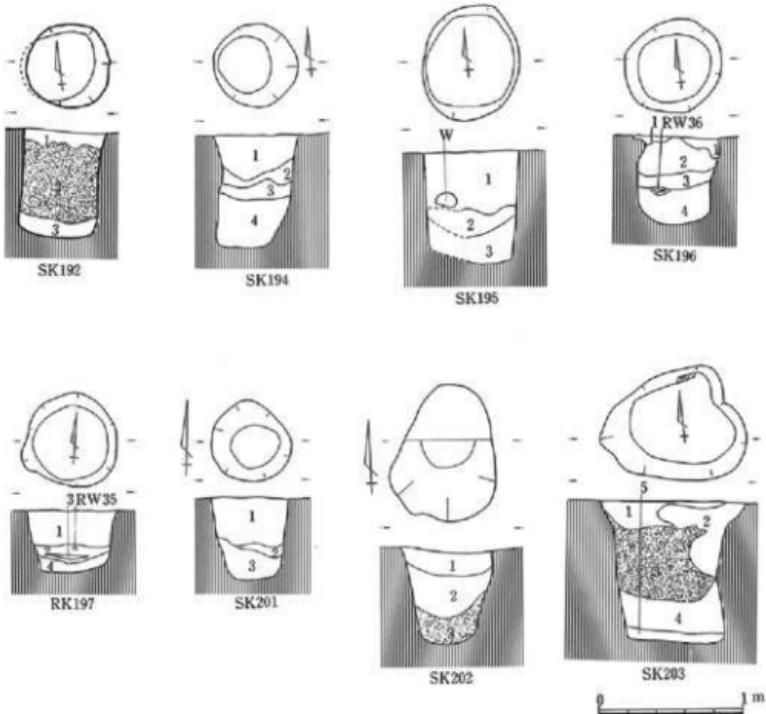
SK178

- 1 黑褐色シルト質細砂
- 2 黑色シルト質細砂（炭化物を含む）
- 3 細雜質の炭化層（植物の腐植を含む）
- 4 黄灰色シルト質細砂（黑色シルト質細砂をまだら状に含む）

SK189

- 1 黑色シルト質細砂
- 2 黑色炭化層と植物の腐植鉛錆状に呈する。
- 3 黑色シルト質細砂（1層よりも黄味が強い）

第13図 造構実測図 (10)



SK192

- 1 黒色シルト質細砂（炭化物を含む）
- 2 黒色炭化層
- 3 黒色シルト質細砂（植物腐植を含む）

SK194

- 1 黒色炭化層と黒褐色シルト質細砂の継状
- 2 オリーブ黑色シルト質細砂
- 3 緑黒色シルト質細砂（2層よりも香味が強い）

SK195

- 1 黒色シルト質細砂
- 2 黒色シルト質細砂（ワラとモミガラの腐植多量に含む）
- 3 喀緑灰色シルト質細砂

SK196

- 1 黒褐色シルト質細砂
- 2 黒色シルト質細砂（炭化物を少し含む）
- 3 植物の腐植
- 4 喀緑灰色シルト質細砂（喀緑灰色シルト質微砂を含む）

SK197

- 1 黒色シルト質細砂と純黄橙シルト質粗砂のまだら状に呈する。
- 2 黑褐色シルト質細砂（植物腐植と黑色炭化物を含む）
- 3 喀緑灰色シルト質粗砂
- 4 オリーブ黑色シルト質細砂

SK201

- 1 黒色シルト質細砂
- 2 植物腐植層
- 3 喀緑灰色シルト質細砂に緑色シルト質粗砂がまだら状に呈する。

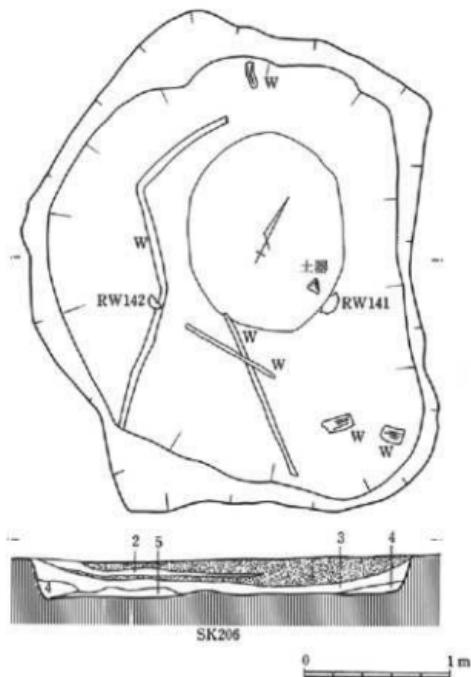
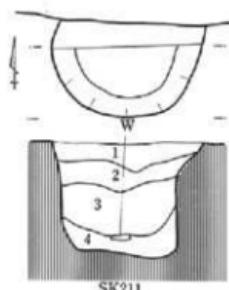
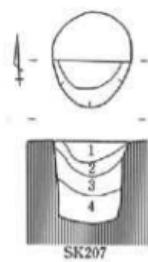
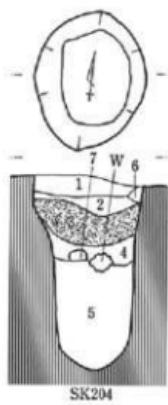
SK202

- 1 黒色炭化層
- 2 黒色シルト質細砂
- 3 黑色炭化層（喀緑灰色シルト質粗砂を斑点状に含む）

SK203

- 1 喀灰黄色シルト質粗砂（炭化物を含む）
- 2 喀緑灰色シルト質細砂のまだら状に呈する。
- 3 黑色炭化層
- 4 オリーブ黑色シルト質細砂
- 5 喀緑灰色シルト質微砂（植物腐植を含む）

第14図 遺構実測図 (11)



SK204

- 1 黒色シルト質細砂
- 2 黒色シルト質細砂（オリーブ褐色シルト質細砂が斑点状呈する）
- 3 黒色炭化層（植物の腐植多量に含む）
- 4 黒色シルト質細砂に暗緑色シルト質粗砂斑点状（植物の腐植含む）
- 5 黒色シルト質細砂（植物の腐植を含む）
- 6 黄褐色シルト質細砂（植物の腐植を含む）
- 7 緑灰色シルト質粗砂（植物の腐植含む）

SK206

- 1 黒色炭化層
- 2 黒褐色シルト質細砂（3層よりも赤味が強い）
- 3 黒褐色シルト質細砂
- 4 黑褐色シルト質細砂（炭化物の粒を含む）
- 5 鈍黄褐色シルト質粗砂

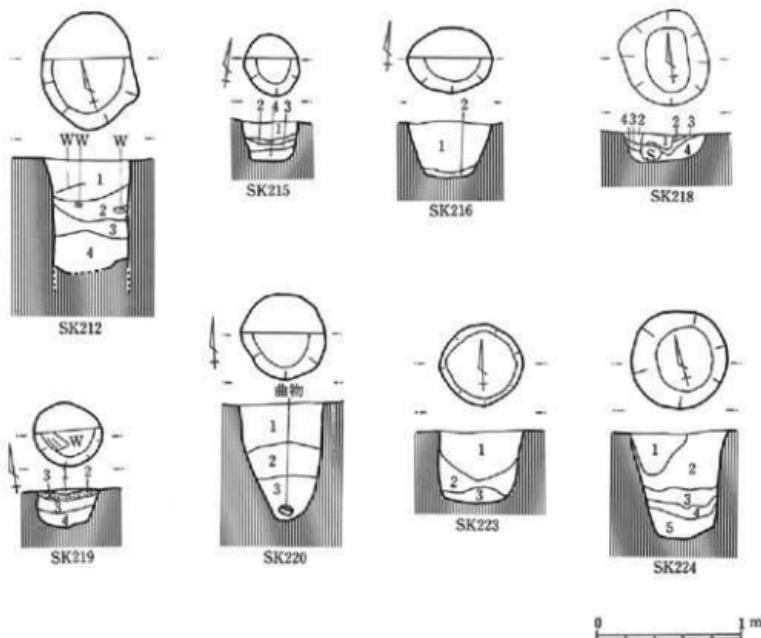
SK207

- 1 黑褐色シルト質細砂
- 2 黑褐色炭化層と腐植と黒褐色シルト質細砂の互層
- 3 黑色シルト質細砂
- 4 緑黒色シルト質細砂（緑灰色シルト質細砂が混じる）

SK211

- 1 黒色シルト質細砂
- 2 黑褐色シルト質細砂（純黄褐色シルト質粗砂をまだら状に含む）
- 3 黑色シルト質細砂（植物の腐植を含む）
- 4 暗緑灰色シルト質細砂

第15図 遺構実測図 (12)



SK212

- 1 黒褐色シルト質細砂
- 2 黒色シルト質細砂
- 3 緑黒色シルト質細砂
- 4 緑黒色シルト質細砂 (炭化物と腐植を含む)

EP215

- 1 鋼青褐色シルト質粗砂 (黒褐色シルト質細砂が縞状に入る)
- 2 腐植層
- 3 オリーブ褐色シルト質粗砂 (黄褐色が縞状に入る)
- 4 鋼青褐色シルト質粗砂

SK215

- 1 黒褐色シルト質細砂 (鋤い黄褐色がまだら状)
- 2 鋼青褐色シルト質細砂黒色シルト質細砂の擾乱状態に呈する。

SK219

- 1 黒褐色シルト質細砂 (炭化物を少量含む)
- 2 黒色炭化層
- 3 黒褐色シルト質細砂
- 4 黒褐色シルト質細砂 (鋤い黄褐色土を少量含む)

SK220

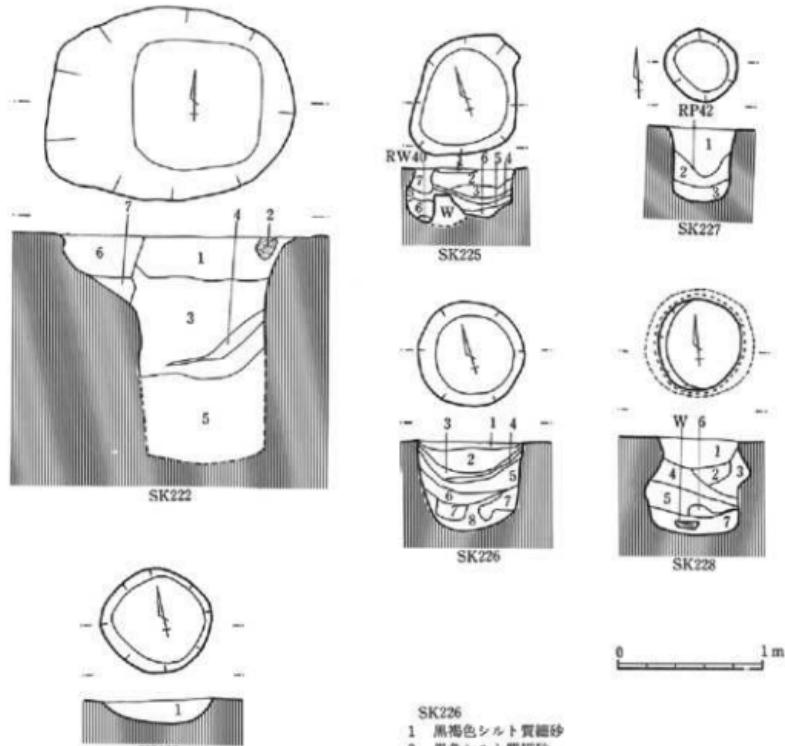
- 1 黒褐色シルト質細砂 (鋤い黄色土ブロックを含む炭化物を少量含む)
- 2 黑色シルト質細砂 (酸化鉄鉱を含む)
- 3 緑黒色シルト質細砂 (腐植物を少量含む)

SK223

- 1 黒褐色シルト質細砂
- 2 棕褐色シルト質砂
- 3 鋼青灰色シルト質粗砂

SK224

- 1 黃褐色シルト質粗砂と黒褐色シルト質細砂の擾乱状態に呈する。
- 2 黑色シルト質細砂
- 3 黑色シルト質細砂 (2層より粒子が細かい)
- 4 黑褐色シルト質細砂 (黄褐色が斑点状に入る)
- 1 純青褐色シルト質細砂 (黒褐色土が混じる)
- 2 純黃褐色と黒褐色シルト質細砂 (下層に炭化物と灰の層)
- 3 純青褐色シルト質粗砂 (炭化物を少し含む)
- 4 黑色炭化物 (灰)
- 5 緑黒色シルト質細砂



SK222

- 1 黒褐色シルト質細砂
- 2 黒色炭化層（1層よりも黒味が強い）
- 3 黑色炭化層
- 4 植物の腐植層
- 5 單緑灰色シルト質微砂〔細かい植物質を含む〕
- 6 黒色シルト質細砂とオリーブ褐色シルト質細砂のまだら状に呈する。
- 7 黒色シルト質細砂

SK225

- 1 灰褐色シルト質細砂
- 2 黒色シルト質細砂（黄褐色シルト質細砂をまだら状に含む）
- 3 黑色シルト質細砂
- 4 植物腐植層
- 5 黒色シルト質細砂と黄褐色シルト質細砂が塊状に呈する。
- 6 黄褐色シルト質細砂（黑色シルト質細砂を斑点状に含む）
- 7 1層の土と黄褐色シルト質細砂の擾乱状に呈する。

SK226

- 1 黒褐色シルト質細砂
- 2 黒色シルト質細砂
- 3 銀い黄褐色シルト質粗砂
- 4 黒色シルト質粗砂
- 5 黒色シルト質粗砂（植物の腐植を含む）
- 6 植物の腐植層
- 7 黑褐色粗砂
- 8 黑褐色シルト質細砂（粘性あり）

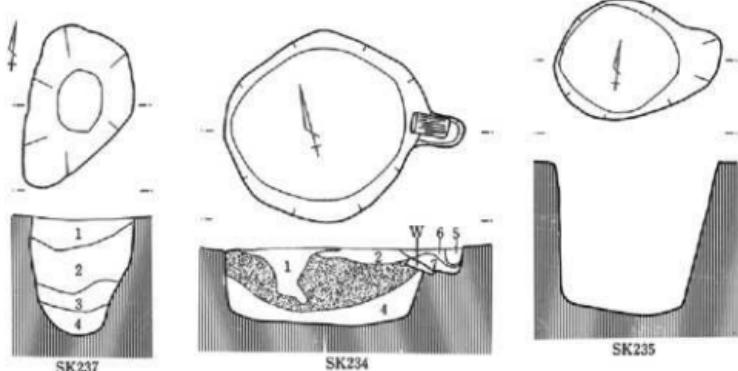
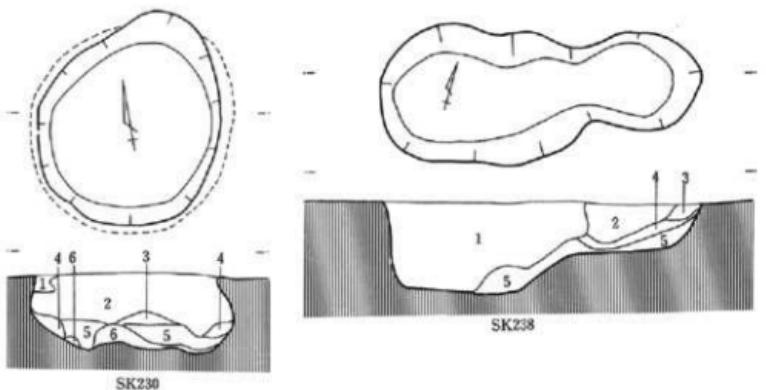
SK227

- 1 黑褐色シルト質細砂
- 2 黑色シルト質細砂
- 3 緑黒色シルト質細砂

SK228

- 1 黑褐色シルト質細砂（炭化物を少量含む）
 - 2 黑色シルト質微砂（腐植を多量に含む）
 - 3 銀黃褐色砂（炭化物をうすく網状に呈する）
 - 4 黑色シルト質細砂（腐植を含む）
 - 5 黑色砂
 - 6 單緑灰色砂
 - 7 緑黒色シルト質細砂（腐植を少量含む）
- 1 黑褐色シルト質細砂と純黃褐色シルト質細砂をまだら状（炭化物少し含む）

第17図 遺構実測図 (14)



SK230

- 1 純黄褐色シルト質粗砂
- 2 黒褐色シルト質細砂（炭化物を少量含む）
- 3 黄褐色シルト質粗砂
- 4 褐色沙（黒色シルト質細砂が混じる）
- 5 黒色シルト質粗砂
- 6 喀綠灰色シルト質粗砂

SK234

- 1 黑褐色シルト質細砂
- 2 黑色シルト質粗砂（黄褐色シルト質細砂と炭化物を含む）
- 3 黑色炭化層（植物の腐植層を含む）
- 4 黑色シルト質細砂（1層よりもねばりがあって黒味が強い）
- 5 黑色シルト質細砂（炭化物を少量含む）
- 6 黄褐色シルト質細砂（炭化物を含む）
- 7 オリーブ褐色シルト質細砂

SK235

- 1 黒色シルト質細砂（炭化物と純黄褐色シルト質細砂が斑点状）
- 2 黒色シルト質細砂（炭化物と食物腐植を含む）
- 3 もみがらの腐植層
- 4 黑色シルト質細砂（植物の腐植、喀綠灰色を少量含む）
- 5 黑色シルト質細砂（食物の腐植）
- 6 黑色シルト質細砂（わらを多量に含む）

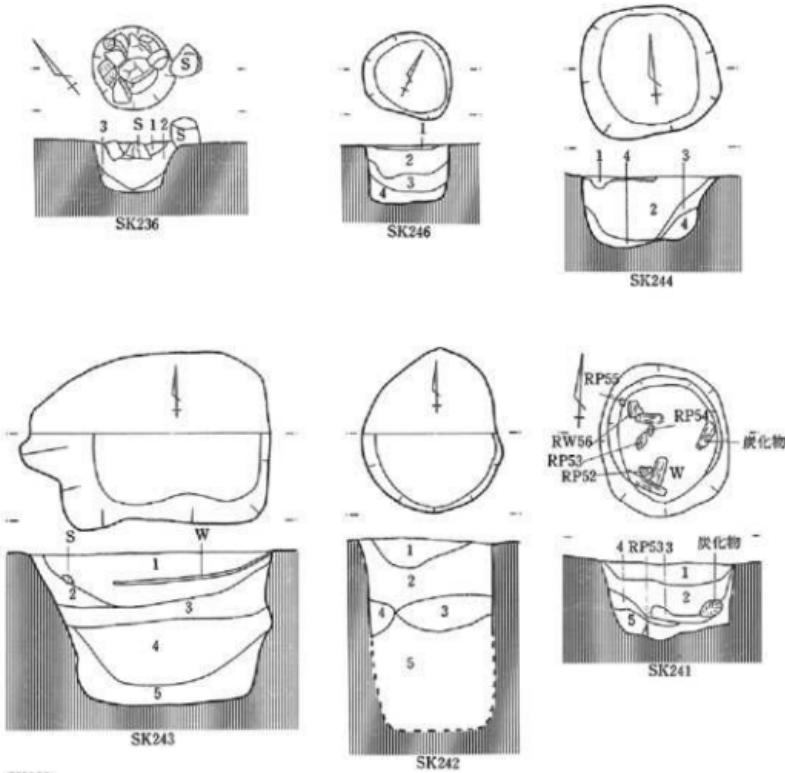
SK237

- 1 黑褐色シルト質細砂
- 2 黑色シルト質細砂（腐植層を含む）
- 3 オリーブ黑色シルト質細砂（腐植を含む）
- 4 綠黑色シルト質細砂（暗青灰を斑点状に含む）

SK238

- 1 黄褐色シルト質細砂（黑色シルト質細砂がまだら状に呈する）
- 2 黑色シルト質細砂（炭化物を含む）
- 3 純黃褐色シルト質砂
- 4 灰黃褐色シルト質細砂（黄褐色シルト質細砂が斑点状）
- 5 喀綠灰色砂

第18図 遺構実測図 (15)



SK236

- 1 黒色シルト質細砂
- 2 黒褐色と黒色シルト質細砂の擾乱状（黄褐色シルト質粗砂が混じる）
- 3 緑黒色シルト質細砂（暗緑灰色シルト質粗砂が斑点状に含まれる）

SK241

- 1 黒褐色シルト質細砂と黄褐色シルト質細砂がまだら状に呈する。
- 2 黒色植物の炭化層
- 3 黑褐色シルト質微砂
- 4 黄褐色シルト質細砂（炭化物が混じる）
- 5 暗緑灰色シルト質微砂（緑灰色シルト質粗砂をまだら状に含む）

SK242

- 1 黒色シルト質細砂（純い黄褐色シルト質粗砂の擾乱状に呈する。）
- 2 黒色シルト質細砂（炭化物を含む）
- 3 暗緑灰色シルト質細砂
- 4 緑灰色シルト質微砂
- 5 暗緑灰色シルト質粗砂

SK244

- 1 黄褐色シルト質細砂
- 2 銀褐色シルト質細砂と黒色シルト質細砂の擾乱状に呈する。
- 3 黒色炭化層
- 4 明青灰色シルト質細砂と黒色シルト質細砂

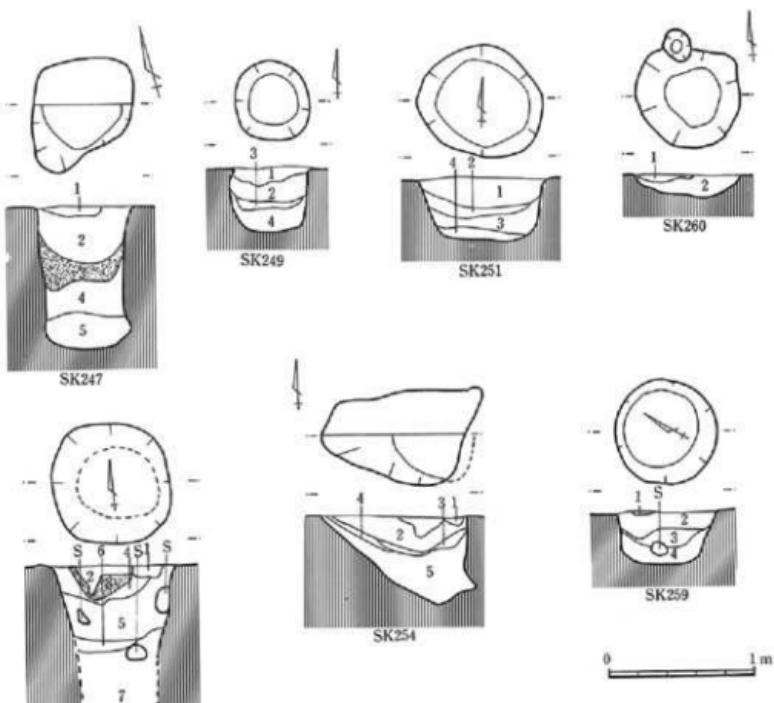
SK243

- 1 黄褐色シルト質細砂（中位に開拓の層を含む）
- 2 オリーブ黑色シルト質細砂（黄褐色がまだら状に入る）
- 3 黑色シルト質細砂（炭化鉄粒を含む）
- 4 黑色シルト質細砂
- 5 黄緑灰色シルト質細砂（緑灰色シルト質粗砂が混じる。）

SK245

- 1 黑褐色シルト質細砂
- 2 黑色シルト質細砂（炭化物を多量に含む）
- 3 綠褐色シルト質細砂
- 4 綠灰色シルト質細砂

第19図 遺構実測図 (16)



0 1 m

SK252

- 1 黒褐色シルト質細砂
- 2 黒色シルト質微砂と黄褐色がまだら状に呈する。
- 3 黒色炭化層
- 4 黑褐色シルト質細砂（1層より黒色が強い）
- 5 黒色シルト質細砂
- 6 植物の腐植物層
- 7 暗緑灰色シルト質微砂

SK254

- 1 黒褐色シルト質細砂
- 2 黑褐色シルト質細砂（腐植層を含む）
- 3 黑褐色シルト質細砂（2層よりも赤味が強い）
- 4 黑褐色シルト質細砂（2層よりも青味が強い）
- 5 青黑色シルト質細砂（暗青灰色の砂を含む）

SK259

- 1 暗褐色シルト質細砂
- 2 黑色シルト質細砂
- 3 純黄褐色シルト質細砂
- 4 黑色シルト質細砂（2層よりもねばりがある）

SK247

- 1 黄褐色シルト質細砂
- 2 黑褐色シルト質細砂
- 3 黑色炭化層
- 4 黑褐色シルト質細砂（上層に黄色い小ブロックを含む）
- 5 黑色炭化層（軟い層）

SK249

- 1 純黄褐色シルト質細砂（上部に黑褐色シルト質細砂の層がある）
- 2 灰色と純黄褐色と黒色シルト質細砂がまだら状に呈する。
- 3 純黄褐色シルト質細砂（黒色土を斑点状に含む）
- 4 黄褐色シルト質微砂

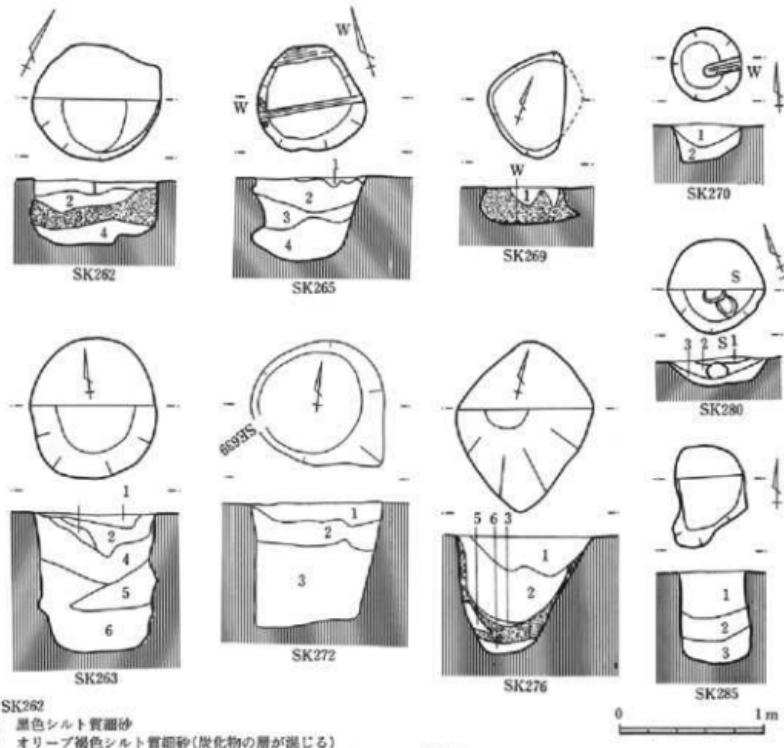
SK251

- 1 黑色シルト質細砂とオリーブ褐色シルト質細砂互層
- 2 黑色シルト質（有機物腐植を縞状に含む）
- 3 オリーブ褐色シルト質細砂（炭化物の層を含む）
- 4 暗緑灰色シルト質細砂

SK260

- 1 オリーブ黑色シルト質細砂
- 2 純黄褐色シルト質細砂（黒色シルト質細砂を縞状に含む）

第20図 遺構実測図 (17)



SK262

- 1 黒色シルト質細砂
- 2 オリーブ褐色シルト質細砂(炭化物の層が混じる)
- 3 黒色炭化層(黒褐色シルト質粗砂がまだら状に呈する)
- 4 緑黒色シルト質細砂(暗緑灰色粗砂が混じる)

SK263

- 1 灰オリーブ色シルト質細砂
- 2 暗灰黄色シルト質細砂
- 3 灰の層
- 4 黒色シルト質細砂(純黄褐色シルト質粗砂が混じる)
- 5 褐色の層
- 6 緑黒シルト質細砂

SK265

- 1 黄灰色シルト質細砂
- 2 黑褐色シルト質細砂
- 3 緑黒色シルト質細砂(4層よりも厚い)
- 4 緑黒色シルト質細砂(3層よりも粒子が大きい)

SK266

- 1 暗灰黄色シルト質細砂
- 2 黑色炭化層(やわらかい)

SK267

- 1 純黄褐色シルト質粗砂(黑色シルト質粗砂が縞状に呈する)
- 2 棕褐色シルト質粗砂(1層よりも粒子が大きい黑色土が縞状に呈する)

SK272

- 1 黄褐色シルト質細砂(黑色シルト質細砂が攪乱状に入る)
- 2 純黃褐色砂(黑色シルト質細砂が攪乱状に入る)
- 3 緑灰色シルト質粗砂(黑色シルト質細砂が混じる)

SK276

- 1 黑褐色シルト質細砂(純黃褐色シルト質細砂が混じる)
- 2 黑褐色シルト質細砂(灰の層が入る)
- 3 炭化の層
- 4 黑色炭化層
- 5 緑灰色シルト質細砂
- 6 暗綠灰色シルト質細砂

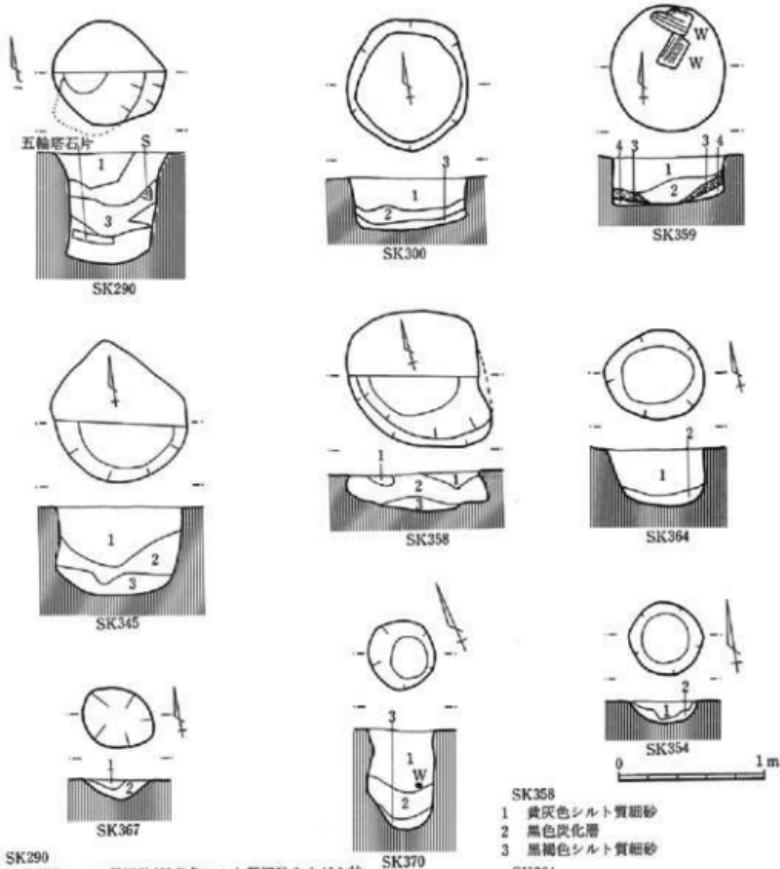
SK280

- 1 純黃褐色シルト質細砂
- 2 黑褐色シルト質細砂(黑色土の層がうすく入る)
- 3 黄褐色シルト質細砂(黑色土が斑点状に入る)

SK285

- 1 黑褐色シルト質細砂と純黃褐色シルト質細砂
(炭化物を少量含む)
- 2 オリーブ黑色シルト質細砂と黄褐色シルト質細砂
まだら状に呈する。
- 3 緑黑色シルト質細砂(炭化物の層を含む)

第21図 遺構実測図(18)



SK290

1 黄灰色シルト質細砂(純黄色シルト質細砂をまだら状に含む)

2 黑褐色シルト質細砂

3 黑色シルト質細砂(多量の腐植を含む)

4 緑灰色シルト質細砂

5 緑灰色シルト質細砂(緑灰色シルト質細砂が斑点状)

SK300

1 黑褐色シルト質細砂と純黃褐色シルト質細砂の続状に呈する。

2 黑褐色シルト質細砂(1層よりも黄味が強い)

3 暗オーリープ褐色シルト質細砂(炭化物の層がうすく入る)

SK345

1 黑褐色シルト質細砂(純黃褐色シルト質細砂の擾乱状)

2 黑色シルト質細砂(オーリープ黒色がまだら状に混じる)

3 青黑色シルト質細砂

EP367

1 純黃褐色シルト質細砂(黑色シルト質細砂が斑点状に呈する)

2 純黃褐色シルト質細砂

EP354

1 純黃褐色シルト質細砂と暗灰黄色シルト質細砂がまだら状に呈する(墨が少し混じる)

2 純黃褐色シルト質細砂(黑色シルト質細砂が少し混じる)

SK359

1 黑色シルト質細砂(W側に純黃褐色シルト質細砂ブロックを含む)

2 黄褐色砂(黑色シルト質微砂を構成に含む)

3 黑色炭化層(灰)

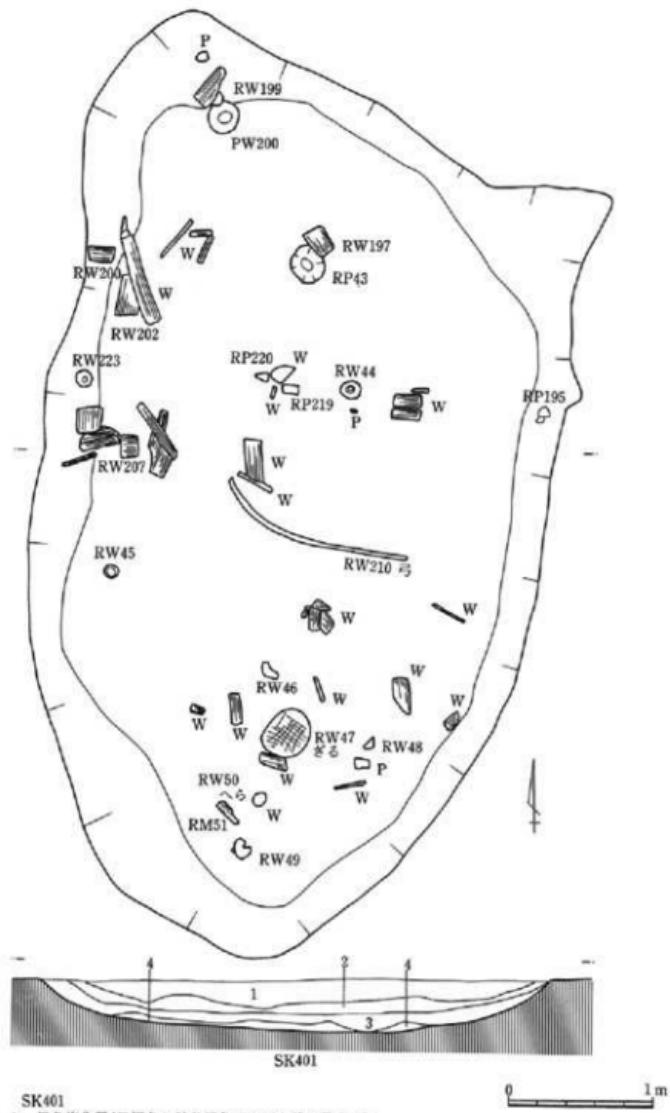
4 純黃褐色シルト質細砂(黑色炭化物がうすく混じる)

SK370

1 黑褐色シルト質細砂

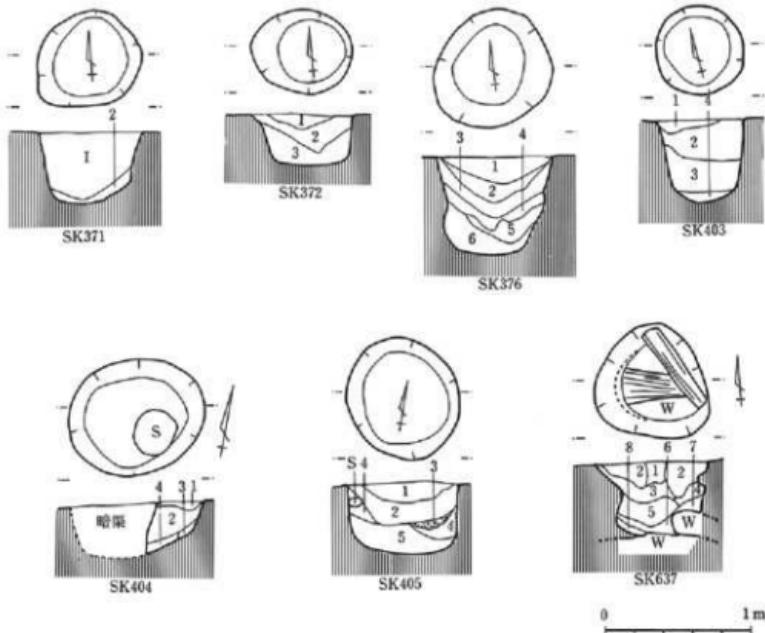
2 黑色シルト質細砂(1層よりも粒子が細かい。腐植を多量に含む)

3 緑黑色シルト質細砂(暗綠灰色シルト質細砂と腐植を含む)



- 1 黒色炭化層(黒褐色と純黄褐色がまだら状に呈する)
- 2 黒色炭化層
- 3 棕色シルト層細砂(黒色と純黄褐色が少量混じる)
- 4 純黄褐色(褐色シルト質細砂が混じる)

第23図 遺構実測図(20)



SK371

- 1 黒色シルト質細砂(純黄褐色)を斑点状に含む
- 2 1層に純黄褐色土、明黄褐色が覆乱状に呈する。

SK372

- 1 黒色シルト質細砂(黄褐色シルト質細砂がまだら状に入る)
- 2 黒色シルト質細砂と炭化物の層が混じる。
- 3 黄褐色シルト質細砂(黒褐色シルト質細砂がまだら状に入る)

SK376

- 1 黑褐色シルト質細砂(炭化物を含む)
- 2 黑褐色シルト質細砂
- 3 黑色シルト質細砂(多量の炭化物と腐植を含む)
- 4 黑色シルト質細砂(純黄褐色土を含む)
- 5 黑色シルト質細砂(腐植と純黄褐色シルト質粗砂を含む)
- 6 黑色シルト質微砂(暗緑灰色シルト質細砂と腐植を含む)

SK403

- 1 黑暗灰黃色シルト質細砂
- 2 黑褐色シルト質細砂
- 3 黑色シルト質細砂
- 4 黑色シルト質細砂(3層よりも粒質細い、植物腐植を含む)

SK404

- 1 黄褐色シルト質細砂
- 2 黄褐色シルト質粗砂
- 3 オリーブ褐色シルト質粗砂
- 4 黑褐色シルト質細砂

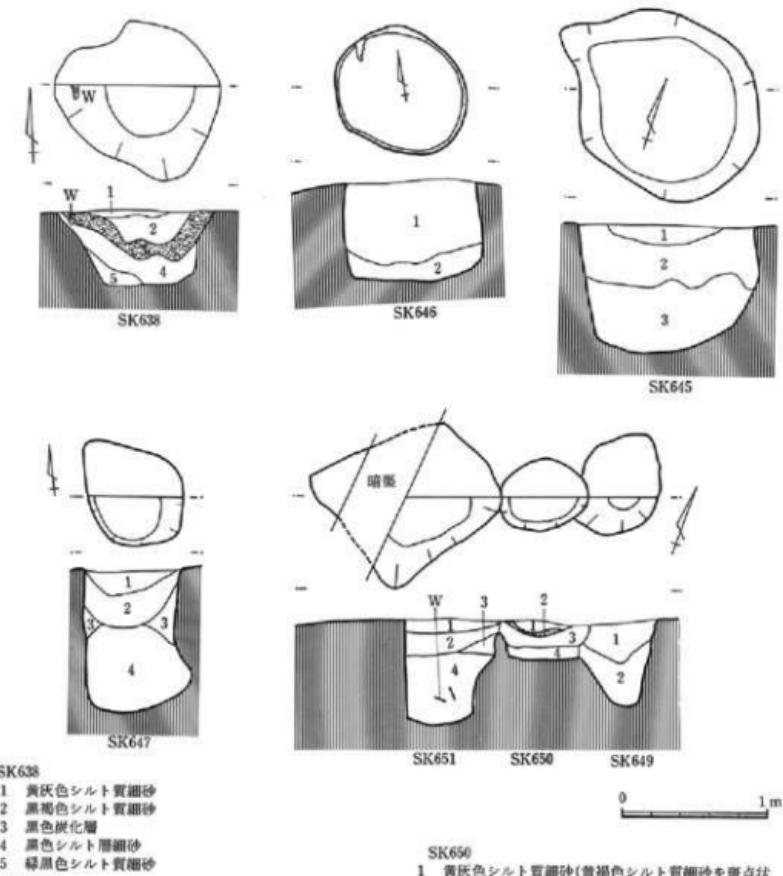
SK405

- 1 黑褐色シルト質細砂と純黄褐色シルト質粗砂がまだら状に呈する。
- 2 黑色シルト質細砂と腐植層が縞状に呈する。
- 3 黑色炭化層(灰)
- 4 純黄褐色シルト質粗砂と黑色シルト質細砂が覆乱状に呈する。
- 5 黑色シルト質細砂(暗緑灰色シルト質細砂を含む)

SK637

- 1 黑褐色シルト質細砂(細かい炭化物を含む)
- 2 暗灰黄色シルト質細砂
- 3 植物の腐植の層
- 4 暗灰黄色シルト質細砂(2層よりも明るい黒色土が縞状に入る)
- 5 黑色シルト質細砂と綠灰色シルト質細砂
- 6 暗緑灰色砂
- 7 黄褐色砂
- 8 緑黑色シルト質細砂

第24図 遺構実測図(21)



SK638
1 黄灰色シルト質細砂
2 黒褐色シルト質細砂
3 黒色炭化層
4 黒色シルト層細砂
5 緑黒色シルト質細砂

SK646
1 黒褐色シルト質粗砂
2 緑黒色シルト質細砂

SK645
1 黒褐色シルト質細砂(黒色シルト質粗砂をまだら状に含む)
2 オリーブ黑色砂と褐色砂(黒色シルト質を斑点状に含む)
3 暗緑灰シルト質細砂(黒色シルト質細砂をまだら状に含む)

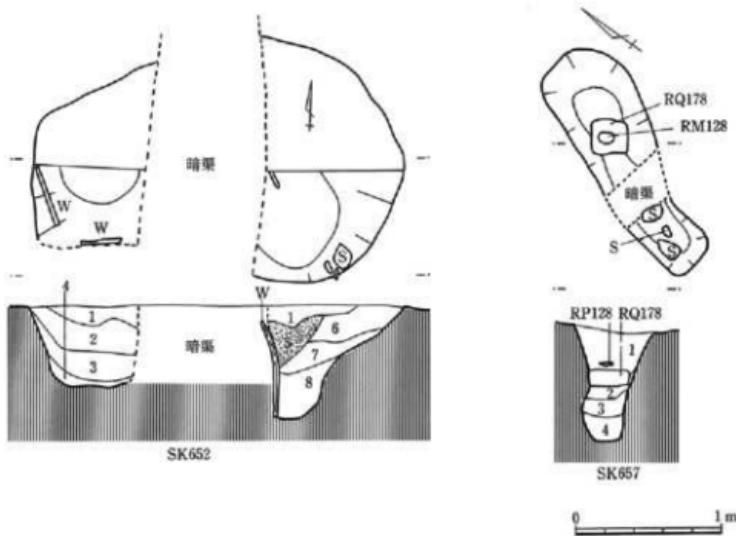
SK651
1 黑褐色シルト質細砂
2 黑褐色シルト質細砂(1層よりも粒子が細かい)
3 黑色のシルト質細砂(黄褐色シルト質細砂のブロックを含む)
4 緑黒色シルト質細砂(緑灰色の砂と粘土のブロックが入る)

SK650
1 黄灰色シルト質細砂(黄褐色シルト質細砂を斑点状に含む)
2 黑色炭化層
3 1層と同じ
4 灰色シルト質細砂(黄褐色を含む)

SK647
1 黑褐色シルト質細砂(純黄褐色が混じる)
2 黑色シルト質細砂(炭火物と腐植層を含む)
3 黑色シルト質細砂
4 黑色シルト質細砂(上層に黄色くかたいツヅツを含む)

SK649
1 黑褐色シルト質細砂(SK651の1層より明るい)
2 黑褐色シルト質細砂(1層よりも赤味が強い純黄褐色シルト質細砂を斑点状に含む)

第25図 遺構実測図(22)



SK657

- 1 黒褐色シルト質細砂
- 2 暗緑灰色シルト質微砂
- 3 緑黒色シルト質微砂(多量の腐植層を含む)
- 4 暗緑灰色シルト質微砂(2層よりも明るい腐植を含む)

SK652

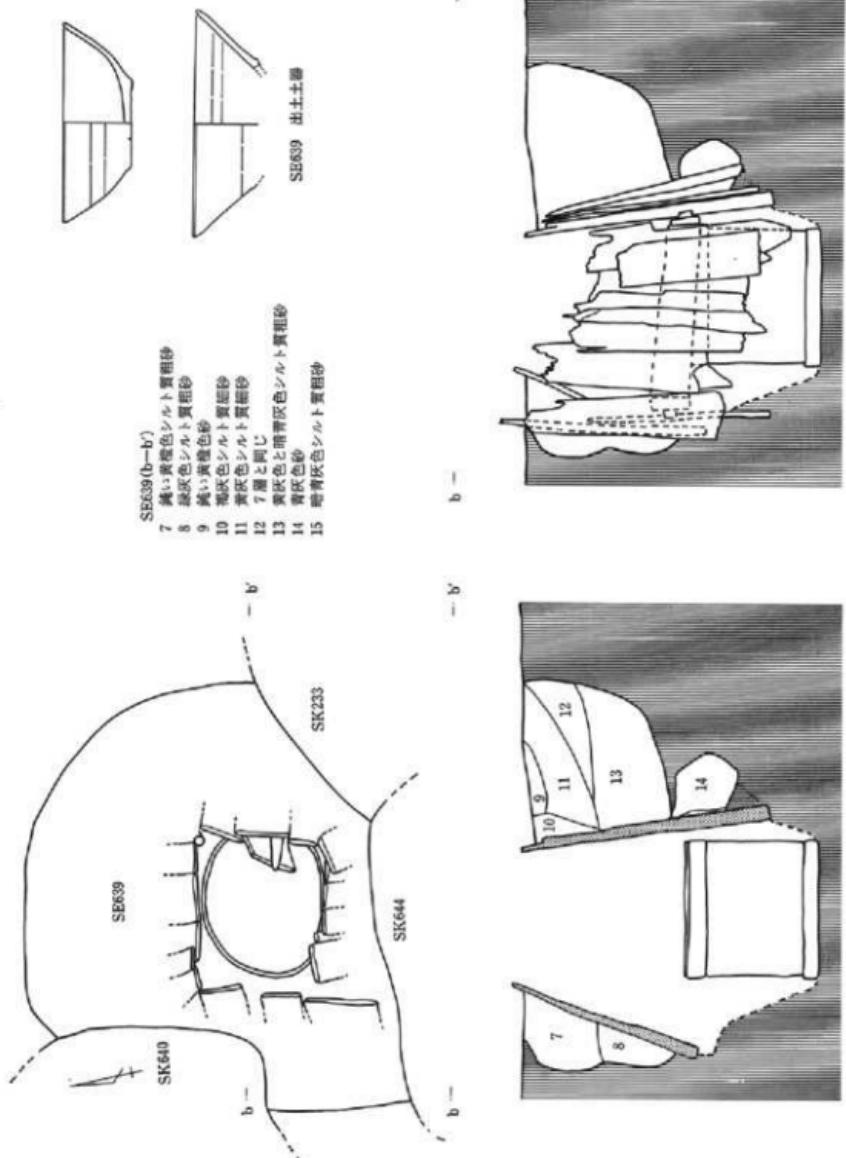
- 1 黄灰色シルト質細砂
- 2 黒色シルト質細砂(純黄褐色シルト質粗砂が混じる)
- 3 黒色シルト質粗砂(腐植層を含む)
- 4 オリーブ黒色と純黄褐色シルト質細砂がまだら状に呈する。
- 5 緑黒色シルト質細砂

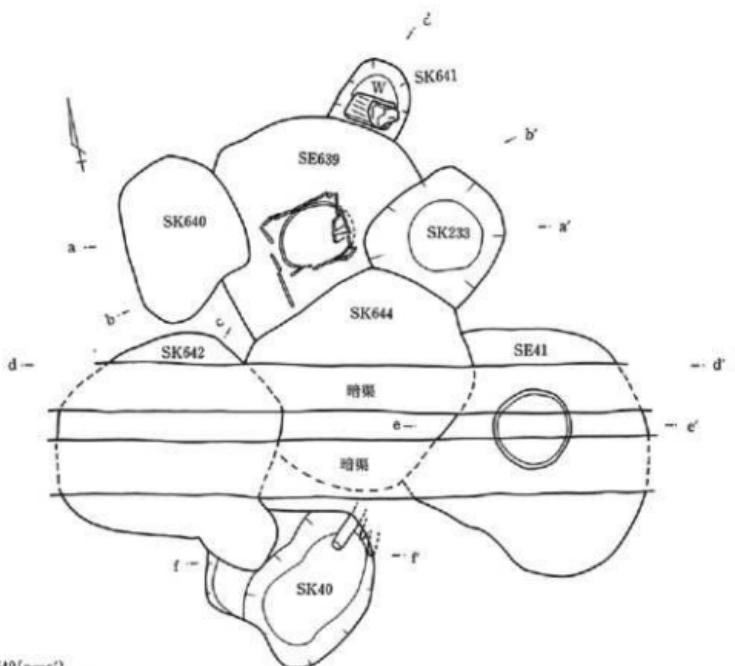
SK655

- 1 黄灰色シルト質細砂
- 2 黒褐色シルト質細砂(腐植層を含む)
- 3 黒褐色シルト質細砂(2層よりも色がうすい)
- 4 暗緑灰色シルト質細砂
- 5 黒色炭化層
- 6 鈍黄褐色シルト質細砂(黑色シルト質細砂が櫻花状に入る)
- 7 青灰色シルト質粗砂(黑色シルト質細砂が塊状に入れる)
- 8 暗緑灰色シルト質粗砂

第26図 遺構実測図(23)

第27図 遺構実測図(24)





SK640(a-a')

- 1 黒褐色シルト質細砂
- 2 植物腐殖層
- 3 黄褐色沙(黒褐色土がシマ状に入る)
- 4 褐灰色シルト質細砂
- 5 黒色炭化層
- 6 褐灰色4層より明るくシルト質細砂
- 7 黄褐色沙(地山がくずれて入り込む)
- 8 喀背景色シルト質細砂(青灰色砂ブロックが入る)

SE639(a-a')

- 9 黄褐色沙
- 10 鮎黄色シルト質粗砂(灰を含む)
- 11 黄灰色シルト質細砂
- 12 黄褐色シルト質細砂(下層はグライ化して暗青色を示す)

SK233(a-a')

- 13 黑褐色シルト質細砂
- 14 黑褐色シルト質細砂(径2~3mmの小石を含む)
- 15 明褐色の砂(黒色シルト質細砂を縞状に含む)
- 16 緑黒色シルト質細砂
- 17 明黄褐色砂

SK640(b-b')

- 1 明黄褐色砂
- 2 明黄褐色(1層よりも黄色が強いシルト質粗砂)
- 3 純い黄褐色シルト質粗砂(2層よりも粒子が細かい)
- 4 明黄褐色砂
- 5 黑褐色シルト質細砂
- 6 暗オリーブ灰色シルト質粗砂

SK639(c-c')

- 1 暗灰黃色シルト質粗砂
- 2 黄褐色シルト質粗砂
- 3 暗灰黃色シルト質粗砂(1層よりも暗い)
- 4 暗灰黃色シルト質粗砂(1層よりも明るい)
- 5 喀背景色シルト質細砂

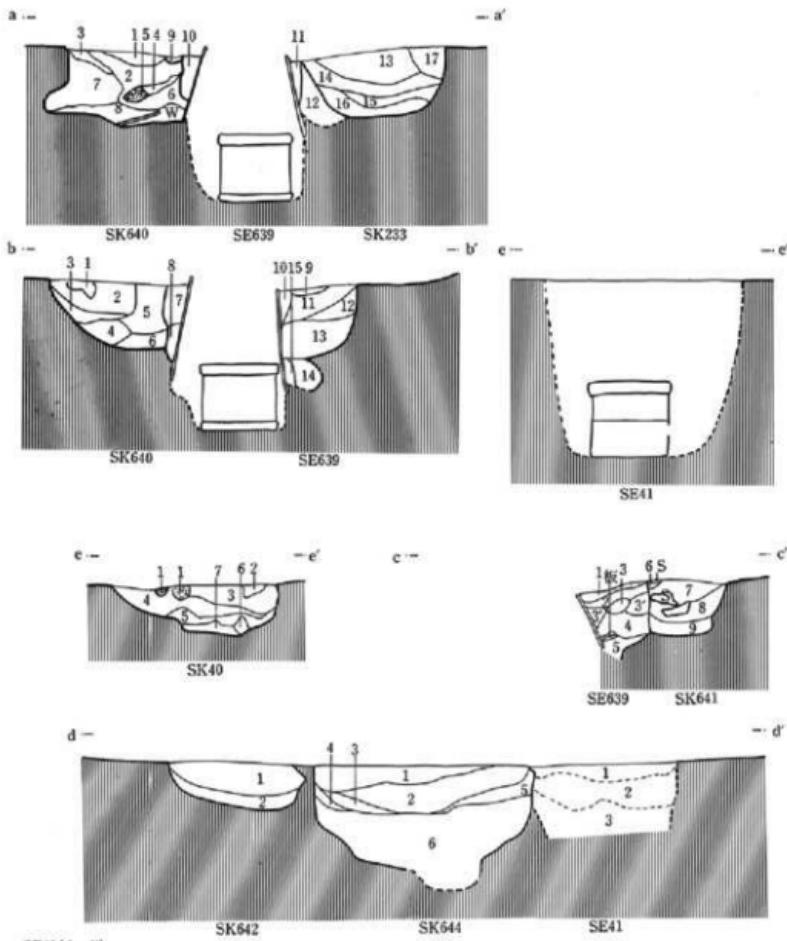
SK641(c-c')

- 6 オリーブ褐色砂
- 7 灰~黄褐色シルト質粗砂(炭化物を少量含む)
- 8 黑色炭化層
- 9 黑色オリーブ褐色シルト粗砂

SK40(f-f')

- 1 黑色炭火層
- 2 黑褐色シルト質細砂
- 3 黑色シルト質細砂(2層よりも風味が強い。炭化層を含む)
- 4 黑色シルト質細砂(炭化物を斑点状に含む)
- 5 褐色シルト質粗砂
- 6 灰色シルト質細砂
- 7 暗綠灰色シルト質粗砂

第28図 遺構実測図(25)

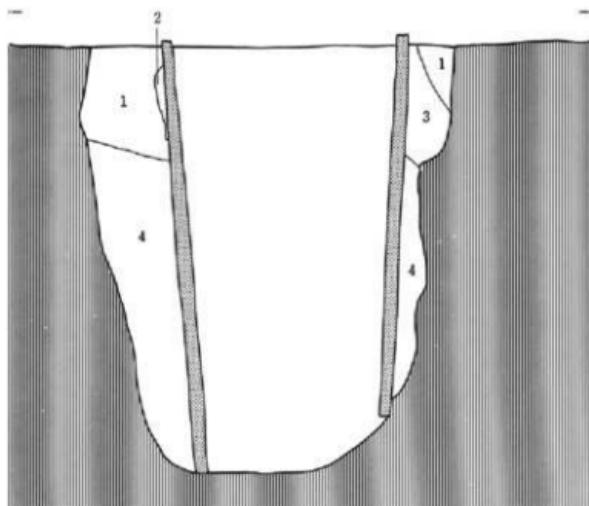


SE41(d-d')

- 1 黒色シルト質細砂(オリーブ褐色砂をまだらに含む)
 - 2 黄褐色シルト質粗砂と赤褐色砂のまだら状に呈する。
 - 3 黒色シルト質微砂
- SK642(d-d')
- 1 黄褐色シルト質細砂(炭化物を少量含む)
 - 2 純黄褐色砂と灰オリーブ色砂がまだら状(黑色シルト質細砂を構状に呈する)
- SK644(d-d')
- 1 純黄褐色砂と純黄色シルト質細砂と黒色シルト質細砂のまだら状に呈する。
 - 2 植物腐植層
 - 3 篦色砂
 - 4 黑色シルト質細砂
 - 5 黑色シルト質細砂(4層よりも青っぽい)
 - 6 緑黒色シルト質細砂(暗青灰褐色シルト質細砂を斑点状に含む)



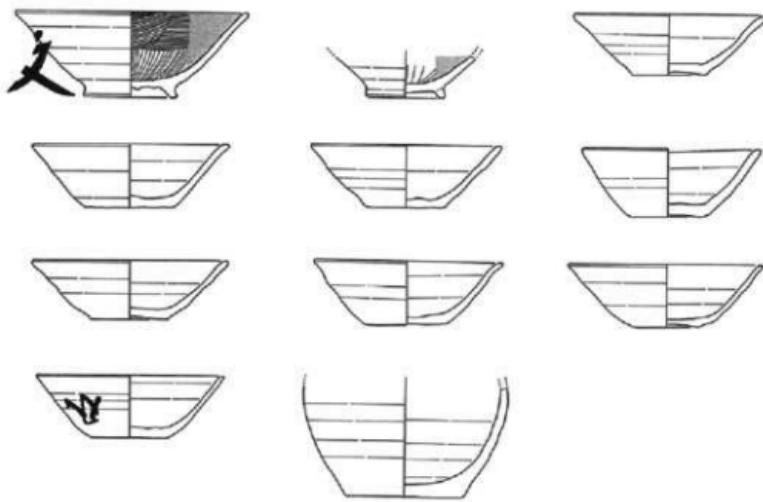
第29図 遺構実測図(26)



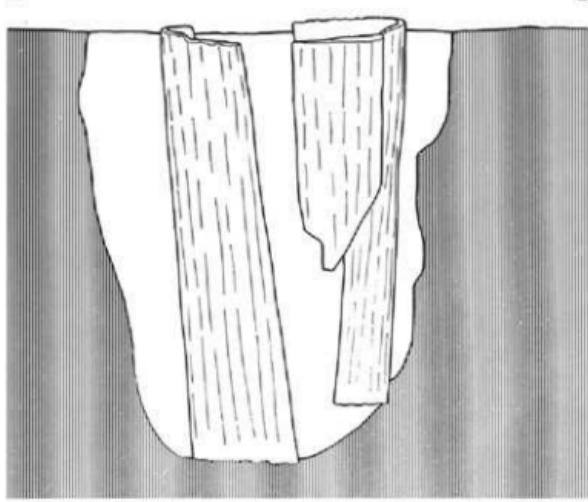
- 1 黒褐色シルト質細砂
- 2 黒色炭化層(灰)
- 3 暗灰黄色シルト質細砂(部分的に明赤褐色シルト質粗砂がまじる)
- 4 緑灰色シルト質細砂

0 50cm

第30図 造構実測図(27)



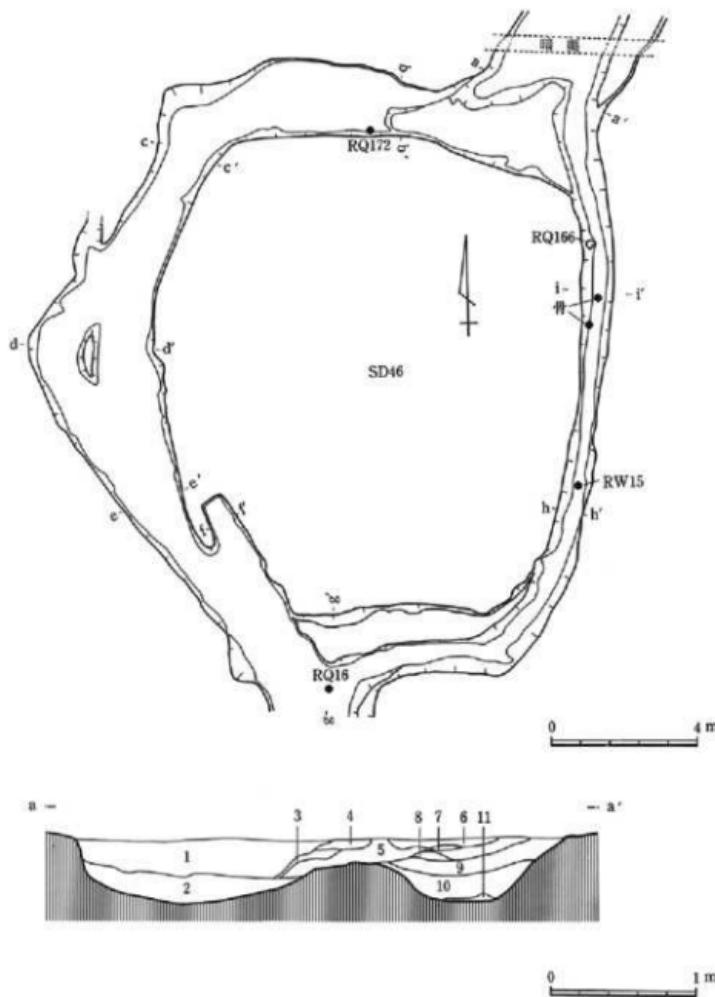
SE564出土土器



SE564調査図

0 50cm

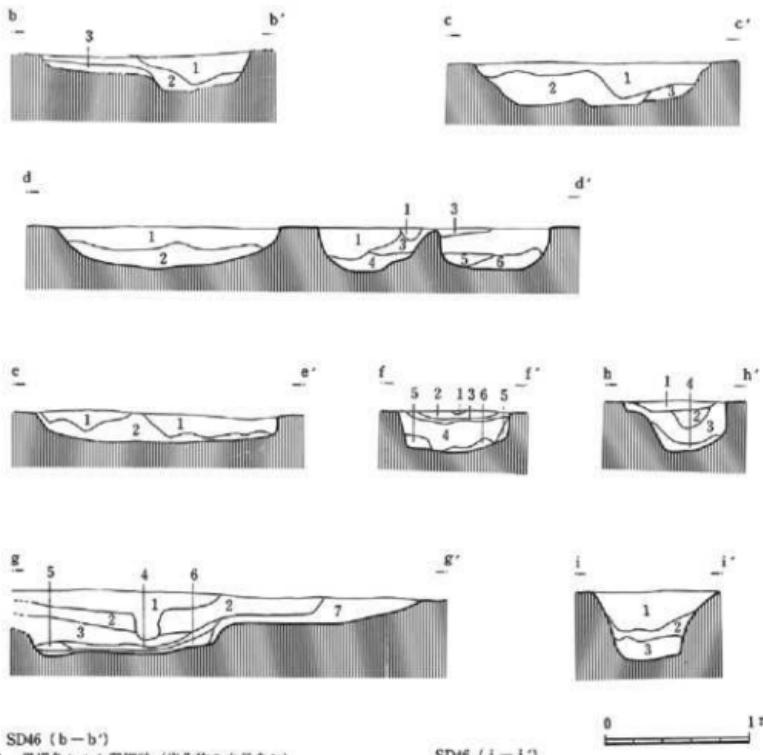
第31図 遺構実測図 (28)



SD46 (a-a')

- | | |
|----------------------------|---------------------------------|
| 1 褐色シルト質細砂 | 7 黄褐色シルト質細砂 |
| 2 暗オリーブ褐色シルト質細砂 | 8 暗褐色シルト質細砂 (明赤褐色シルト質を砂まだら状に含む) |
| 3 純黄褐色シルト質細砂 | 9 暗褐色シルト質微砂 |
| 4 褐色シルト質細砂 (純黄褐色シルト質細砂混じり) | 10 黑褐色シルト質微砂 |
| 5 褐色シルト質細砂 | 11 黑褐色シルト質微砂 (10層よりも砂質細い) |
| 6 黑褐色シルト質細砂 | |

第32図 透構実測図 (29)



SD46 (b-b')

- 1 黒褐色シルト質細砂 (炭化物を少量含む)
- 2 暗褐色シルト質細砂
- 3 黒褐色シルト質細砂

SD46 (c-c')

- 1 黒褐色シルト質細砂
- 2 黒褐色シルト質細砂と暗灰色、黄色の擾乱状に呈する
- 3 純黄色シルト質粗砂と黒褐色の擾乱状に呈する

SD46 (d-d')

- 1 黒褐色シルト質細砂
- 2 黄褐色シルト質細砂と黒褐色シルト質細砂の擾乱状に呈する
- 3 暗灰色黄色シルト質細砂 (1層よりも粒子が大きい)
- 4 黒褐色シルト質細砂 (1層よりも青っぽい)
- 5 黑褐色シルト質細砂 (炭化物と腐植を少量含む)
- 6 暗綠灰色シルト質細砂 (黒褐色が擾乱状に呈する)

SD46 (e-e')

- 1 黒褐色シルト質細砂
- 2 褐色シルト質細砂 (明褐色が斑点状に混じる)

SD46 (h-h')

- 1 灰色シルト質細砂 (炭化物を少量含む)
- 2 暗褐色シルト質細砂
- 3 暗灰褐色シルト質細砂 (黄褐色シルト質細砂が斑点状)
- 4 黄灰色シルト質細砂 (黒褐色が斑点状に混じる)

SD46 (i-i')

- 1 黄灰色シルト質細砂
- 2 暗灰褐色シルト質細砂
- 3 暗褐色シルト質細砂 (青灰色シルト質細砂が斑点状に混じる)

SD46 (f-f')

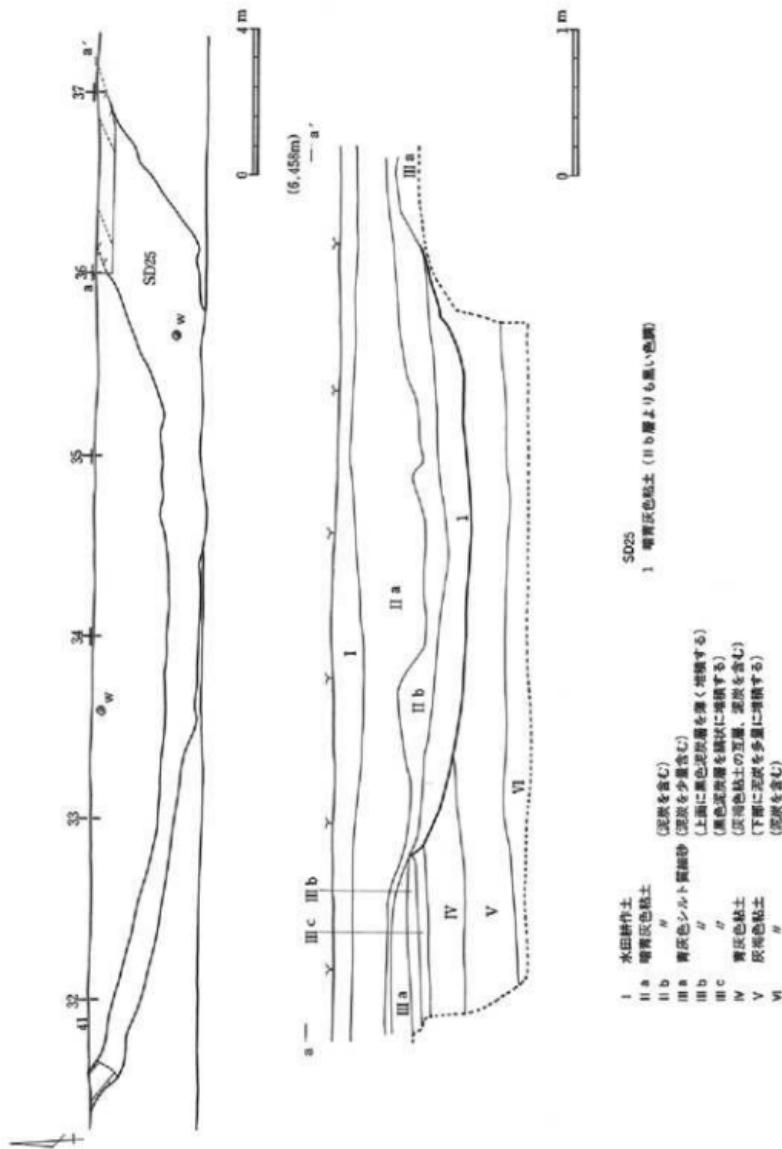
- 1 黒褐色シルト質細砂
- 2 黄褐色シルト質細砂
- 3 褐色シルト質細砂
- 4 黑褐色シルト質細砂
- 5 純黄褐色シルト質細砂
- 6 黄褐色シルト質細砂

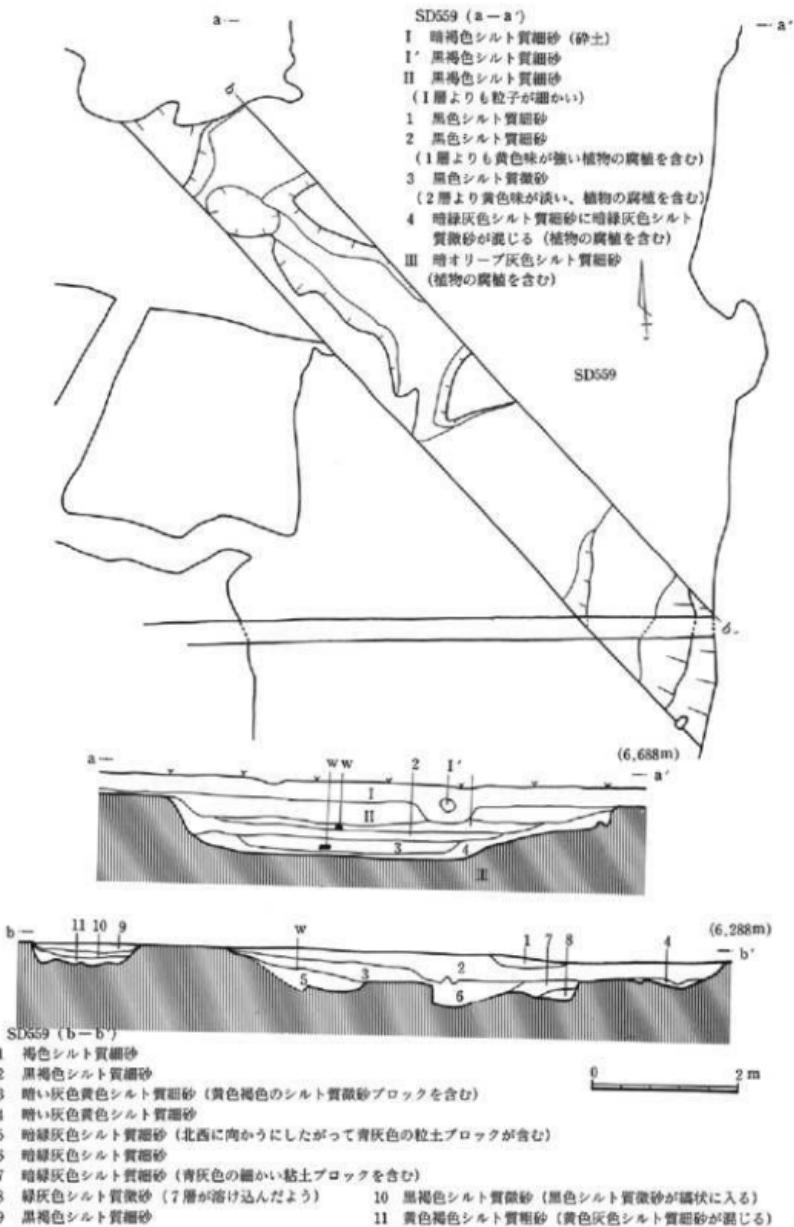
SD46 (g-g')

- 1 黑褐色シルト質細砂
- 2 オリーブ黑色シルト質細砂
- 3 黑褐色シルト質細砂 (1層よりも黄味強・純黄褐色シルト質細砂がまだら状に呈する。)
- 4 腐植の層
- 5 黑褐色シルト質細砂 (炭化物の層を含む)
- 6 暗オリーブ灰色シルト質細砂 (緑色シルト質細砂が混じる)
- 7 暗褐色シルト質細砂 (純黃褐色シルト質細砂が混じる)

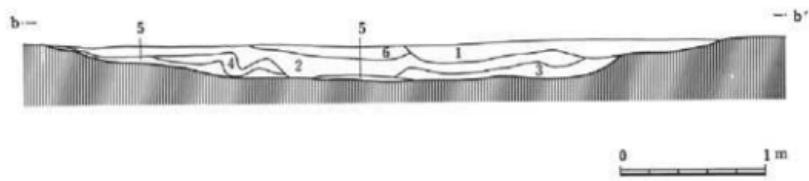
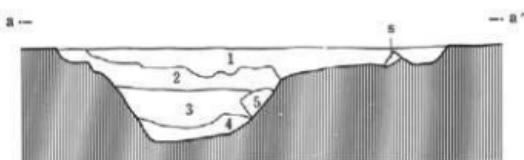
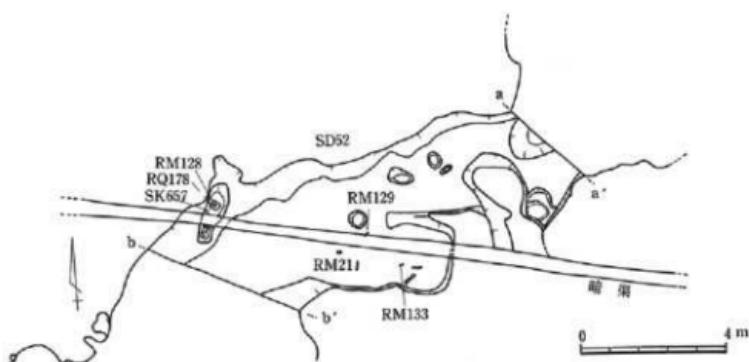
第33図 遺構実測図 (30)

第34図 造林実測図 (31)





第35図 遺構実測図 (32)



第36図 遺構実測図 (33)

表-1 遺構計測表

番号	地区名	平面形	規模 cm		壁掘込状態	底面状態	備考(出土遺物・分類)
			長径×短径	深さ			
SK 1	42-60	不整形	215×150	10	緩やか	凹凸	A
SK 4	42-60	不整橢円形	149×95	21	緩やか	平坦	A
SK 8	41-61	不整橢円形	95×38	10	緩やか	丸底	A
SK 11	39-60	不整橢円形	100×64	37	緩やか	すり鉢状	A
EP 14	39-60	不整橢円形	48×32	21	急傾斜東側段あり	丸底	
SK 15	38-60	不整方形	111×80	21	緩やか	凹凸	A
EP 16	38-60	不整円形	72×58	27	急傾斜	平坦	
EP 17	38-60	不整橢円形	45×29	15	急傾斜	傾斜	
EP 18	38-60	不整円形	57×50	22	緩やか	傾斜	
EP 22	42-60	不整長方形	48×25	25	垂直上部緩やか	丸底	
EP 23	41-60	円形	38×32	26	ほぼ垂直東側上部緩やか	丸底	
SD 25	31~37-41		425×不明	41	緩やか	凹凸	
SK 30	8-9-15-17	橢円形	650×323	68	緩やか	ほぼ平坦	RW62、63、64、67、78、79、RQ38B29、 31、RQ96 D
SK 34	11-17	不整円形	91×70	17	緩やか	凹凸	A
EP 35	11-17	円形	55×47	24	急傾斜	凹凸	
EP 36	11-17	円形	42×35	27	急傾斜	すり鉢状	
SK 37	12-16-17	不整円形	172×122	不明	ほぼ垂直	不明	第4図5 B
SK 43	14-17	円形	272×235	120	急傾斜	丸底	B
SK 54	31-17	円形	145×122	25	急傾斜	凹凸	A
SK 60	24-17	橢円形	167×115	69	急傾斜	傾斜	B
SK 62	24-16	不整円形	65×50	37	ほぼ垂直	丸底	B
SK 63	24-16	不整橢円形	90×75	69	急傾斜	丸底	骨片
SK 65	25-16	長方形	87×65	56	急傾斜東側段あり	すり鉢状	B
SK 67	26-16	不整円形	62×55	40	ほぼ垂直西側段あり	丸底	RW117 B
SK 69	27-17	不整円形	90×78	不明	垂直	不明	B
SK 70	27-16	不整円形	75×60	53	袋状	すり鉢状	C
SK 71	27-16	不整橢円形	115×102	136	垂直	丸底	B
SK 72	26-27-15-16	長方形	408×185	34	緩やか	凹凸	RW19、第42図17 D
SD 75	27-28-14	長方形	837×302	56	垂直	ほぼ平坦	
SK 76	29-15	長方形	540×300	35	緩やか	ほぼ平坦	RW117、第41図2 D
SK 77	27-28-16	不整円形	140×98	78	南北側傾状	傾斜	C
SK 80	28-17	不整円形	68×58	31	垂直	平坦	B
EP 84	27-17	不整円形	70×55	30	緩やか	北側凹凸 南側平坦	
SK 102	10-7	半円	104×不明	26	垂直	ほぼ平坦	B
EP 112	10-7	円形	18×15	15	急傾斜	すり鉢状	
EP 114	11-7	円形	46×42	18	ほぼ垂直	中央凹凸	
SK 115	10-11-7	不整橢円形	130×82	85	ほぼ垂直東側段あり	傾斜	木簡第43図16、17 B
SK 119	11-7-8	円形	82×80	45	ほぼ垂直	凹凸	B

番号	地区名	平画形	規模 cm		壁面込状態	底面状態	備考(出土物・分類)
			長径×短径	深さ			
EP 122	10-7	円形	35×32	33	ほぼ垂直	凹凸	
EP 125	10-7	円形	23×20	6	緩やか	丸底	
SK 128	10-8	円形	59×55	15	ほぼ垂直	凹凸	A
SK 132	10-8	橢円形	100×83	80	東側ほぼ垂直西側圓状	傾斜	C
SK 133	10-11-8	不整円形	不明×42	35	垂直	傾斜	B
SK 134	10-8	円形	70×59	41	急傾斜	ほぼ平坦	B
SK 138	11-9	円形	45×43	34	急傾斜	傾斜	B
SK 140	10-9	円形	52×47	62	垂直	平坦	B
SK 144	10-10	不整橢円形	65×50	41	ほぼ垂直	丸底	B
SK 146	10-10	円形	64×57	29	急傾斜	丸底	B
SK 150	11-10	不整橢円形	108×42	40	ほぼ垂直東側上部緩やか	ほぼ平坦	B
SK 152	11-10	橢円形	86×69	35	東側垂直西側緩やか	凹凸	B
SK 156	10-10-11	円形	60×55	37	急傾斜	傾斜	B
SK 158	10-11	円形	68×62	38	垂直	ほぼ平坦	B
SK 161	10-11	円形	60×55	44	ほぼ垂直	丸底	B
SK 163	10-11	円形	62×60	64	ほぼ垂直	平坦	B
SK 164	11-11	円形	72×66	33	東側段あり西側急傾斜	丸底	A
SK 165	11-11	不整円形	68×62	45	急傾斜	凹凸	B
SK 166	11-11	橢円形	55×45	10	緩やか	平坦	A
SK 167	11-12-11	不整形	468×175	46	緩やか	凹凸	D
SK 171	11-9	不整橢円形	78×53	85	垂直	すり鉢状	RW125、第4回12
SK 175	12-11	不整円形	140×132	130	ほぼ垂直	平坦	RP127、第41回3
SK 176	12-12	円形	82×71	87	急傾斜	丸底	第42回18
EP 177	12-8	不整円形	56×46	34	急傾斜東側段あり	平坦	
SK 178	11-8	円形	48×45	63	東側急傾斜西側垂直	ほぼ平坦	B
SK 189	15-10	不整円形	76×66	33	急傾斜	平坦	B
SK 190	15-10	不整円形	73×63	48	急傾斜	平坦	B
SK 191	14-15-10	不整円形	70×65	48	東側段あり西側垂直	丸底	B
SK 192	14-11	不整円形	60×55	72	垂直	平坦	B
SK 194	14-12	円形	58×56	76	急傾斜	平坦	B
SK 195	15-11	橢円形	84×65	77	垂直	傾斜	骨片
SK 196	15-12	円形	70×65	59	ほぼ垂直	丸底	RW36
SK 197	15-12	不整円形	67×62	43	急傾斜	ほぼ平坦	RQ112, 113
SK 201	14-13	不整円形	55×54	63	急傾斜	ほぼ平坦	B
SK 202	14-13	不整橢円形	93×62	64	急傾斜	丸底	B
SK 203	13-14-13	不整橢円形	100×70	98	ほぼ垂直上部段あり	平坦	第38回20
SK 204	13-14-13	橢円形	98×76	131	垂直西側上部段あり	丸底	B
SK 206	14-9-10	不整円形	360×260	27	急傾斜	中央凹凸	D

番号	地区名	平画形	瓶 横 cm		壁 接込 状態	底面状態	備考(出土遺物・分類)
			長径×短径	深さ			
SK 207	14・15-13	楕円形	65×53	57	ほぼ垂直	ほぼ平坦	B
SK 211	15-14	不整円形	不明×103	80	ほぼ垂直側面上部陥あり	傾斜	RW39 B
SK 212	15-14	不整椭円形	82×60	不明	垂直	不明	B
SK 215	15-15	円形	43×35	27	急傾斜	平坦	B
SK 216	15-15	楕円	59×45	46	急傾斜	ほぼ平坦	B
SK 218	15-15	不整円形	66×57	21	急傾斜	傾斜	A
SK 219	14-15・16	円形	47×45	26	急傾斜	凹凸	B
SK 220	14-15	円形	57×53	82	急傾斜	すり鉢状	B
SK 222	13-14-16	不整椭円形	170×130	不明	垂直西側上部陥あり	ほぼ平坦	RP80 B
SK 223	13-15	円形	68×65	49	ほぼ垂直	平坦	B
SK 224	13-15	円形	169×133	72	急傾斜	傾斜	第38回24 B
SK 225	13-15	不整円形	95×68	37	東側垂直西側側面状	凹凸	RW124 C
SK 226	13-15	円形	74×70	62	急傾斜	丸底	B
SK 227	14-15	不整円形	52×46	52	ほぼ垂直	丸底	RP42、第41回1 B
SK 228	14-15	円形	61×55	67	袋状	ほぼ平坦	C
SK 230	13-15	不整円形	155×122	53	袋状	凹凸	C
SK 232	13-15	不整円形	77×69	16	緩やか	傾斜	A
SK 234	13-17	円形	135×119	53	急傾斜	ほぼ平坦	B
SK 235	13-14-17	不整椭円形	115×84	103	東側急傾斜西側垂直	傾斜	B
SK 236	13-14-17	円形	60×54	33	急傾斜	平坦	B
SK 237	12-18	不整椭円形	113×68	80	急傾斜	丸底	B
SK 238	14-18	不整長方形	221×53	62	急傾斜	凹凸	A
SK 241	12-18・19	不整円形	105×87	52	急傾斜	凹凸	RP52,55 B
SK 242	12-19	不整円形	113×92	不明	垂直	不明	B
SK 243	12-19	不整方形	172×113	104	急傾斜	平坦	骨片
SK 244	11-18	不整円形	94×90	47	急傾斜	凹凸	B
SK 246	11-18	不整円形	65×57	39	ほぼ垂直	ほぼ平坦	B
SK 247	11-18	不整円形	91×64	98	ほぼ垂直東側下部陥状	ほぼ平坦	B
SK 249	11-18	不整円形	57×50	43	東側ほぼ垂直西側袋状	ほぼ平坦	B
SK 251	10-17	不整円形	87×74	42	急傾斜	ほぼ平坦	B
SK 252	11-17	不整円形	88×80	不明	急傾斜	不明	B
SK 254	13-17	不整長方形	115×60	59	東側ほぼ垂直西側緩やか	すり鉢状	B
SK 259	12-17	円形	73×70	36	急傾斜	平坦	B
SK 260	12-17	不整円形	76×68	15	緩やか	傾斜	A
SK 262	11-12-16	不整円形	92×80	43	東側垂直西側袋状	凹凸	RP135 B
SK 263	12-15-17	不整円形	99×85	93	ほぼ垂直	ほぼ平坦	B
SK 265	12-16	不整円形	75×68	56	東側急傾斜西側陥あり	丸底	RW139 B
SK 269	11-16	不整三角形	71×52	25	袋状	平坦	C

番号	地区名	平面形	規 模 cm		壁 壁面状態	標込状態	備考(出土遺物・分類)
			長径×短径	深さ			
SK 270	11-16	円形	51×47	25	急傾斜	傾斜	B
SK 272	11-12-15-16	不整円形	103×85	84	急傾斜	傾斜	B
SK 276	12-15	不整方形	118×84	80	急傾斜	丸底	RW128, 131
SK 280	12-15	円形	66×62	18	緩やか	ほぼ平坦	A
SK 285	12-15	不整椭円形	72×47	62	ほぼ垂直	丸底	B
SK 290	12-14	不整円形	75×65	77	ほぼ垂直	丸底	RW138
SK 300	13-15	円形	90×83	35	垂直	傾斜	B
SK 345	10-19	不整円形	97×80	62	ほぼ垂直	平坦	B
SK 354	11-17	円形	51×48	14	緩やか	丸底	A
SK 358	10-11-15	不整椭円形	111×87	27	袋状	傾斜	C
SK 359	10-15	円形	85×78	32	垂直	傾斜	B
SK 364	10-16	不整円形	70×58	39	東側直立西側急傾斜	丸底	B
SK 367	10-11-17	不整円形	52×40	14	緩やか	する鉢状	A
SK 370	10-17	円形	47×44	68	南東側直立北西側袋状	丸底	B
SK 371	10-17	不整円形	76×64	49	急傾斜	丸底	B
SK 372	10-17	不整円形	70×57	35	東側直立西側急傾斜	平坦	B
SK 376	10-17	不整円形	86×74	68	急傾斜	平坦	
SK 401	9-10-18-19	不整椭円形	650×347	36	緩やか	平坦	RP43, 第42回23, RW36, 47, 50, 51 200, 210, 211, RM51 E
SK 403	9-17	円形	72×60	56	急傾斜	丸底	B
SK 404	9-16+17	不整円形	96×79	34	急傾斜	傾斜	B
SK 405	9-16	椭円形	86×76	49	ほぼ垂直	ほぼ平坦	RP103
SK 637	11-16	不整三角形	82×76	50	急傾斜西側段あり	凹凸	B
SK 638	12-13-16	不整方形	114×96	53	東側段あり西側急傾斜	ほぼ平坦	B
SK 645	12-13-16	不整円形	156×115	88	東側袋状西側急傾斜	傾斜	B
SK 646	14-15-17	不整円形	95×79	71	ほぼ垂直	ほぼ平坦	B
SK 647	10-18	不整方形	88×66	96	垂直東側下部袋状	ほぼ平坦	B
SK 649	12-15+16	不整椭円形	76×50	57	急傾斜	する鉢状	B
SK 650	12-15+16	不整円形	59×49	28	急傾斜	平坦	B
SK 651	12-16	不整方形	130×86	72	垂直東側段あり	丸底	B
SK 652	12-16	不整椭円形	254×不明	29	東側緩やか西側急傾斜	不明	B
SK 655	12-17+18	不整円形	86×71	64	ほぼ垂直	ほぼ平坦	B
SK 657	29-17	長方形	172×47	77	ほぼ垂直	平坦	B
SD 46	20-23-14-17	環状	65×	45	急傾斜	平坦	RW15, 骨片、五輪帯、RQ15
SD 52	29-32-14-17		360×	25	緩やか	凹凸	RM21, 128, 129, 133, 第41回14, 第42回16, 第47回25
SD 559	1-14-7-17		620×	70	緩やか	平坦	PR191, 193, 234, 第38回25, RW190, 192, 230, 233, 第47回27
SE 41	13-17	不整円形	180×145	120	ほぼ垂直	平坦	
SE 584	25-16	不整円形	143×120	147	ほぼ垂直	平坦	第37回1~12
SE 639	13-16	不整円形	160×不明	100	急傾斜	平坦	第37回13, 14

IV 遺 物

本項では、遺構内出土遺物の中からその主なものの概要について説明する。

1 土 器 (第37~40図 表一2 図版29~36)

出土総数は、10,635点を数え、うち土師器7%、須恵器18%、赤焼土器75%の割合で一括で確認できたのは、SE584出土のものである。

土師器は、ロクロ成形による高台付环や非ロクロ成形の甕等である。高台付环の内面はヘラミガキ後黒色処理を施す。また、底部外面に放射状のヘラナデを行うものがある。甕は、長胴を呈し内外面にハケ目、底部に簾状の圧痕をもつ。

須恵器は、図示したのは环・壺・甕のみである。环は、底部切り離しが回転ヘラ切り離しと回転糸切り離しがある。その量比は未検討である。SK1出土の环は、回転糸切り離しで底部から丸味を呈して開く。壺は、体部下半に平行叩きを残し、上半にかけてはロクロナデを行っている。甕は、全形は不明であるが、平行叩きや平行及び青海波のアテを施し、頸部に櫛描波状文をめぐらす。

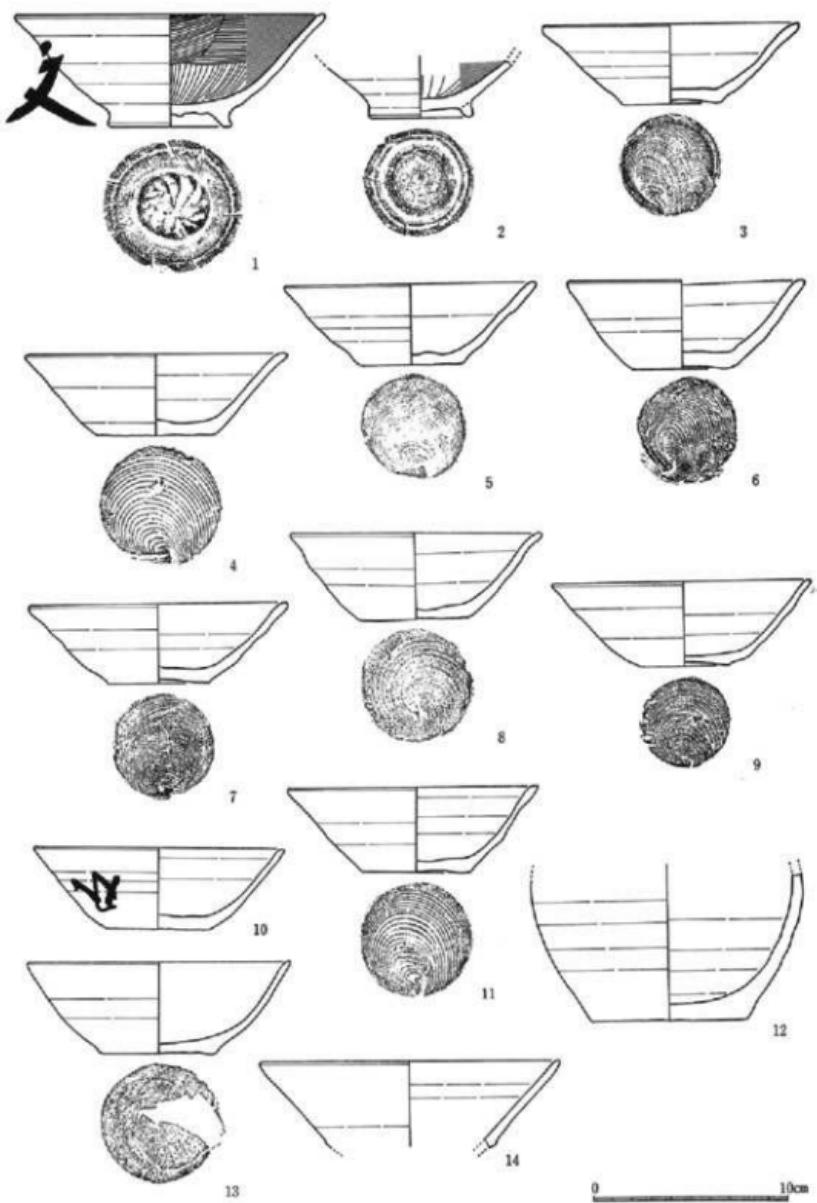
赤焼土器は、SK584の环・甕、639の环一括がある。环は、回転糸切り離しで直線的に開き、大きさも須恵器环より少し小形である。甕は、ロクロ成形の平底のものであるが他の遺構では、長胴丸底で叩きをもつ一群がみとめられる。皿は、环よりも小ぶりで口縁が水平近くまで外反する。

2 陶磁器 (第38~40図 表一2 卷頭図版1・2 図版30~33・35~38)

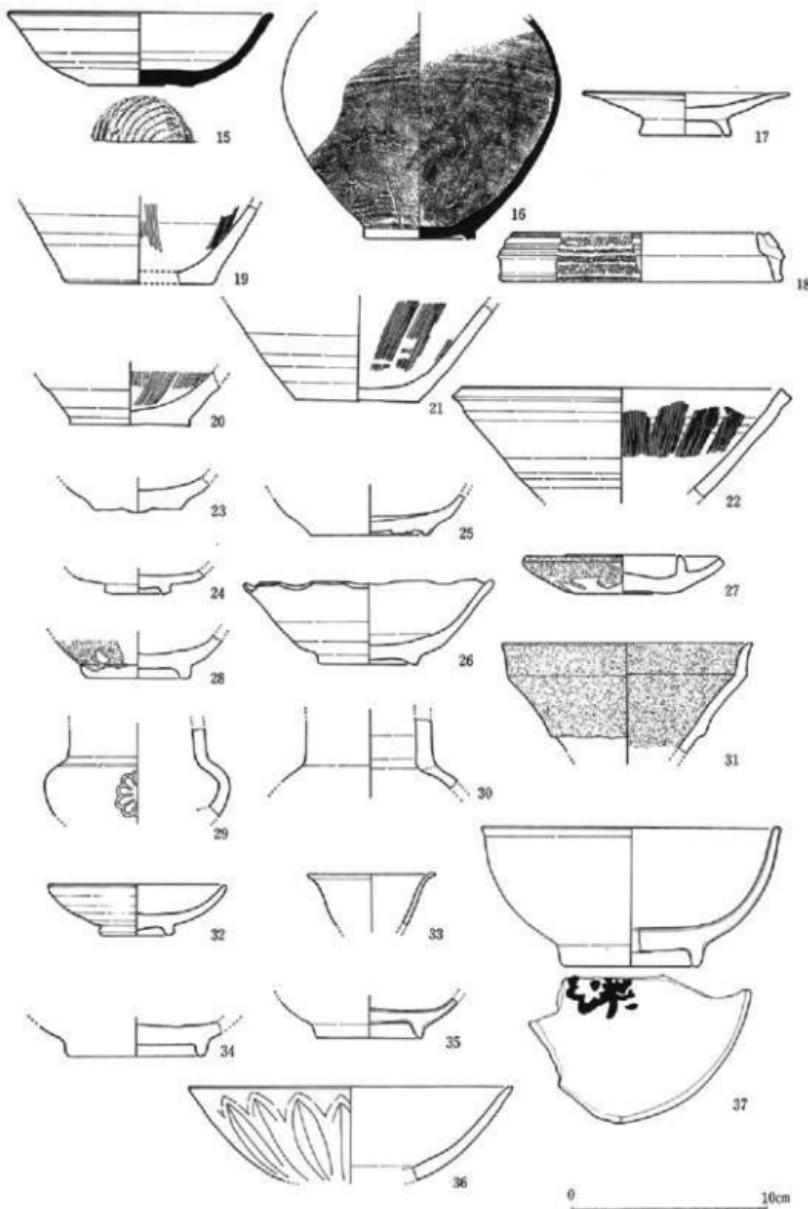
出土総数は、469点を数え、うち珠州系の中世陶器62%、磁器及び施釉陶器38%の割合である。

中世陶器は、擂鉢・甕の器種がある。擂鉢は卸し目が少し間隔を置いて放射状に施され、一単位の櫛目の数は、8・9・14・20条と様々である。口縁部端には、櫛描波状文を施すものもみとめられる。甕は、厚手で大形である。ほとんど破片資料であるが、口縁部は短く外反し、体部は緩かな丸味を呈する。外面には条線状の叩きが行われ、内面にアテ痕による凹凸を残す。

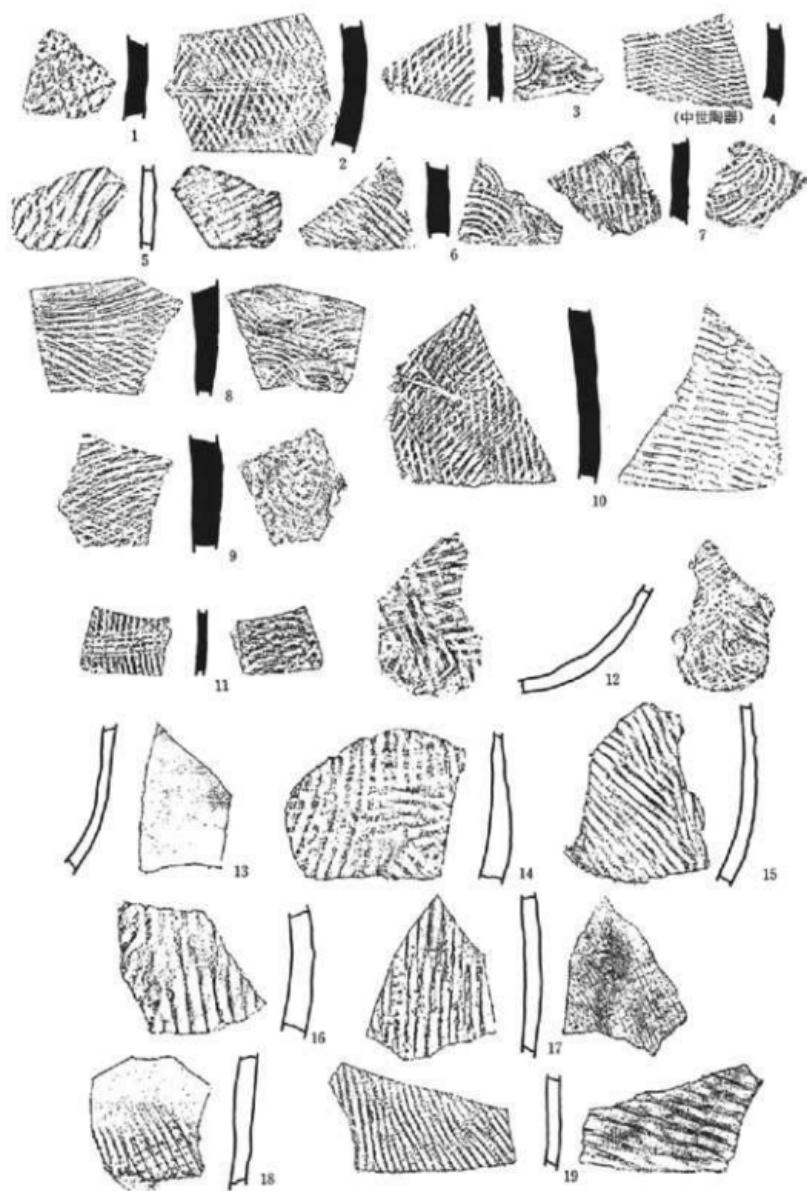
磁器・施釉陶器は、中世～近世の時期の中で分けられる。磁器は、青磁・白磁の碗・花瓶がある。SD559出土の青磁碗は、約1/3の個体であるが破損面に漆状の付着物があり、補修したと思われる痕跡を残す。陶器は、香炉?・小皿・碗・秉燭・丸碗・花瓶の器種がある。それらの中の一括資料としては、SK241出土の白磁・陶器の碗がある。なお、生産地・年代等については、表一2備考に載せた(註1)。



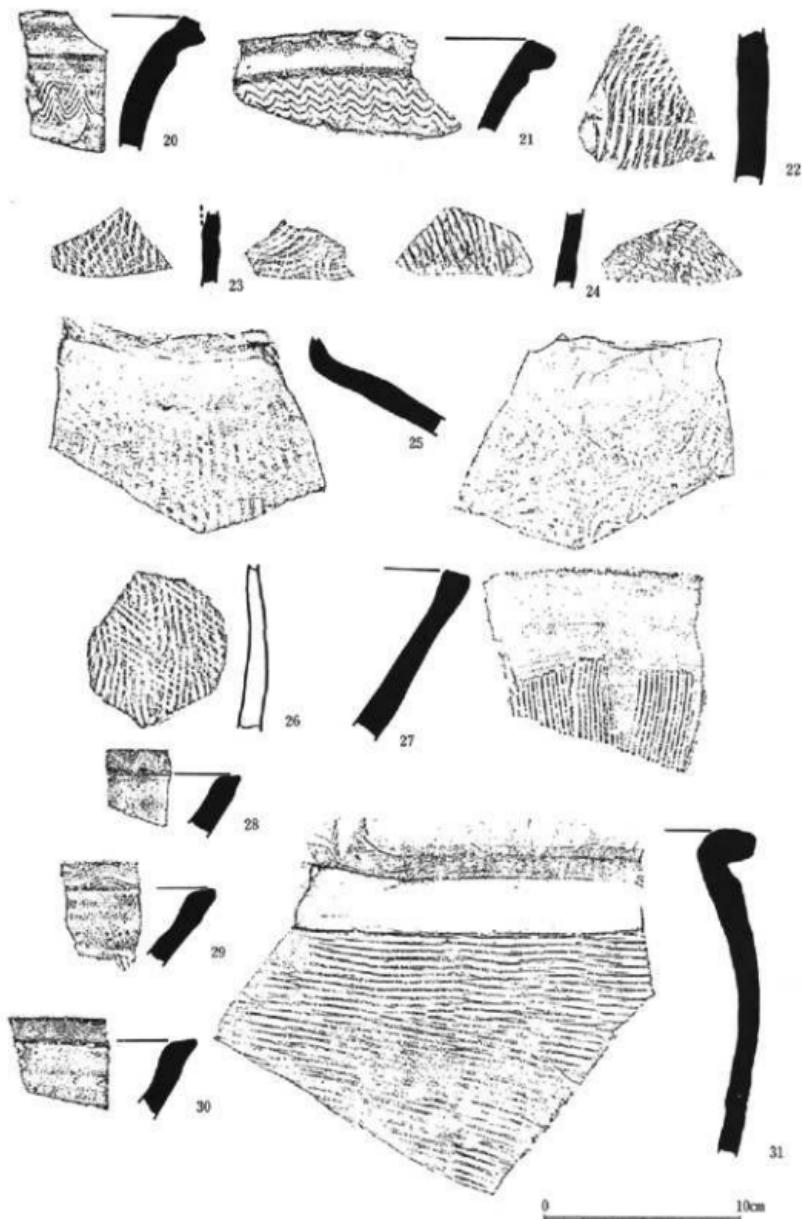
第37図 出土遺物（1）実測図



第38図 出土遺物（2）実測図



第39図 出土遺物（3） 拓影図



第40図 出土遺物(4) 拓影図

3 土製品・石製品

土製品

土鍤（第41図1～3）3点出土している。両端より中心方向へふくらみ中ほどで最大径となる。径1.5cm前後の穴を貫通させている。

石製品

石木（第41図4）一端を鋭利に円錐状にしている。また、もう一端は、一方向から斜めに磨きこんで鋭利にしている。円柱状石製品（第41図5）両面の中心にくぼみを有する。

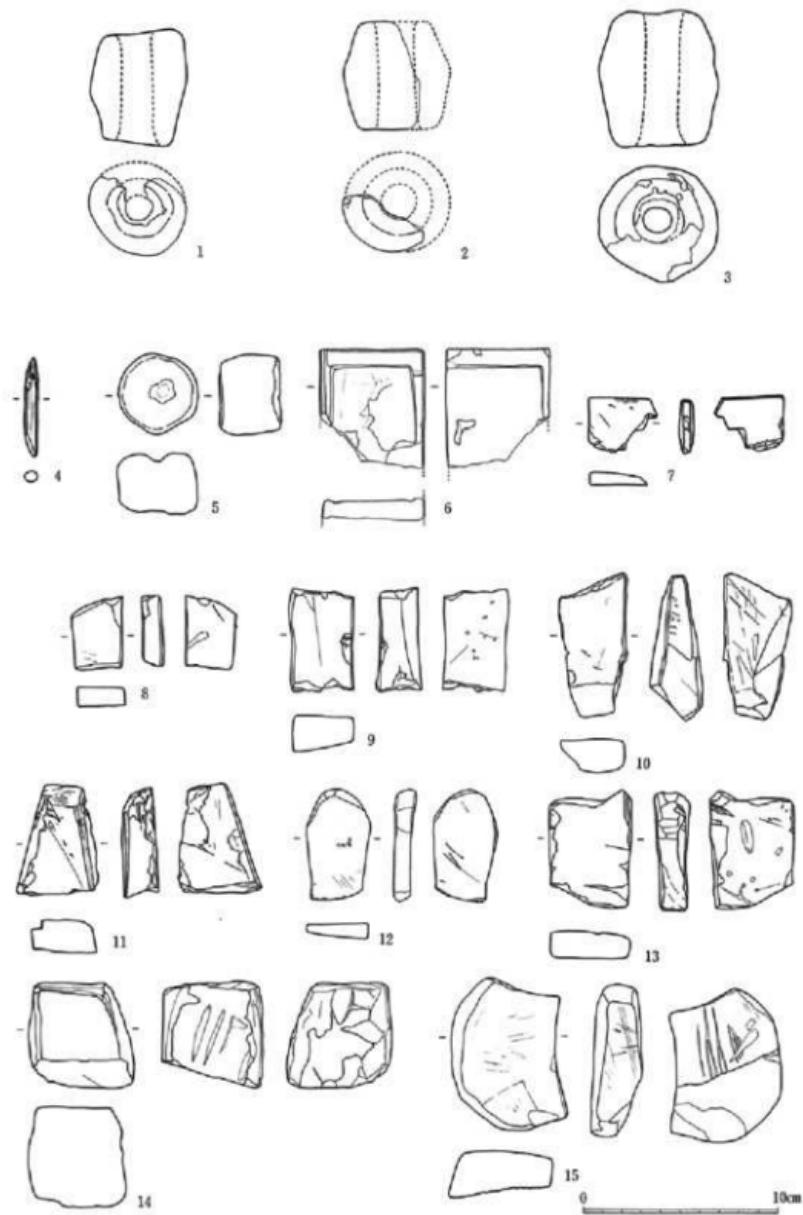
砥石（第41図7～第42図23）角柱状の石材で、各面を磨面に用いている。五輪塔（図版26一上）破片出土。SD46・57より出土している。SD46からは、多量の骨片（種別不明）が出土していることから環状溝内側には、塚の性格をもつ遺構があったと考えられる。硯（第41図6）両面に海をもうけている。

4 木製品

本遺跡は木製品の保存に適した土壤・溝跡から多数の保存状態の良い木製品が出土した。木製品の形態から、生活用具（漆器・下駄・箸・包丁の柄・曲物容器）・祭祀用具（木簡・舟型・陽物）・丸木舟、弓、用途不明のものに分けられる。

生活用具

漆器（第43図1 図版40-1～7）破片を含め24点出土している。漆器の大半のものには両面に黒漆をかけている。また、朱漆を使用し文様を描いているもの4点（内面に朱漆をかけ濃い目の朱漆で文様を入れているもの1点を含む）が確認された。文様は「花」2点（図版40-1・4）、「+」1点（第43図1）、不明1点（図版40-3）であった。出土した漆器の大半は、底部に円盤状の擬高台をつくり出している。図版40-117の擬高台の裏には、塗前に「二」のヘラ記号をつけている。ヘラ記号の横の長さ8mm・上の二本の線の長さ3mmを測る。皿（図版40-8）横木取りで口縁部付近で体部が一段ふくらむ。下駄（図版43-31・32 図版44-35 図版45-49）連歯下駄2点、差歛下駄2点が出土した。連歛下駄は、平面形が長方形を呈しているもの（第47図27 図版43-31）と、前後の端が半円形（図版43-32）を呈するものに分けられる。歛は、2点とも台と同じ幅で縦断面が台形を呈する。鼻緒孔は、ともに前壺を前歛の中心の前に作る。後壺は、長方形のものが後歛前に、半丸形のものは両歛の中ごろにつくる。差歛下駄（第47図26・27）は、台より下へ広がる台形を呈している。2点とも台部に歛部を装着する柄穴が4ヵ所に貫通する露卯の差歛下駄である。ともに台の表面後端付近に記号状切り込みをいれている。鼻緒孔は、前壺が表面より斜め前に貫通し、後壺は、台の両側付近から中心へむかひ斜めに貫通させている。箸（第43図3～14）SK234・SK265より多量に出土した。完形は、長さ22～24cmのも



第41図 出土遺物（5）実測図

のが大半をしめる。曲物用器（図版48—61～63 図版49—64・69）曲物底1点が出土した。10～14cm程の小型の曲物3点、井戸枠に使用されたもの2点である。図版48—61・69は、縦方形にカキ目を施している。

弓

弓（巻頭図版5）全体に黒漆をかけている。弓筈を先端にもうけている。

祭祀用具

木簡（第43図16～19 図版41—16～22）長方形の板材の一端の左右に切り込みを入れたものの大小7点、習書木簡（図版28一下）1点が出土した。習書木簡には、右半分に「小カ昌正正口」（註1）の墨書が確認された。舟型（第44図20）船首をとがらせ、船尾を四角形に作りあげている。舟槽を割りぬいている。他に陽物（第44図21）2点が出土した。

丸木舟・籠状木製品

丸木舟（図版55—106 図版56—107）SE584の井戸枠として転用されたものである。船首と船尾をのぞく部分をいくつかに切り使用したものと考えられる。南側丸木枠に使用された丸木には、舟べりに穴を貫通（図版54—D）させている。丸木舟内側に方形のくぼみ（図版55—A・B）があるが、井戸枠の転用のさい、井桁をさしこむために作られたものと考えられる。また、本遺跡からは、籠状木製品（図版27一下）1点が出土した。籠部と柄の境目付近よりふたつに折れている。柄部の長さ72cm・籠状部の長さ23.8cmを測る。

その他

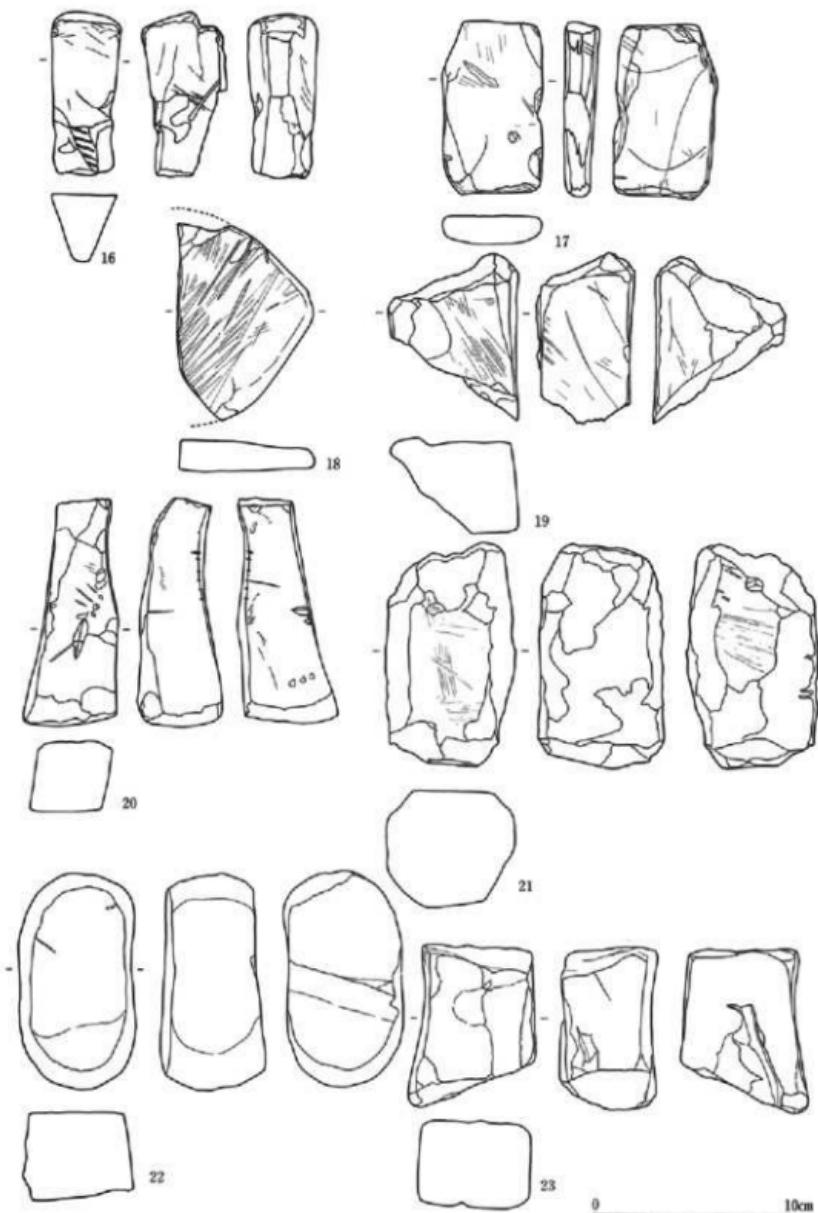
箱（第45図24 図版47—58）2点出土した。第45図24は、長い方の横板二枚には径7.5mmの穴を各1ヶ所づつ貫通させている。底は、細い板材を3本使用し木釘で枠板に固定させ底板にしている。図版47—58は、板材を木釘でとめ固定している。5～10mmの長さの木釘を使用している。薦石（図版41—12・13）2点出土した。丸木材を使用し、中ごろを削りこみ一幅度を小さくしている。

5 金属製品・古銭

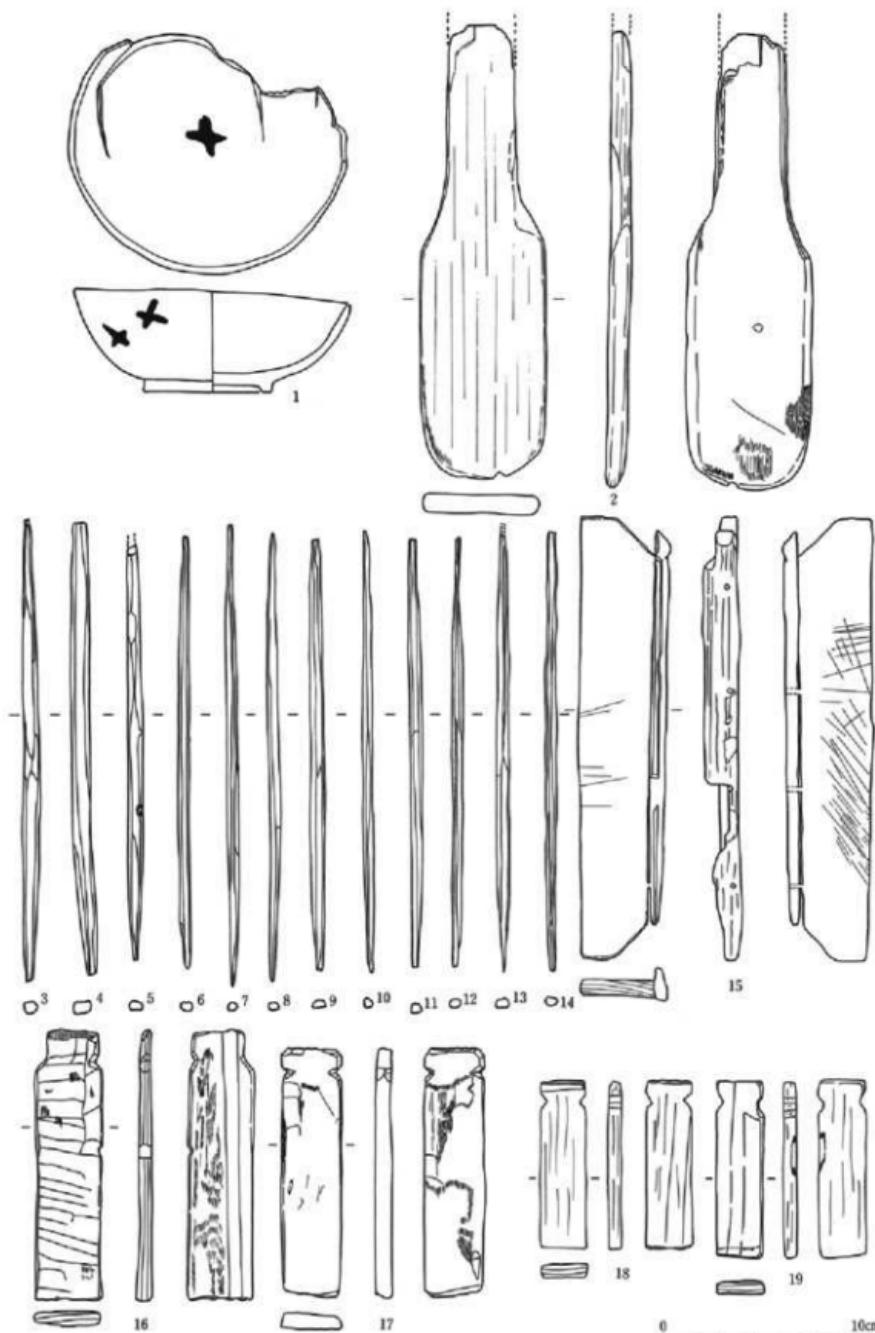
蓋（第47図28）1点出土した。つまみ部をもつ。釘（第47—33・34）断面が方形を呈する。第47図33は、釘の頭部の幅が広く厚さは薄くなっている。刀子（第47図36）茎に径3mmの目釘孔を有する。第47図30は薄い鉄板で径2mmほどの穴を6ヶ所一列に貫通させている。古銭（第47図38～57）、明確に銭貨名が確認できるのは15点であった。「開元通宝」「天聖元宝」「熙寧元宝」「元豐通宝」「元祐通宝」「聖宋元宝」「政和通宝」「寛永通宝」「嘉祐通宝」に分けられる。簪（図版57—9）飾り部は「うちわ」を形どっている。

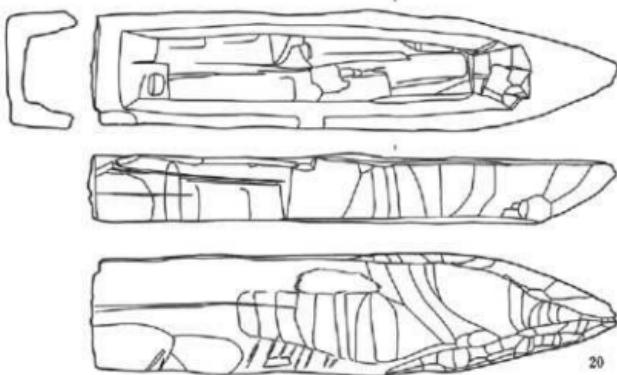
6 自然遺物

SK63・243・195・SD46より骨片、モモの種子・クルミ等が出土した。

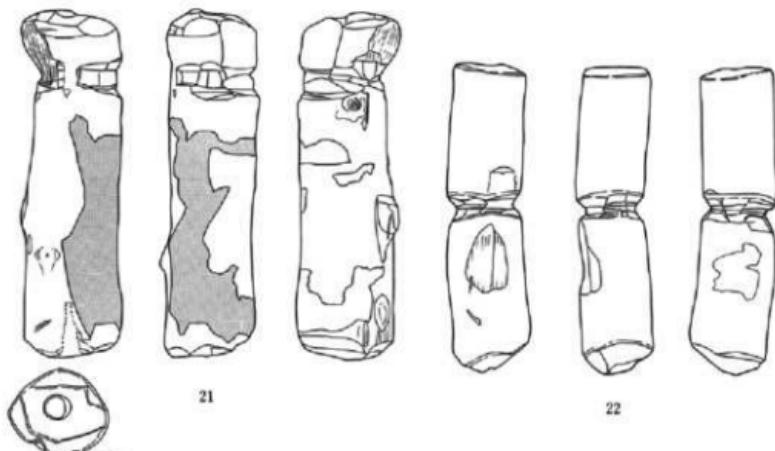


第42図 出土遺物（6）実測図



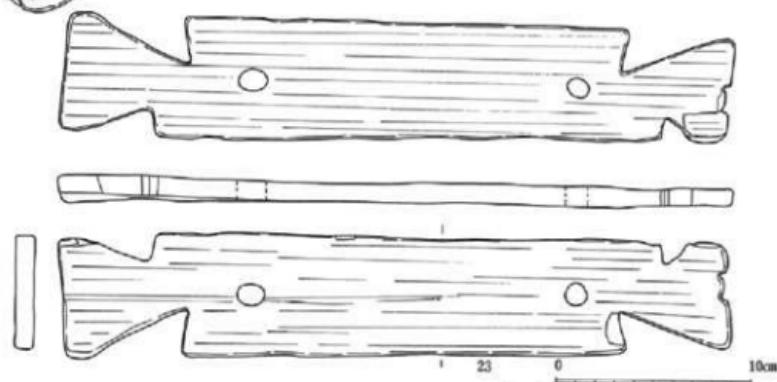


20



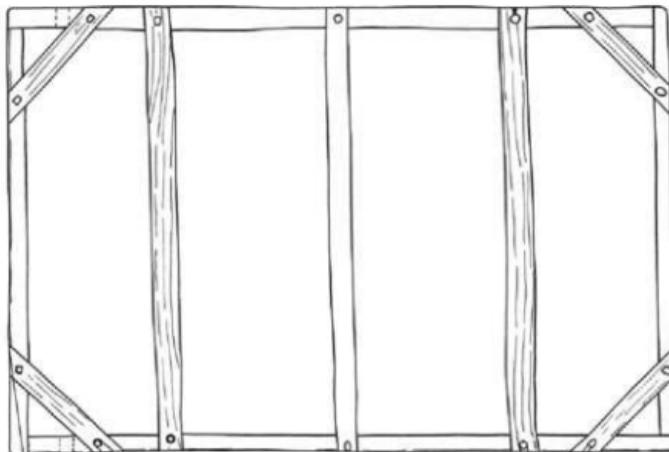
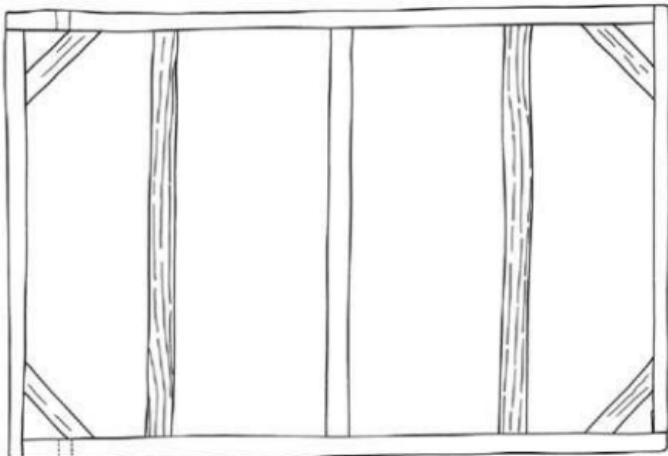
21

22



1 23 0 10cm

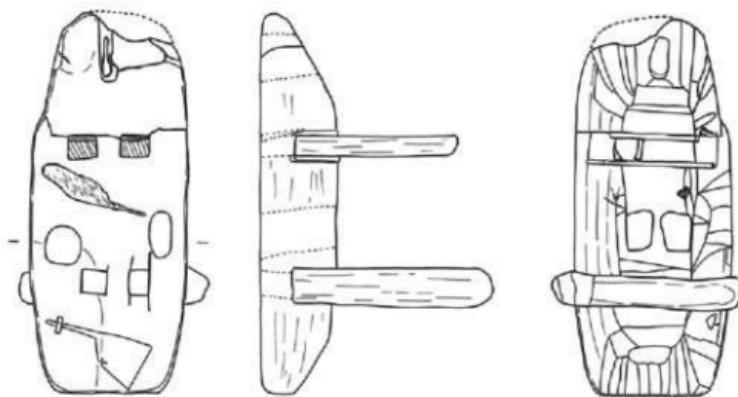
第44図 出土遺物（8）実測図



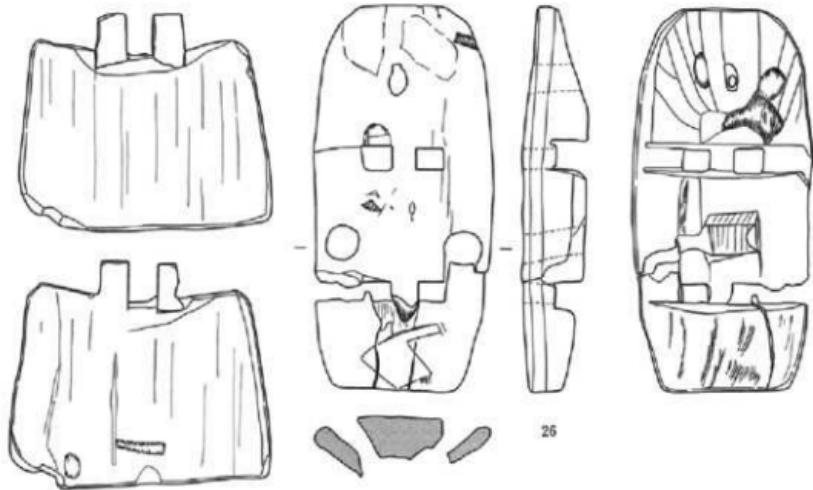
24

A scale bar at the bottom right of the page, labeled "10cm".

第45図 出土遺物（9）実測図



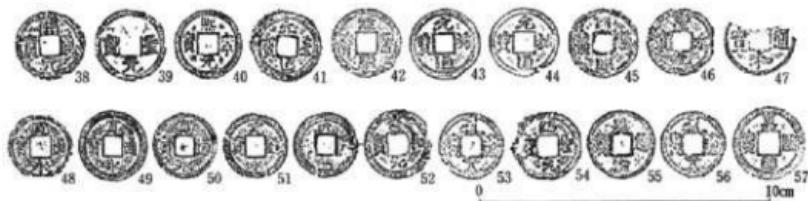
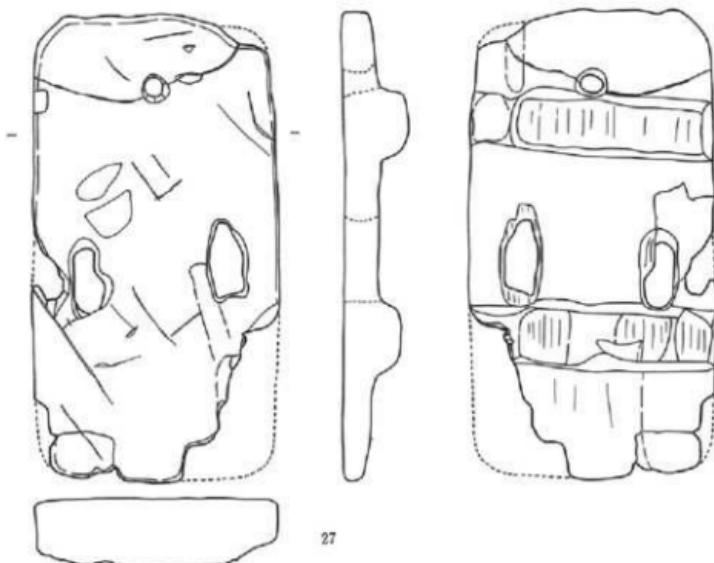
25



26

0 10cm

第46図 出土遺物（10）実測図



第47図 出土遺物 (11) 実測図・拓本図
— 60 —

表一 2 土器計測表

件番号	図版番号	層別	器種	出土位置	法 周 (mm)		備考	
					口径	底径		
37-1	29-1	土器 組	高台付形	S E584	(160)	65	48	直筒「文」 字
37-2	29-2	#	#			54	(29)	
37-3	29-3	素面 土器	H	#	132	52	42	
37-4	29-4	#	#	#	136	62	42	
37-5	29-5	#	#	#	129.5	53	42	
37-6	29-6	#	#	#	(123)	50	46	
37-7	29-7	#	#	#	134	52	42	
37-8	29-8	#	#	#	130	67	44	
37-9	29-9	#	#	#	133	46	44	
37-10	29-10	#	#	#	129	52	42	直筒「直」 字
37-11	29-11	#	#	#	129	57	43.5	
37-12	29-12	#	壺	#		80	(74)	
37-13	29-13	#	H	S E639	136	60	47	
37-14	29-13	#	#	#	155		(44)	
38-15	29-14	素面 壺	#	S K11	(137)	(53.5)	37	R P1
38-16	30-17	#	壺	S K167 F		116	(228)	R P22
38-17	30-19	素面 土器	H	E P49 F	106.5	46	22	
38-18	30-20	陶器	HPT	3-17-II	(130)	(145)	(51)	
38-19		中三 陶器	指鉢	X-8		(154)	(82)	四輪

陶器番号38-26は遺物番号 R P32, 38-28はR P19, 38-31は

R P71, 38-32はR P56, 38-34はR P133, 38-35はR P

101, 38-20はR P145である。

{ }内数字は上記による推計値ないし既存値を示す。

表一 3 土製品・石製品・金属製品計測表

件番号	図版番号	層別	器種	出土位置	法 周 (mm · g)		備考	
					最大径	最小径		
41-1	土器 品	土器	S K227 F		(89.5)	59.5	74.3	
41-2	#	#	S K76 F			55.5	39.6	
41-3	#	#	S K175 Y		60	69	191.7	
41-4	39-51	石製 品	石灰	12-10-II	51	6.5	3	
41-5	39-48	#	S K37 F	41.5	39	32	33.2	
41-6	39-47	#	石	S D57 F	(61)	52	10	50.6
41-7	39-64	#	砾石	S K75 F	(36)	26	11	16.1
41-8	39-62	#	#	28-16-II	(28)	23	7	8.1
41-9	39-60	#	#	8-15-II	(32)	23	6.5	
41-10	39-59	#	#	(76)	34	27.5	63.4	
41-11	39-58	#	#	3-39-II	(57)	42	18	81.9
41-12	39-63	#	#	S K171	(57)	33	16.5	23.5
41-13	39-65	#	#	13-10-II	(61)	43	17.7	67
41-14	39-57	#	#	S D52 F	(55)	53	52	244
41-15	39-61	#	#	S K141 F	80	54	25	93.7
42-16	39-54	#	#	S D52 F	(84)	35	41	111.6
42-17	39-53	#	#	S K72 F	(89)	51.5	17.2	117

陶器番号41-6は遺物番号 R Q16, 42-21はR Q16, 42-22は

R Q13, 42-23はR Q15, 47-28はR M128, 47-30はR M

21, 47-31はR M127である。

{ }内数字は既存値を示す。

表一 木製品計測表

番号	図面 番号	版号	種別	出土位置	計測値 (mm)			備考
					最大幅 最大高 最小幅 最小高	最大幅 最大高 最小幅 最小高	最大幅 最大高 最小幅 最小高	
色鏡-5	弓	SK401	1628	24	24	RW210		
	8	夏秋製品	SD46	953	102	22	RW15	
色鏡-3	漆	漆	SK72F	(203)	(57)	RRW17		
43-1	色鏡-3 40-2	#	SD659	5-16	143	66.5	53	RW138
色鏡-3 40-1	#	SD559	(129)	(105)	(42)	RW233		
色鏡-3 40-3	#	#		(160)	(53)	RW187		
色鏡-3 40-4	#	SK30	(102)	(92)				
色鏡-3 40-5	#	#		(137)	(47)	RW74		
40-6	#	SD559	(141)	(53)	RW227			
40-7	#	SK30	126		54	RW75		
40-8	墨	SK401	184		40	RW209		
41-10	夏秋製品	SK30	253	57	4.5	RW67		
41-11	用途不明	SK76	101	68	41			
43-2	43-33	夏秋製品	SK401	236	65	11.5	RW58	
43-3	44-37	箸	SK265	240	9	6	RW139	
43-4	44-36	#	#	234	9.5	6	#	
43-5	44-39	#	#	213	8	5.5	#	
43-6	44-40	#	#	223	6	5	#	
43-7	44-41	#	#	239	5.5	5	#	
43-8	44-42	#	#	232	5	4.5	#	
43-9	44-43	#	#	223	8	4.5	#	
43-10	44-44	#	#	238	5	5.5	#	
43-11	44-45	#	#	222	6	5	#	
43-12	44-46	#	#	223	6	5	#	
43-13	44-47	#	#	227	6.5	5.5	#	
43-14	44-48	#	#	226	6	5	#	
43-15	42-25	用途不明	SD659	251	5.5	6.5	RW233	
43-16	41-17	木	間	SK115F	139	34	8	
43-17	41-16	#	#	127	30	8.5		
41-18	#	SK76	91	34	7	RW117		
41-19	#	#	36	24	6.5	#		
41-20	#	#	34	23	7	#		
43-18	41-22	#	#	35	23	5	#	
43-19	41-21	#	#	39	24	3	#	
44-20	41-9	舟	型	SK171	272	62	35	RW125
44-21	41-14	鷹	物	SK30	179	56	RW79	
41-25	#	#	187	45.8		RW62		
41-12	墨	石	#	155	40.5	RW63		

番号	図面 番号	版号	種別	出土位置	計測値 (mm)			備考	
					最大幅 最大高 最小幅 最小高	最大幅 最大高 最小幅 最小高	最大幅 最大高 最小幅 最小高		
44-22	41-13	鹿	石	SK30	158	48		RW78	
44-23	43-23	用途不明	SK401	272	62	3.5		RW211	
	42-24	#	SK72F	269	71	3.7		RW19	
	42-25	#	SK401	199	36.9	29.3			
	42-27	#	SK276F4	285	23	14.4		RW131	
	42-28	#	SK276	289	23.5	16.2		RW128	
45-24	46-52	#	SK196F3	340	231	35		RW36	
	42-29	朱	漆	SK30	52	56	15	RW64	
	42-30	用途不明	SD659	120	92	26		RW230	
46-25	50-49	高	下	款	#	196	49	RW192 (120) [13部隊]	
46-26	44-35	#	#		199	92	32	RW192 (111) [13部隊]	
47-27	43-31	下	駒	SK211	243	129	19	RW29 (133) [13部隊]	
	43-32	#	SK658	215	106	18		RW236 (120) [13部隊]	
	43-34	用途不明	SK72F	226	96	7		RW19	
	44-36	錐	物	SK119Y	234		15	RW114	
	45-50	竹	笊	SK401	172	(74)		RW47	
	45-51	風籠	し	伎	SK255F	250	185	58	RW124
	47-53	用途不明	SK76F3	259	20	8		RW115 (15.5) [13部隊]	
	47-54	#	#	SK211	84	21	9	RW115 (14.5) [13部隊]	
	47-55	包丁の柄	SK211	84	33	27			
	47-56	用途不明	#	231	31.8	12.2			
	47-57	#	SK196F3	84					
色鏡-4	47-58	圓	SK76F3	202	197.5	56		RW115 (15.5) [13部隊]	
48-53	曲	物	SE41	657		534		井戸附	
色鏡-3	48-62	#	SK225	120		56		RW111	
色鏡-3	48-63	#	SK45F	100		84		RW92	
色鏡-3	49-64	#	SK222	135		91		RW96	
49-65	横	楕	SE639	855	180	24		北側	
49-66	#	#	826	138		42		西側	
49-67	#	#	835	124		39		東側	
49-68	#	#	749	134	27	南側			
49-69	曲	物	(48.5) 540					井戸附	
50-70	東	底	SK46	815		66			
50-71	#	#		271	155	55			
50-72	#	#		760	154	65			
50-73	#	#		809	166	35			
50-74	#	#		650	34.1				
50-75	#	#		637	151	15			

番号	国番号	版番号	種類	出土位置	計測値 (mm)			備考
					最大幅	最小幅	最大厚	
50-76	青 瓦 板	SE639 (SK440)		774	163	46		
50-77	〃	〃		266	113	6.8		
51-78	西 瓦 板	〃		721	254	42		
51-79	〃	〃		572	186	25		
51-80	〃	〃		618	268	19.5		
51-81	〃	〃		605	129	16.2		
51-82	〃	〃		545	147	15.5		
51-83	〃	〃		563	162	12		
51-84	〃	〃		518	87	18		
52-85	南 瓦 板	〃		570	114	19.1		
52-86	〃	〃		556	135	15.6		
52-87	〃	〃		609	95	15.5		
52-88	〃	〃		563	132	19		
52-89	〃	〃		644	145	11.5		
52-90	〃	〃		649	193	23		
52-91	〃	〃		654	227	35.8		
52-92	〃	〃		463	122	32.2		
52-93	〃	〃		747	55			
53-94	北 瓦 板	〃		751	140	18		
53-95	〃	〃		677	119	10		
53-96	〃	〃		594	100	10		

番号	国番号	版番号	種類	出土位置	計測値 (mm)			備考
					最大幅	最小幅	最大厚	
53-97	北 瓦 板	SE639 (SK440)		564	48	10.5		
53-98	〃	〃		547	56	11		
53-99	〃	〃		566	30.7			
53-100	〃	〃		756	85	19		
53-101	〃	〃		712	90	14.5		
53-102	〃	〃		413	78	10.8		
53-103	〃	〃		614	104	18.4		
53-104	〃	〃		683	157	13		
54-105	南 瓦 板	SE564		1510	815	44		
55-106	〃	〃		1329	756	47		
56-107	〃	〃		787	246	49		
56-108	〃	〃		644	116	24		
56-109	〃	〃		934	57	12		
56-110	〃	〃		954	84	1.1		
56-111	北 瓦 板	〃		1154	340	35		
56-112	〃	〃		1689	275	47		
56-113	〃	〃		771	50	12		
56-114	〃	〃		586	52	33		
56-115	〃	〃		514	113	13		
56-116	〃	〃		772	51	14		
	菅原本浦	SD659Y		147	35	1.5	RW194	

* () 内数値は既存値を示す。

表-5 古銭観察表

番号	国番号	版番号	銘 貨名	出土位置	初跡年
47-38	57-12	開元通寶	SK30	621	
47-39	57-12	天慶元寶	SK67	1023	
47-40	57-12	熙寧元寶	X-6	1071	
47-41	57-12	元豐通寶	SD48	1078	
47-42	57-12	元豐通寶	X-6	1078	
47-43	57-12	元祐通寶	SD57	1086	
47-44	57-12	元祐通寶	SD57	1086	

番号	国番号	版番号	銘 貨名	出土位置	初跡年
47-45	57-12	聖宋元寶	SK50	1101	
47-46	57-12	聖宋元寶	SD559	1101	
47-47	57-12	政和通寶	22-14-II	1111	
47-48	57-12	宣和通寶	SK235	1162	
47-49	57-12	宣和通寶	13-11-II	1162	
47-50	57-12	宣和通寶	13-9-II	1162	
47-51	57-12	宣和通寶 (面面「元」)	X-6	1171	

番号	国番号	版番号	銘 貨名	出土位置	初跡年
47-52	57-12	□元□寶	SD46		
47-53	57-12	□元□寶	SK206		
47-54	57-12	元熙□寶	SD46		
47-55	57-12	不 明	I-16-II		
47-56	57-12	□元□寶	SK206		
47-57	57-12	嘉祐通寶	SK179	E804	

V まとめ

今回の調査は、昭和62年度県営ほ場整理事業・中平田東地区に係る緊急発掘調査である。調査期間は、昭和62年4月15日～同年9月18日の延89日間である。調査対象地区は、ほ場整備面工事区域及び計画農道・排水路内で、発掘調査面積は、4,546m²である。調査結果は次のようにまとめられる。

遺構については、建物跡を想定できる柱穴の配列は確認できなかった。ただSD559付近の縦板は、その存在を推定するものである。

土壤は、確認数の多かった一群である。大小のタイプがあり、その大きさや断面形態により類別を行った。A～D類に分けられ、中でもB類の数が多く、深さも1mを越えるものもみとめられる。D類は、大形の土壤で多くの遺物が出土した。他の類例では、本遺跡の北東約1.5kmに位置する「高阿弥田遺跡」の土壤群がある。寺院跡の伝承が残る地区であり、墓壙の可能性を考えられている(長橋他 1985年)。本遺跡の場合も、寺院跡の伝承があり、形態からA～C類グループが想定できるが、深さ等を考慮すればB・C類が墓壙を呈する一群と考えられる。ただB類には、井戸跡を想定できるもの(SK222・652)やB・C類の中に覆土に炭化物層をもつ一群(第III章)があり、各類の中でひとつの機能毎に類別できなかった。D類については、形態・多種に亘る遺物内容及びその出土状況・炭化物層の堆積から捨て場の機能が考えられる。

井戸跡は、3基確認できた。井戸組の違いで、素掘り?で底に曲物を置くもの(SE41)、丸木を縦に合わせるもの(SE584)、縦板を横棟で支える構造のもの(SE639)がある。特にSE584・639の縦板の一部は、丸木舟を転用したものであることが考えられる。類例としては、酒田市「南興野遺跡」のSE203井戸跡(野尻 1987年)や、同「生石4遺跡」のRW11廻(伊藤・安部 1987年)があり、丸木舟による当時の輸送方法が推定できる。

溝跡は、SD46については、略方形の区画・五輪塔片・骨片の出土から、壠を呈する中世の墓地であったことが考えられる。削平された可能性もあるが、区画内に土壤状の施設はみとめられなかった。SD559は、調査区内を北から西へ走る大溝で、遺構群もその南北にまとまりをもつ。また、重複する遺構も少なく時期的に同一かは断定できないが、その関連性が考えられる。遺構の内容から寺院跡を明確にするものは確認できなかったが、前述の伝承を考慮すれば、その施設に関係する区画の可能性も考えられる。なお、溝の北西側の区画は、トレンチ調査で柱穴・土壤がみとめられた。

出土土器は赤焼土器が総数の75%を占め圧倒的に多い割合を占める。主に遺構内出土遺

物の概要についてのみで全体的検討はできなかったが、SK 1 の須恵器壺やSE584 の土師器高台付壺・赤焼土器壺の特徴から10C 代前後の時期が考えられる。

陶磁器は、土器に比して約4% の出土量で、その中の62% が珠州系の中世陶器である。壷鉢の特徴から時期的には、III~IV期、13C 後半~14C 前半と考えられる。また、施釉陶器は朝鮮系・唐津・瀬戸美濃・大窯・青磁・白磁は、南栄・伊万里の生産地に分けられ、時期は13C 前半~江戸後期と幅がある(註1)。それにより、遺跡内を区画する溝は16C 後半、中世末の時期に入る。

木製品は、遺構(土壤・溝跡) 内出土が大半で、遺存良好なものも多くみとめられた。形態を基に生活用具・祭祀用具に分けられる。農耕具も含むと考えられるが、具体的な用途を示すものは明らかにできなかった。ただ、SK76出土の箱(図版47~58) については、田下駄の可能性がある(註2)。それらの遺物群の内容は、漆器や下駄等多様な当時の生活を物語るものである。また、木簡状木製品や舟型については、土壤内出土であることから、中世の宗教儀礼との関連が考えられる。

註1 陶磁器の器種・生産地・年代については、吉岡康暢氏(国立歴史民俗博物館)、墨書き器・木簡の解説については、平川 南氏(同)の御教授によるものである。

註2 田下駄については、佐藤頼宏氏(市立酒田中央高校)の御教授があった。

参考文献(敬称略)

- | | | |
|------------|---------|-------------------------------------|
| 酒井英一 | (1980年) | 「藤島町藤岡出土の古鏡入壺」『庄内考古学第17号』 |
| 渋谷孝雄 | (1982年) | 『境田C 遺跡発掘調査報告書』 山形県埋蔵文化財調査報告書第62集 |
| 田口昭二 | (1983年) | 『美濃焼』考古学ライブライマー17 ニューサイエンス社 |
| 渋谷孝雄 | (1984年) | 『境田C・D 遺跡発掘調査報告書』 山形県埋蔵文化財調査報告書第76集 |
| 東良國立文化財研究所 | (1985年) | 『本器集成図録近畿古代篇』 東良國立文化財研究所史料第27冊 |
| 長柄 至他 | (〃) | 『高阿弥田遺跡発掘調査報告書』 山形県埋蔵文化財調査報告書第86集 |
| 安部 実・阿部明志 | (1986年) | 『生石2 遺跡発掘調査報告書』 山形県埋蔵文化財調査報告書第87集 |
| 佐藤庄一他 | (〃) | 『西沼田遺跡発掘調査報告書』 山形県埋蔵文化財調査報告書第101集 |
| 野尻 侃 | (1987年) | 『南興野遺跡発掘調査報告書』 山形県埋蔵文化財調査報告書第114集 |
| 伊藤邦弘・安部 実 | (〃) | 『生石4 遺跡発掘調査報告書』 山形県埋蔵文化財調査報告書第118集 |

図 版



遠景遠景(南から)



遠景近景(南西から)



作業風景



トレンチ検出状況



トレンチ検出状況



A地区南側(南東から)



A地区東側完掘(南から)



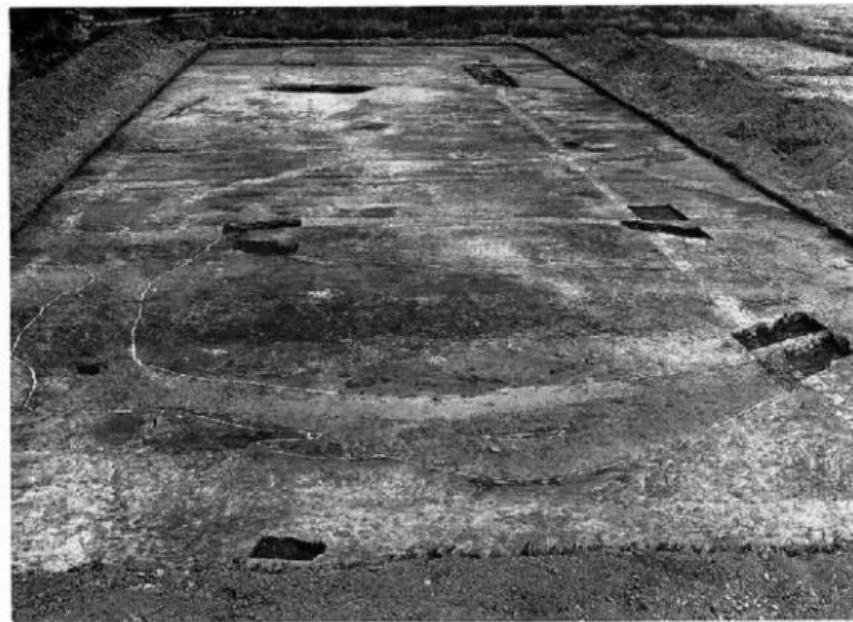
A地区(東から)



A地区発掘作業風景



B地区(南西から)



B地区(西から)



B地区北壁(南東から)



C地区(西から)



SK30



SK30(南から)



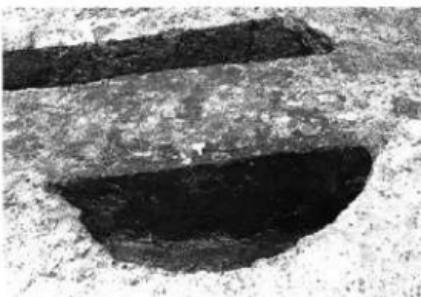
SK30(北から)



SK30(東から)



SK40(南から)



SK41(南から)



SK43(東から)



SK43(南から)



SK43(南から)



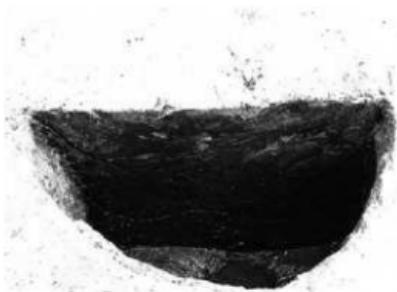
SK54(南から)



SK62(南から)



SK63(南から)



SK69



SK70



SK71



SK72

図版 8



SK76



SK76遺物出土状況(南から)



SK76(南から)



SK76(北から)



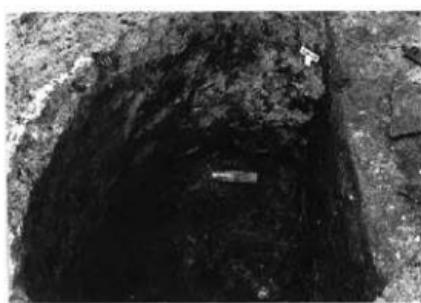
SK77(東から)



SK78(北東から)



SK115



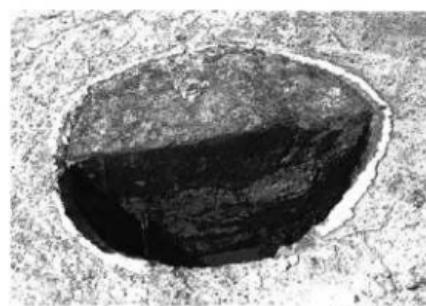
SK115



SK115(南から)



SK119



SK119(南から)



SK132(南から)



SK134(南から)



SK150(南から)

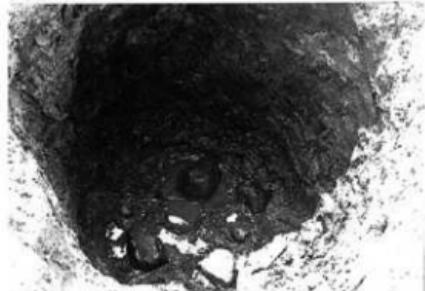


SK159(南から)

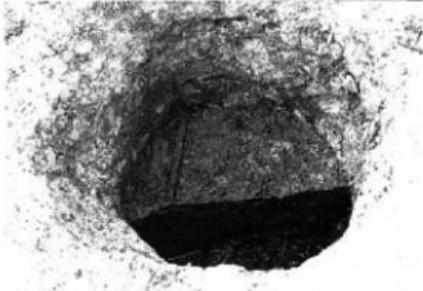


SK171(北から)

図版10



SK175(東から)



SK176(南から)



SK178(南から)



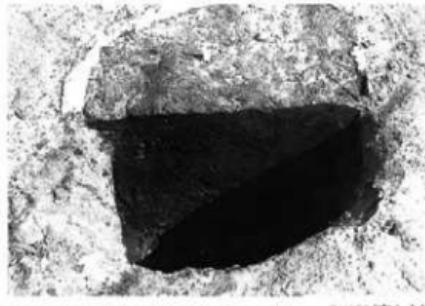
SK119(南から)



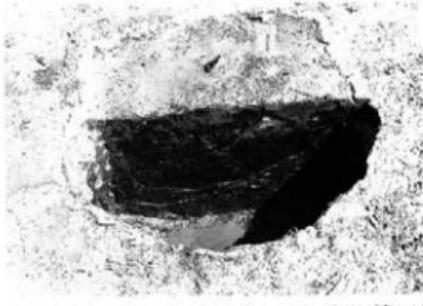
SK190(北西から)



SK191(南から)



SK192(南から)



SK114(南から)



SK195(南から)



SK196セクション



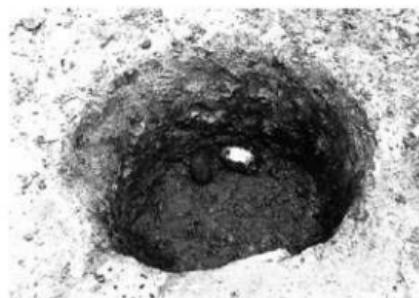
SK196



SK196遺物出土状況



SK197(南から)



SK197遺物出土状況

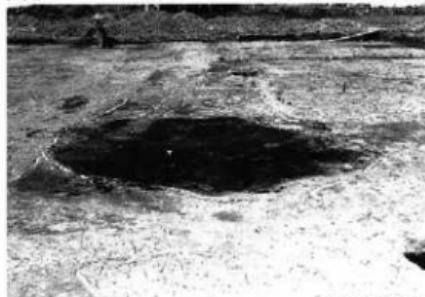


SK201

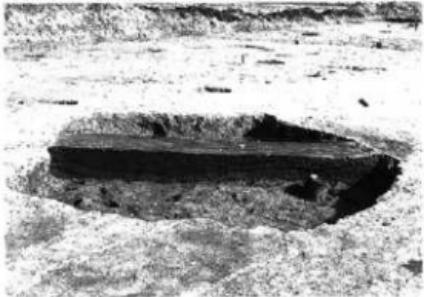


SK203

図版12



SK206検出状況



SK206



SK204(南から)



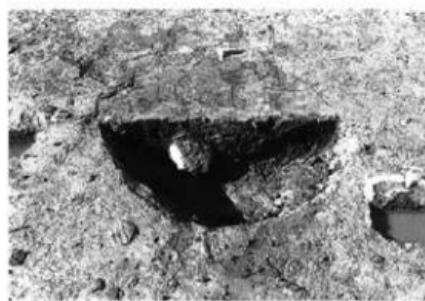
SK211



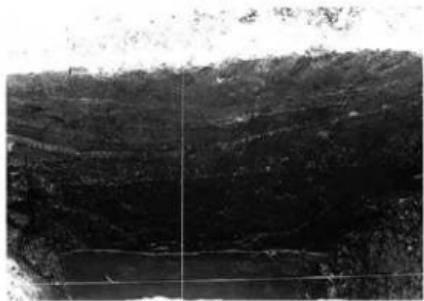
SK211セクション



SK211遺物出土状況



SK218(南から)



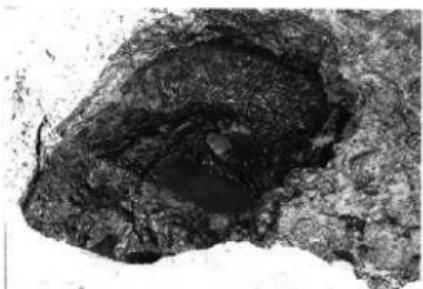
SK243セクション(南から)



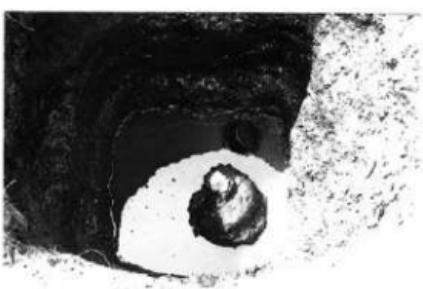
SK222セクション(南から)



SK222(南から)



SK222遺物出土状況(1)



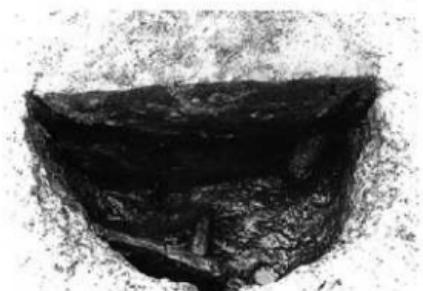
SK222遺物出土状況(2)



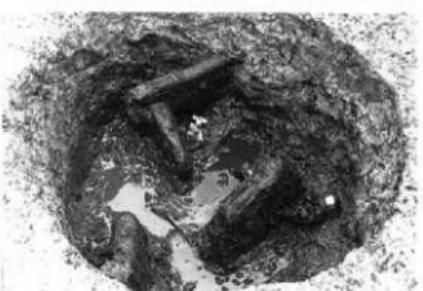
SK225(南から)



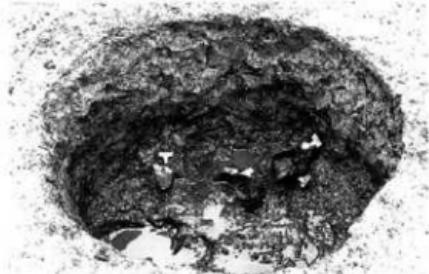
SK225遺物出土状況



SK241(南から)



SK241遺物出土状況



SK241完掘



SK251



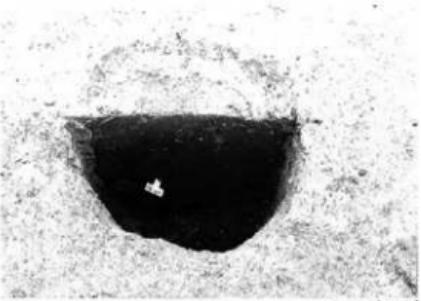
SK252セクション



SK252(南西から)



SK226(南から)



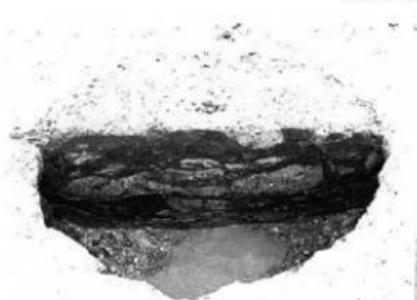
SK227(南から)



SK234(南から)

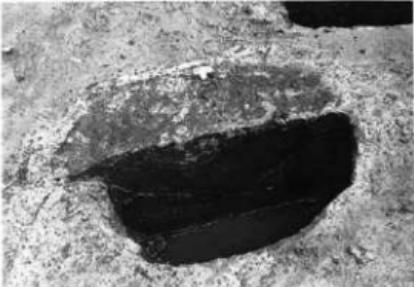


SK262(南から)





SK371(南から)



SK372(南から)



SK401(南から)



SK404



SK405(南から)



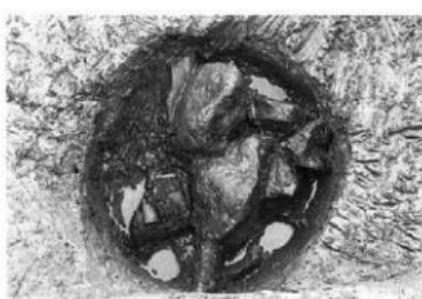
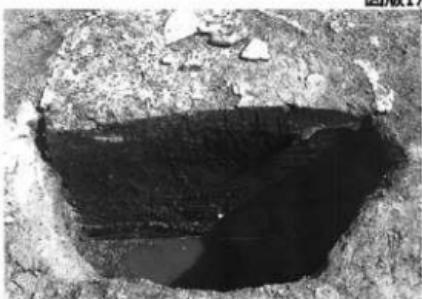
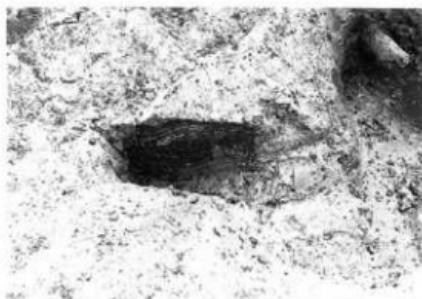
SK650・SK649



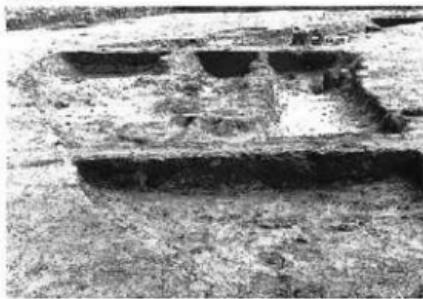
SK651(南から)



SK651・SK650



図版18



SD46セクションベルトNo.3



SD46セクションベルトNo.5



SD46(南から)



SD46



SD46南側



SD46北側



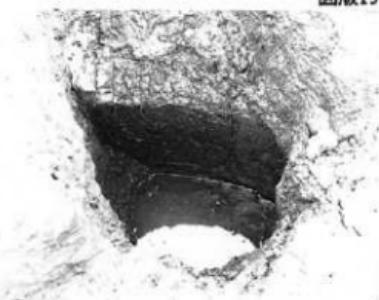
SD52調査状況



SD52遺物出土状況



SD25(南西から)



SD52セクション



SD52南側



SD52北側



SD46



SD46(東から)



SD559(西から)



SD559(南東から)



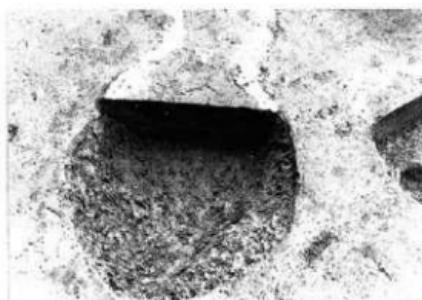
SD559北壁



SD52・SD665裏複部



EP 4



EP 8



EP14



EP15



EP16



EP16完掘



EP17



EP18



EP22



EP23



EP249(南から)



SE41曲線(西から)



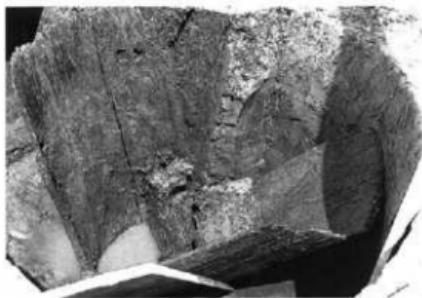
SE41曲物出土状況



SE584検出状況



SE584調査状況(1)



SE584調査状況(2)(南西から)



SE584調査状況(3)(北東から)



SE639周辺(西から)



SE639周辺切り合い



SE639壁板(南から)



SE639東側・SK233セクション



SE639(南から)



SE639(南東から)



SE639(北西から)



SE639(北東から)



SE639・SE41(南東から)



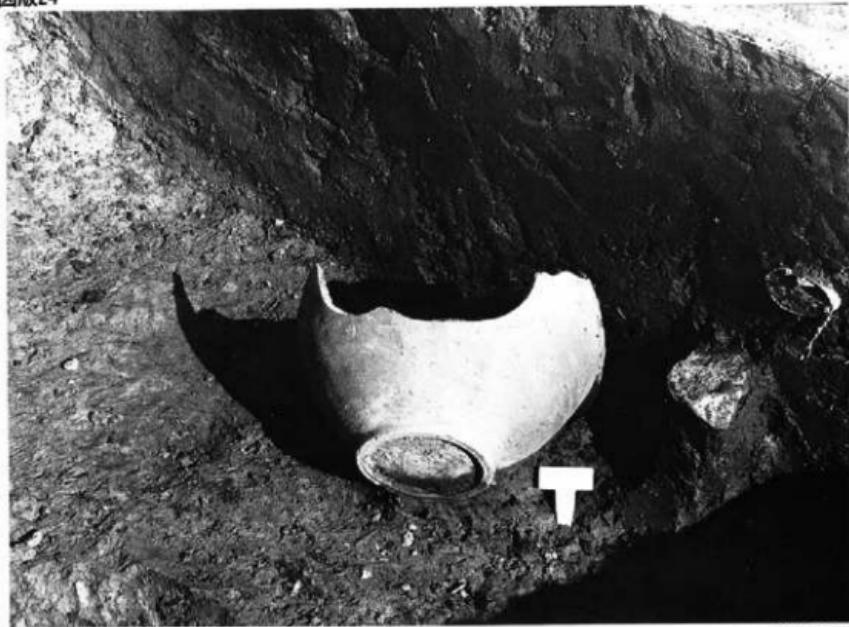
SE639西側・SK540セクション



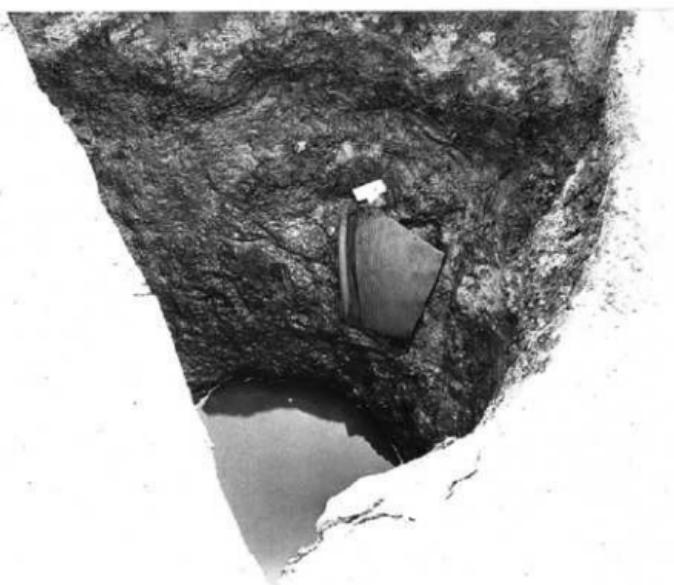
SE639東側・SK641セクション調査状況



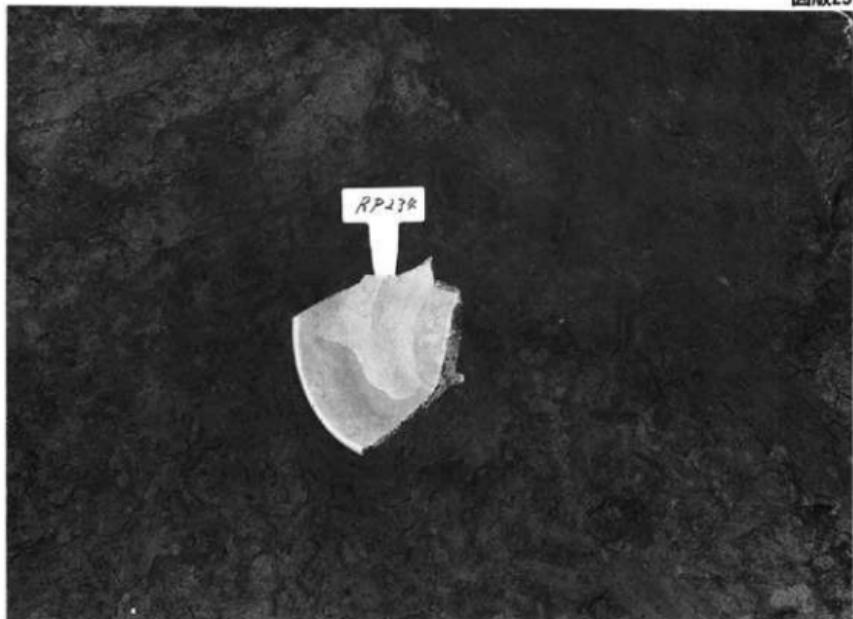
SE639東側・SK641完掘



SK167土器出土状况



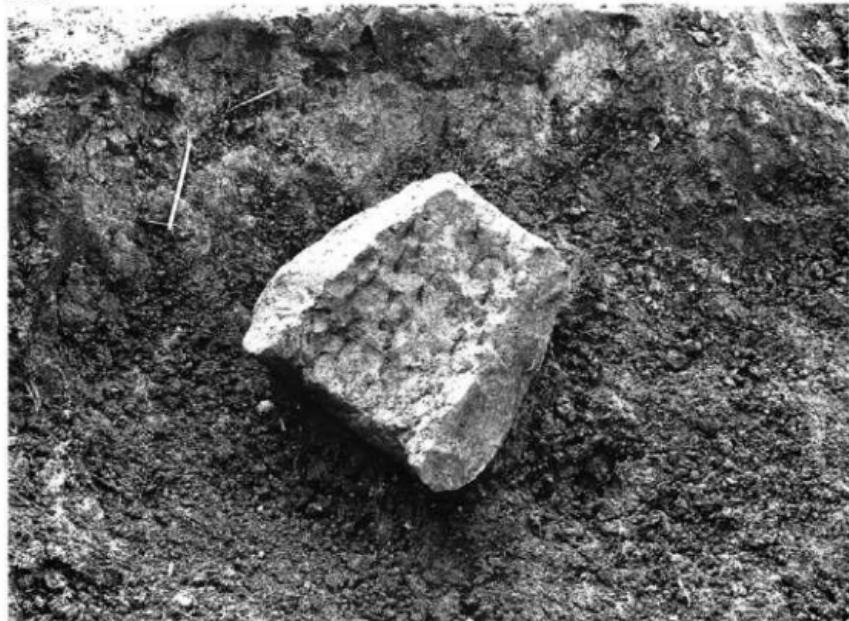
SK276土器出土状况



SD559青磁出土状况



SD559陶器出土状况



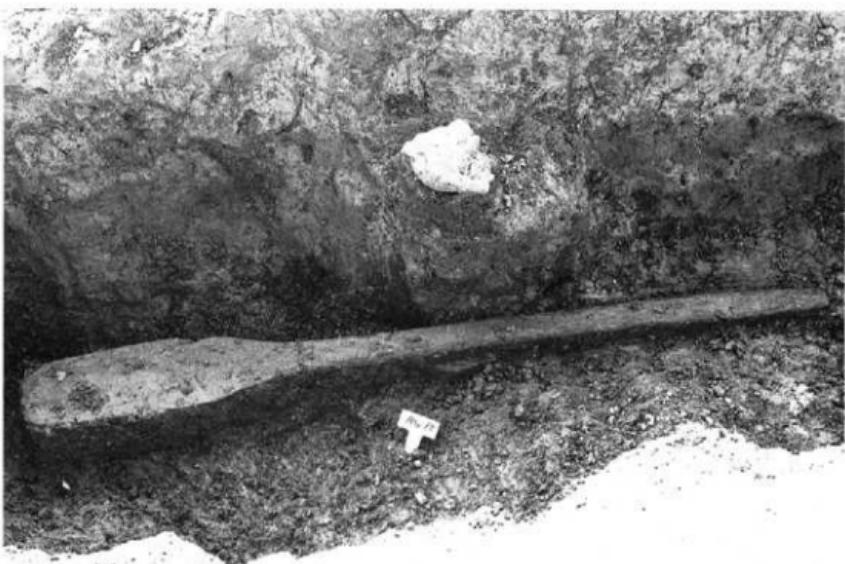
SD46石制品出土状况



SD559木制品出土状况



SK206木製品出土状況



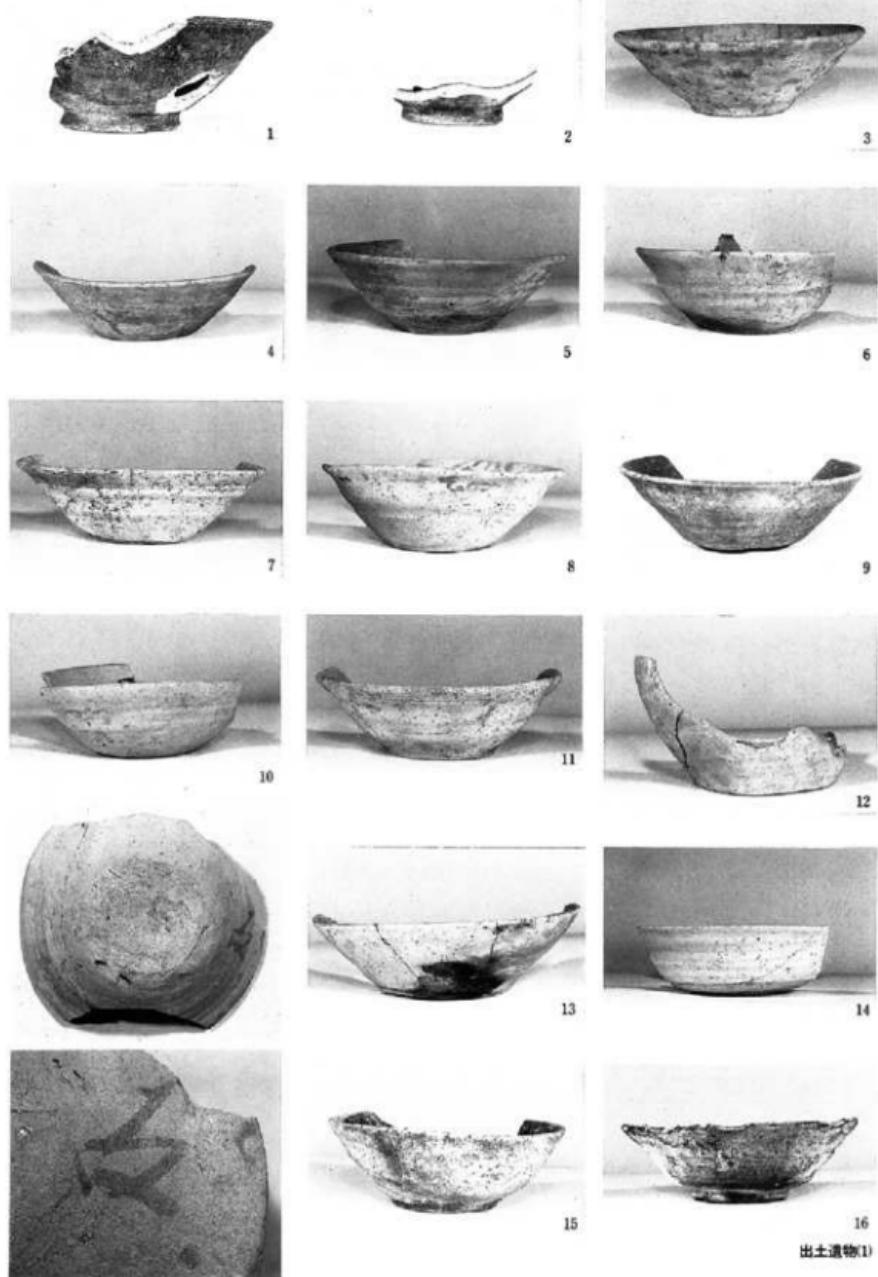
SD48木製品出土状況



SD559木制品出土状况



SD559木制品出土状况





17



18



19

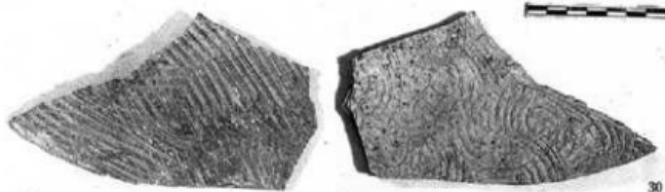
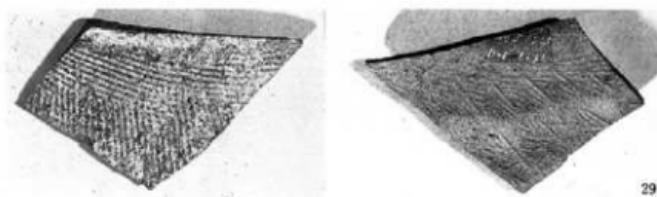
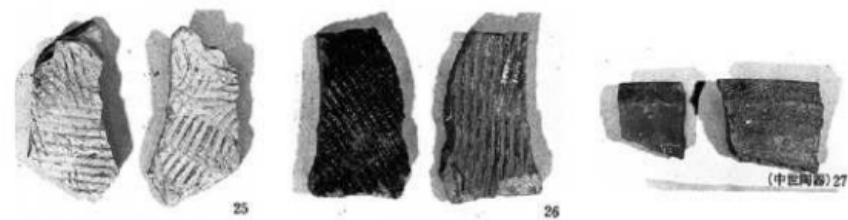


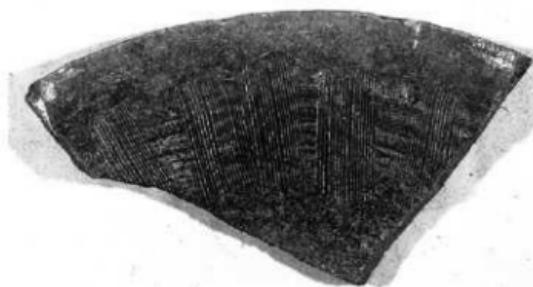
20



21

出土遺物(2)

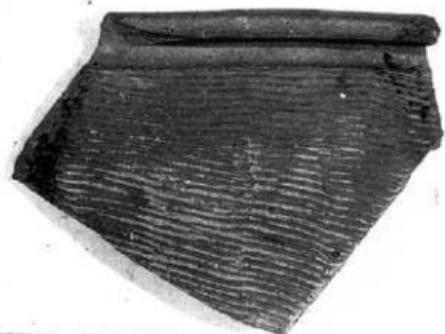




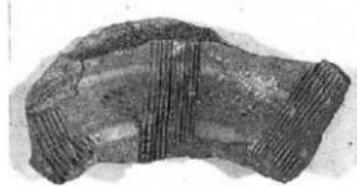
31



32



33



34



36



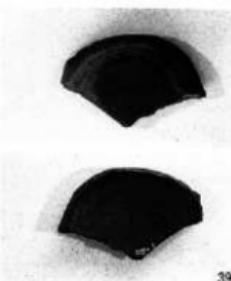
(底部) 35



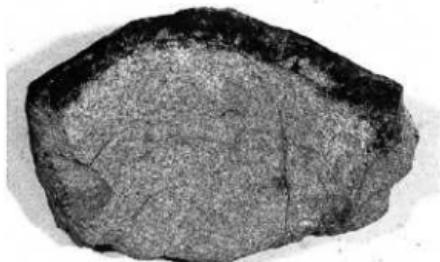
(底部) 37



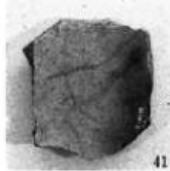
38



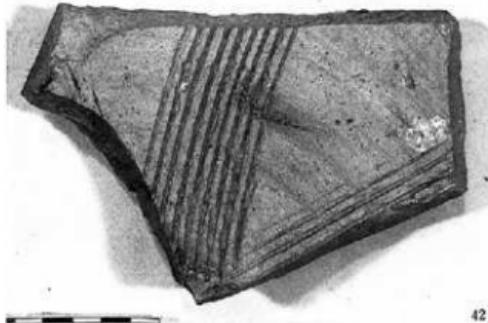
39



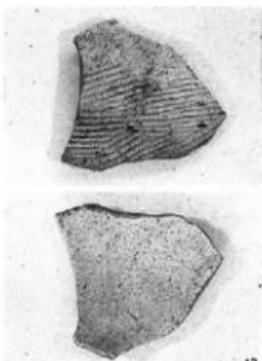
40



41



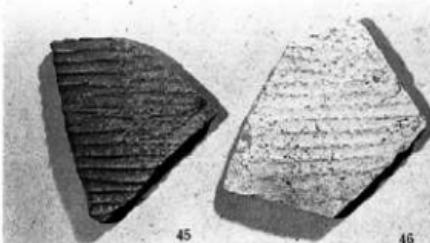
42



43

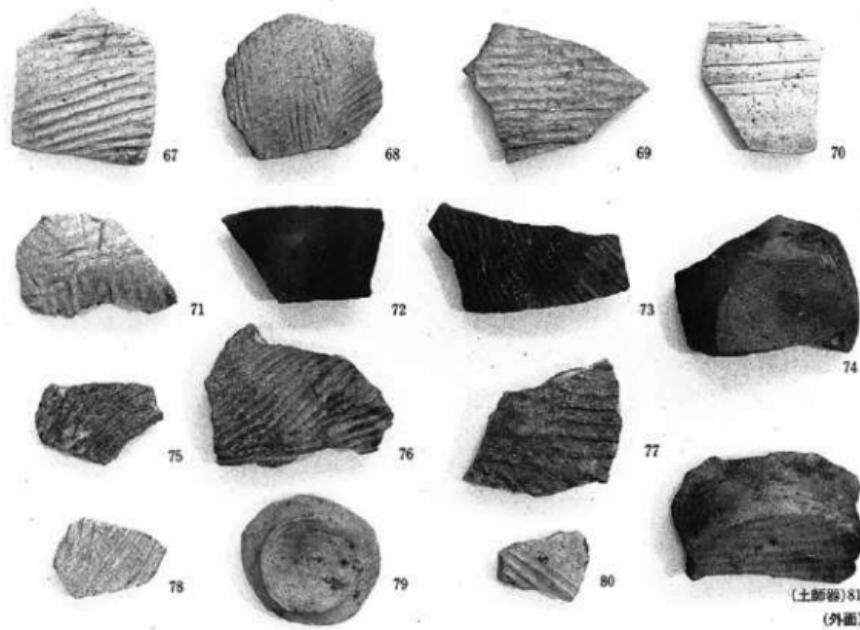


44(81と同一)

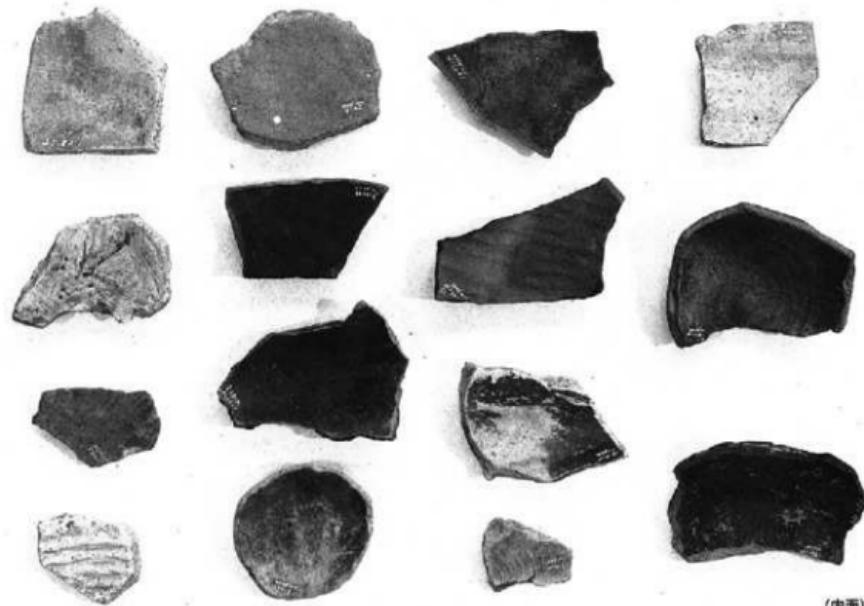


45

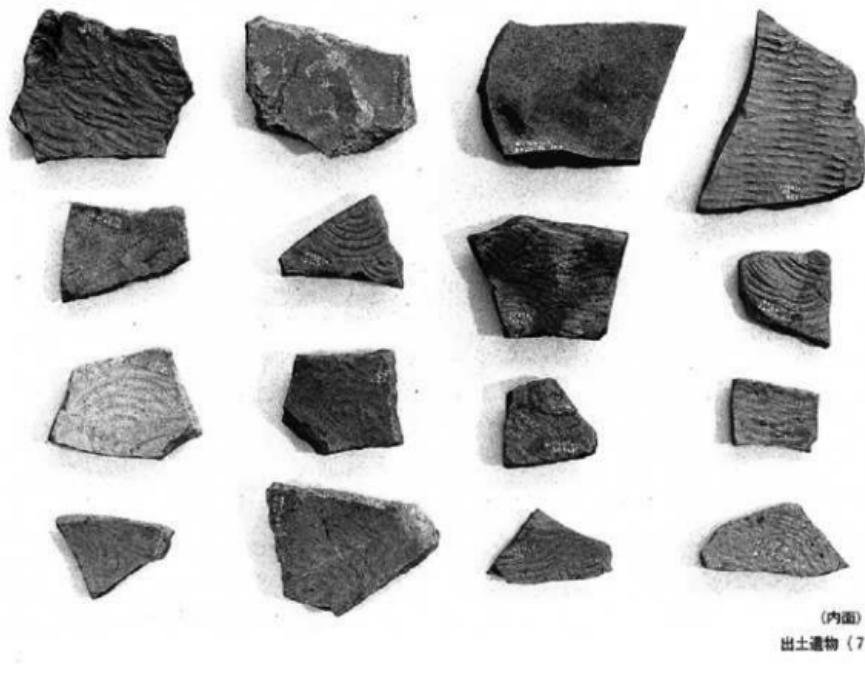
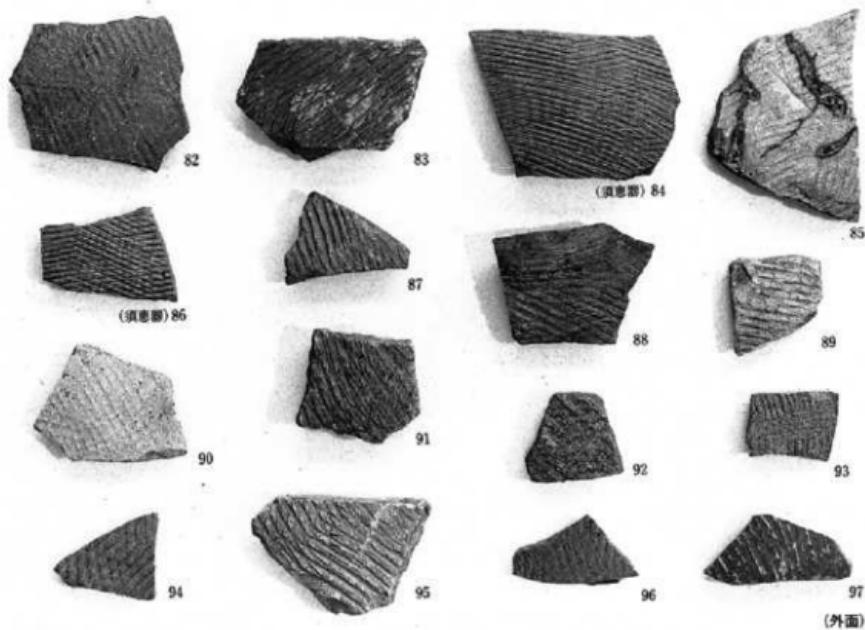
46



(土器) 81
(外面)



(内面)
出土遺物 (6)





98



99



(裏面) 100



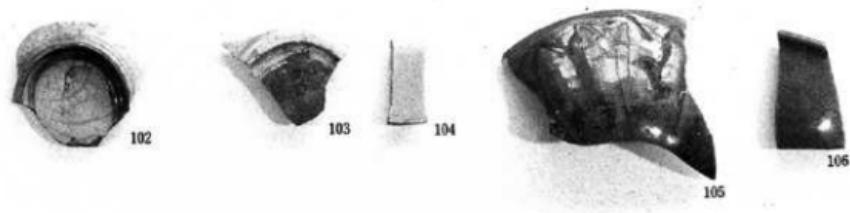
101

(外面)



(内面)

出土遺物 (8)



(外側)



(内面)

出土遺物 (9)



115



116



117



118



119



120



121



122



123



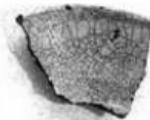
124



125

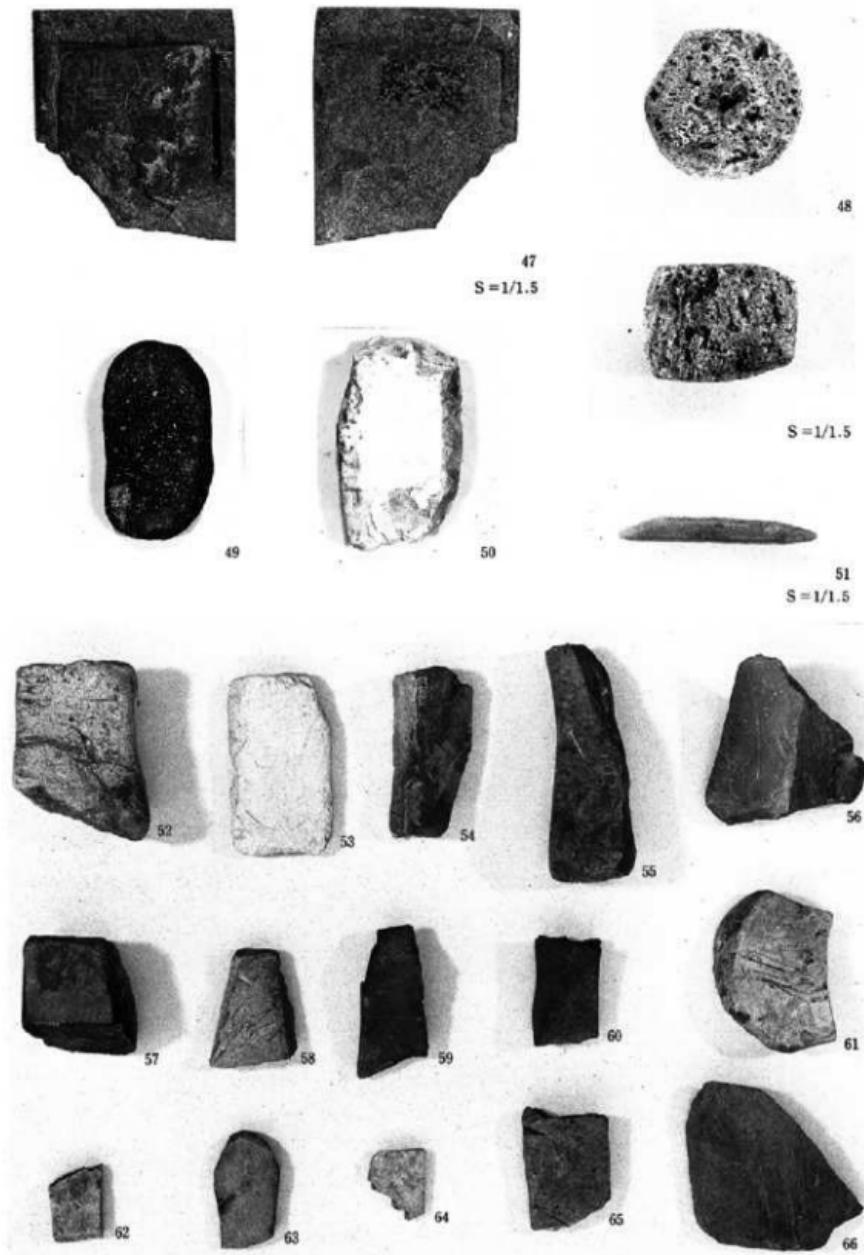


126
(外面)



(内面)

出土遺物 (10)

 $S = 1/2$



1

2

3



117

4



5

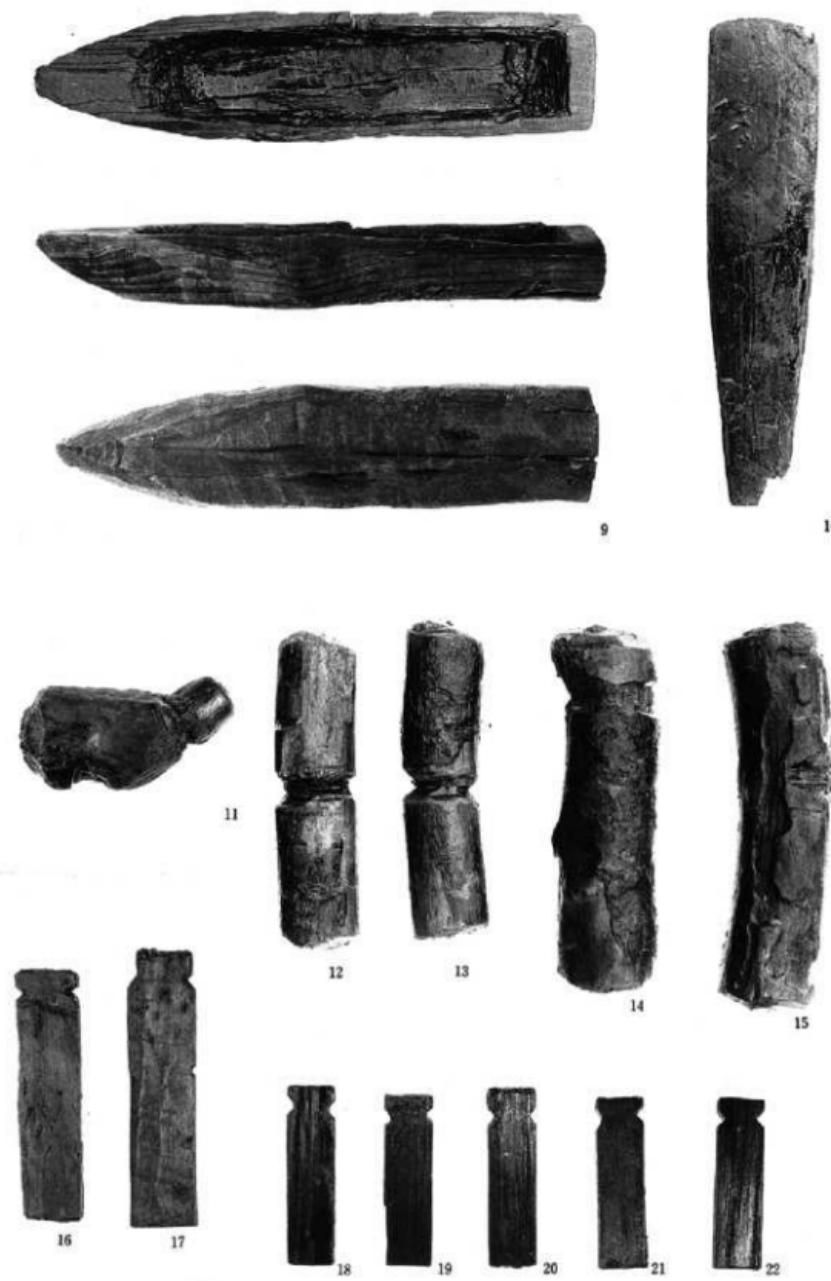


6

8



7



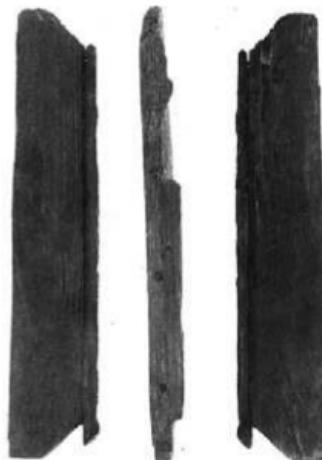
出土遺物 (13)



23



24



25



26



27



28



29



30



31



32

33



34



35

36



37

38

39

40

41

42

43

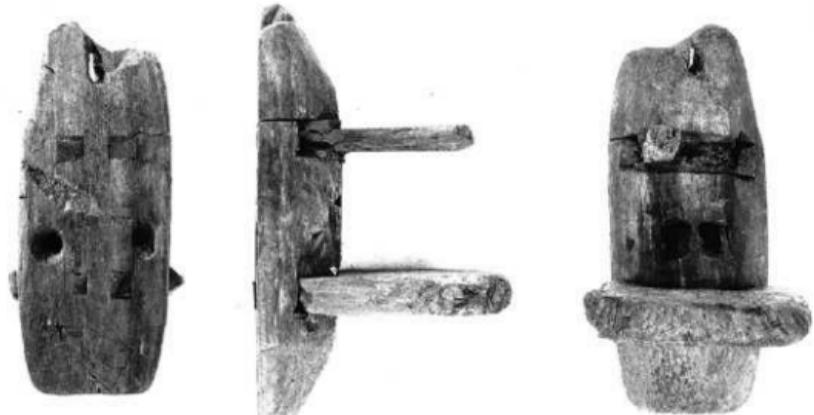
44

45

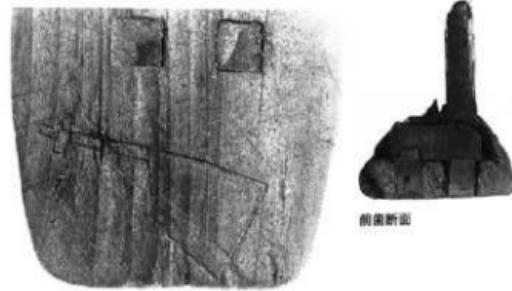
46

47

48



49



記号状切り込み

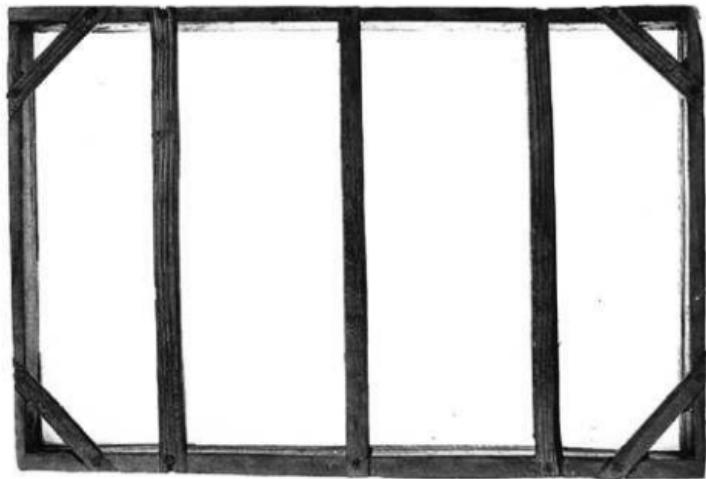
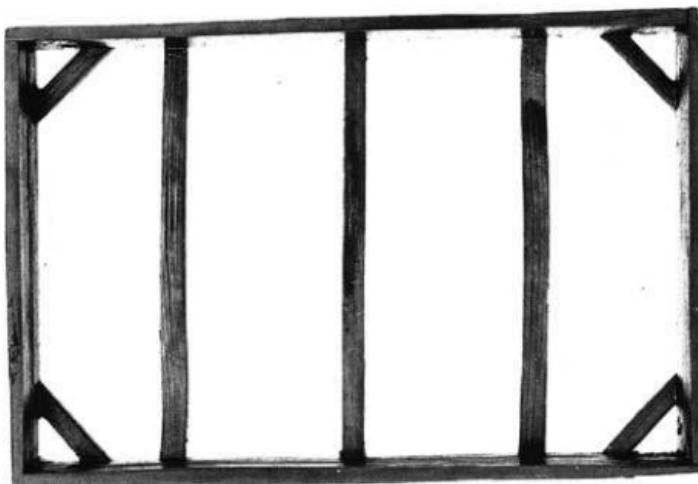
前面断面



50



51





53



54



55



56



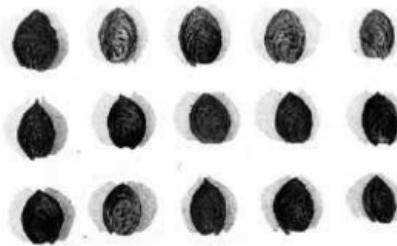
57



58



59



60



61
 $S = 1/7.5$



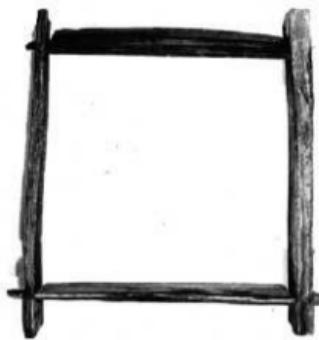
62



63



64



65



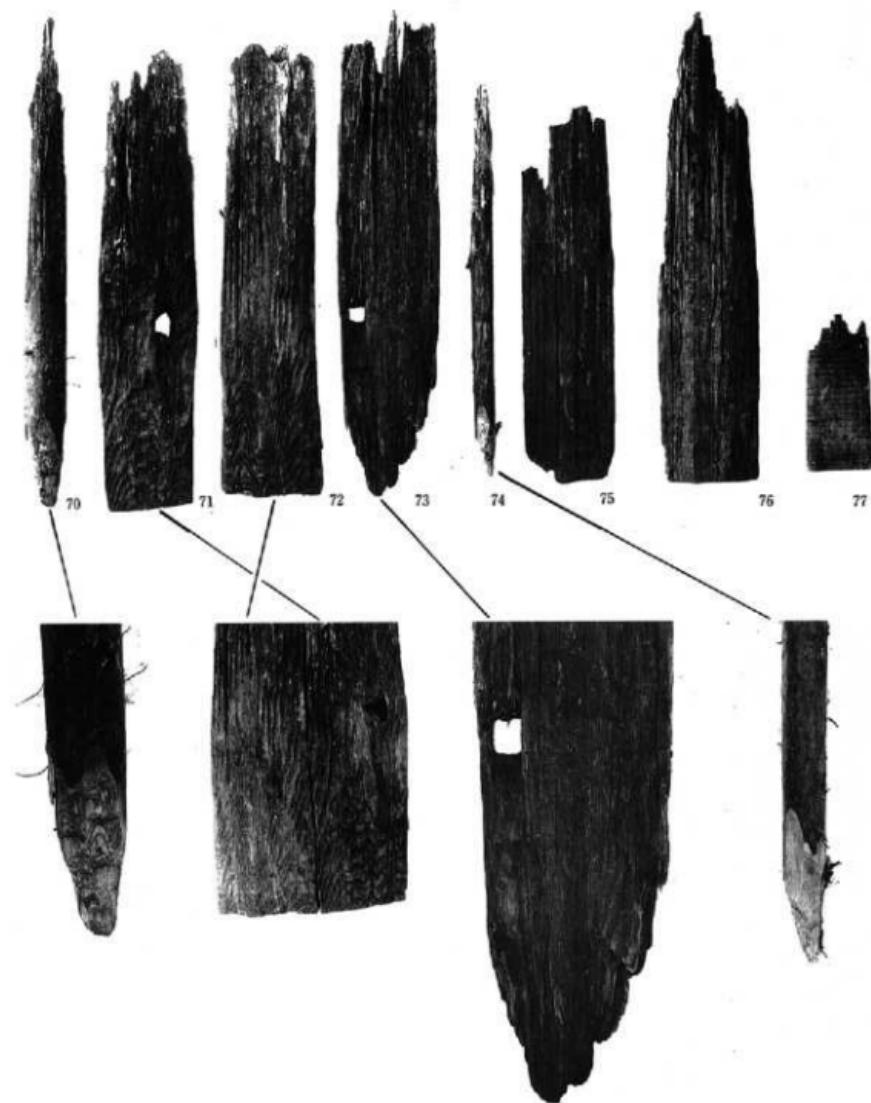
67

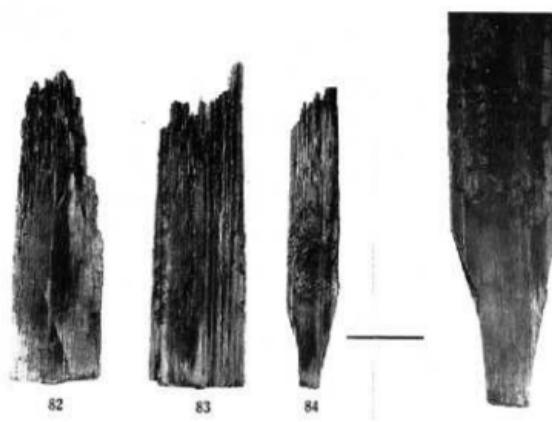
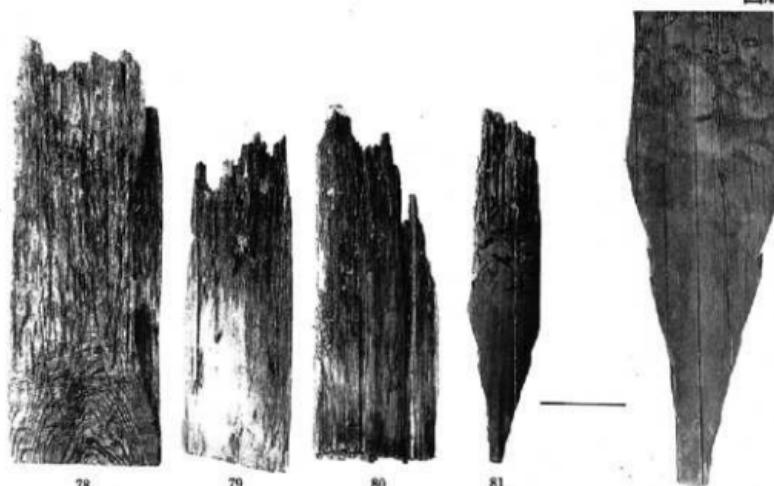


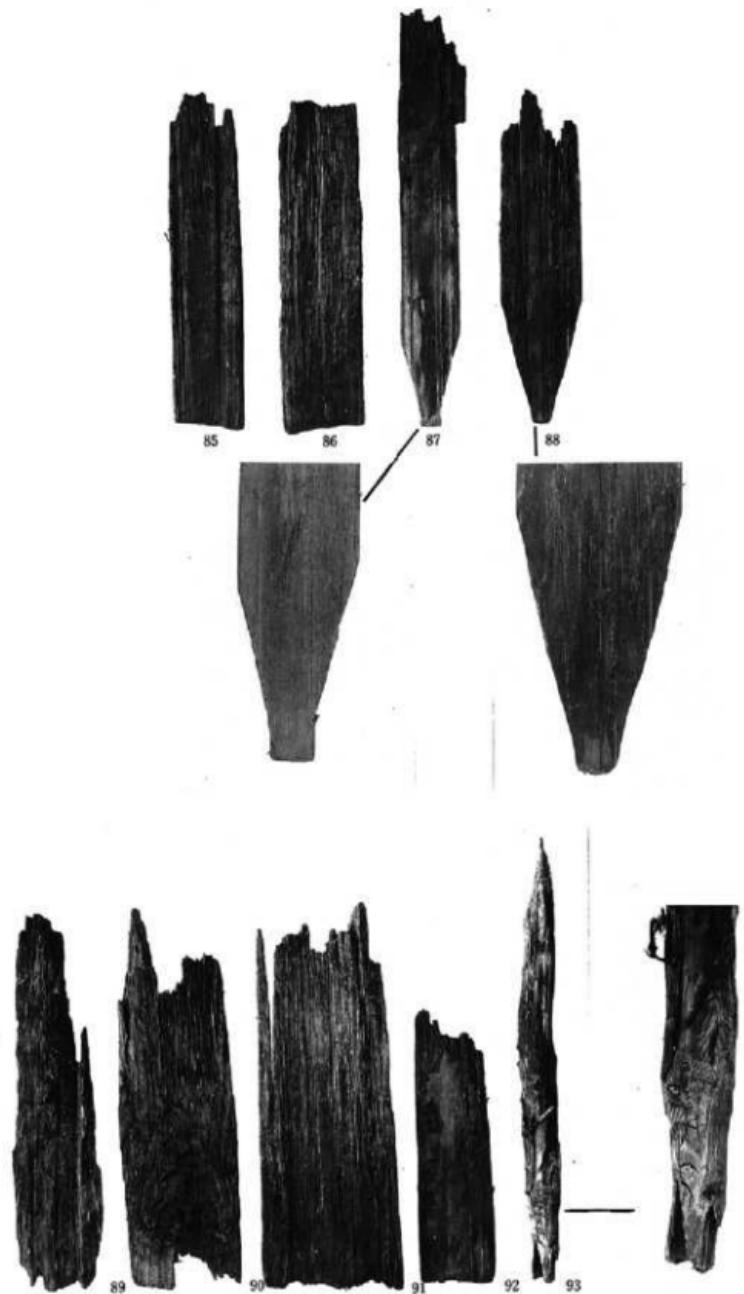
68
S = 1/15

68

S = 1/15

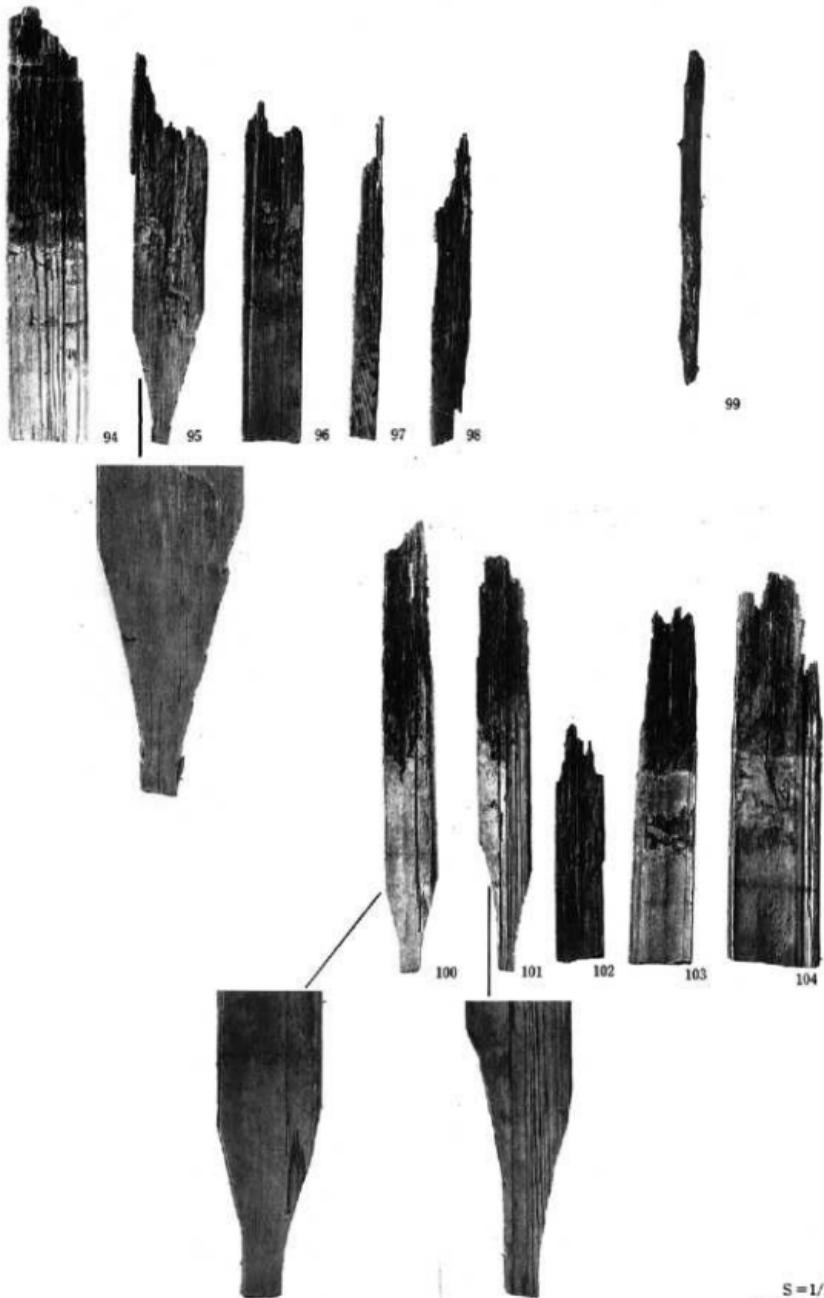


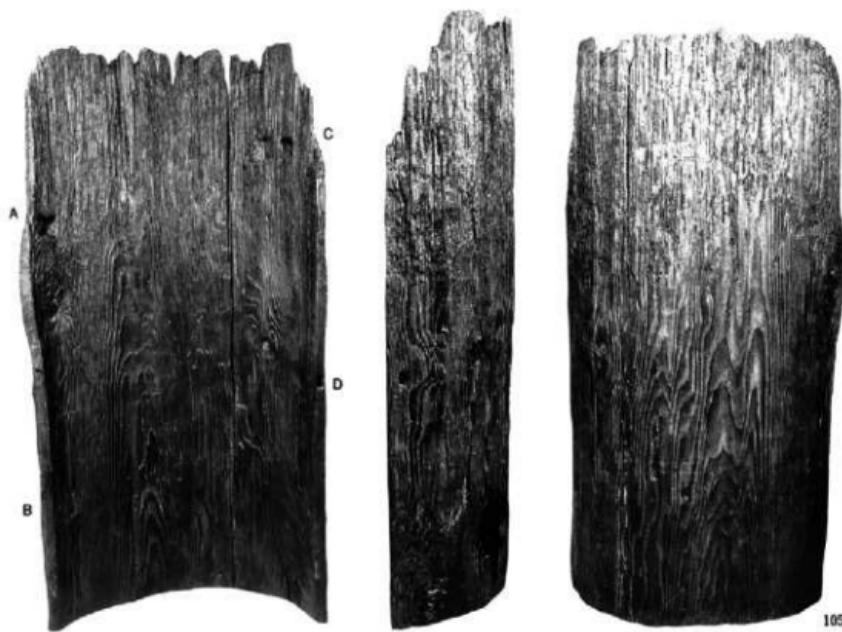




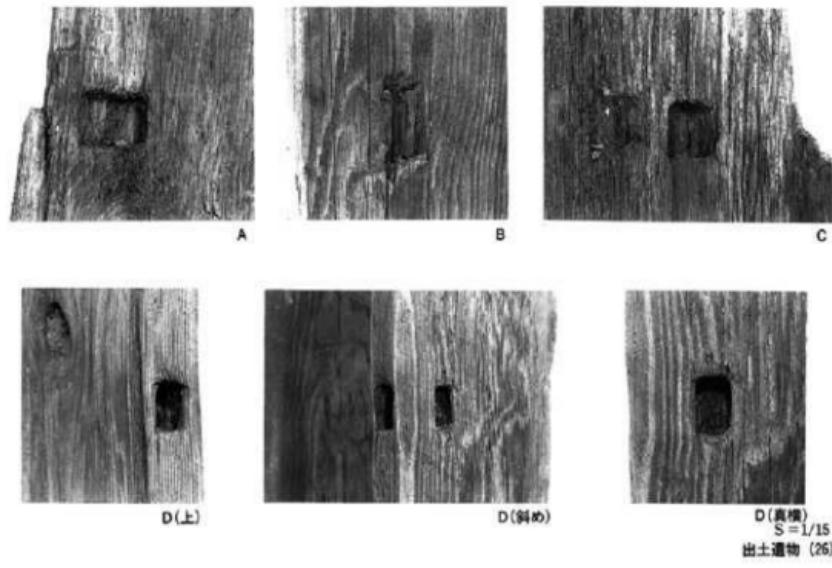
S = 1/10

出土遺物 (24)





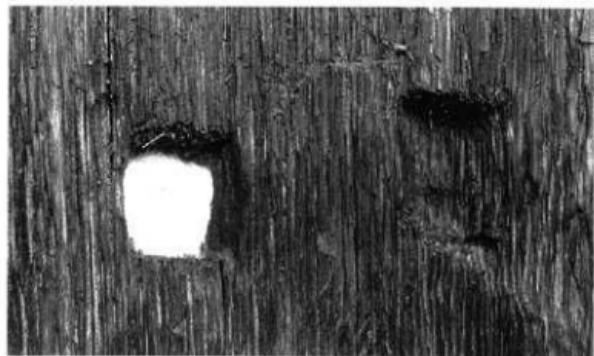
105





106

S = 1/15



A



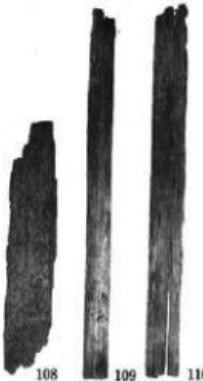
B 水抜栓(内側)



B 水抜栓(外側)
出土遺物 (27)



107



108

109

110



111



112



112穴部(上)



112穴部(真横)



113



114



115



116

S = 1/15
出土遺物 (28)



1



6



2



3



4



5



7



8



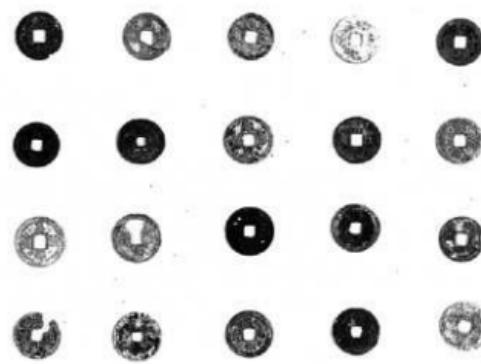
9



10



11



12



15



13

14



16



17

山形県埋蔵文化財調査報告書第124集

て ぐら だ
手蔵田10・11遺跡

発掘調査報告書

昭和63年3月25日 印刷
昭和63年3月30日 発行

発行 山形県教育委員会
印刷 藤庄印刷株式会社
